NTT docomo

GALAXY Note 3
SC-01F

取扱説明書

'13.10

はじめに

「SC-01F」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で → 「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-01F 取扱説明書」で検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.67）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（Googleアイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で →「Google」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-01F」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■ 本体付属品

SC-01F
（保証書付き）

リアカバー SC11

クイックスタートガイド

電池パック SC10

タッチペン SC03
（ペン先交換キット付き）

USB接続ケーブル SC03

マイク付ステレオ
ヘッドセット（試供品）

その他オプション品について →P.513

目次

はじめに

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMA プラスエリアおよびFOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSD カードに保存することをおすすめします。

- microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中（サイレント、バイブ）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ステータス」をタップします。

- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます（P.544）。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（P.420）。
- 万が一紛失した場合は、ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebookなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカード、タッチペンの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、ヘッドホン接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（NFC ／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.29「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. タッチペンの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

タッチペンを人に向けないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

禁止

タッチペンを本端末に取り付けているときに、タッチペンを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

7.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

8. 材質一覧

使用箇所			使用材質	表面処理
本体	ディスプレイパネル		ガラス	－
	外装ケース（周囲）	フロント（ウィンドウ）	PC	蒸着、水平ヘアライン
		リア	PA+GF50	コーティング
	サイドキー（音量キー、電源／画面ロックキー）		アルミニウム	陽極酸化処理、白コーティング
	リアカバー		PC	コーティング
	ホームキー		アルミニウム	陽極酸化処理、水平ヘアライン
	カメラレンズパネル		ガラス	－

使用箇所		使用材質	表面処理
本体	カメラレンズ周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
	ワンセグ／モバキャスアンテナ先端部	PC	蒸着
	ライトパネル	透明アクリル	－
	スピーカー	ステンレス鋼	研磨仕上げ
	受話口周囲部分	ステンレス鋼	研磨仕上げ
電池パックSC10	端子部分	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
	本体	PC	－
	ラベル	PET	コーティング（UVマット有機PV）
タッチペンSC03	本体、ボタン	ABS+GF20%	シボ加工（NIHON ETCHING No.10-3G）
	ペンのヘッド部	ABS	－
	ペン先	PC+TPE	－

使用箇所		使用材質	表面処理
タッチペンSC03	ペン先（交換用）	POM エラストマー	－
	ピンセット	SUS301	－
USB 接続ケーブルSC03	USB 3.0 Standard-A コネクタ部	SPCC	－
	USB 3.0 Micro-B コネクタ部	SUS304	ニッケルメッキ
	コネクタケース	PC	UV 塗装処理
	ケーブル	TPE（Non pvc）	－
マイク付ステレオヘッドセット	ハウジング	PC	UV コーティング
	ケーブル	NON PVC	－
	外装	PC	UV コーティング
	イヤピース	シリコン	－

9. 試供品（マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカード、タッチペンは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
ディスプレイが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～80%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。**
誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ■ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- ■ お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ■ 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ■ ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ■ ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ■ ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

タッチペンについてのお願い

■ ディスプレイの表面に保護フィルムを貼らないでください。
保護フィルムの材質によっては、誤動作の原因となる可能性があります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～80%の範囲でご使用ください。

■ タッチペンの先が欠けていたり、削られている場合は使用しないでください。
ディスプレイを破損、誤動作の恐れがあります。

■ 指定品以外のタッチペンを使用しないでください。
ディスプレイを破損、誤動作の恐れがあります。

■ タッチペンは他の機器には使用しないでください。
機器の故障、破損の原因となります。

■ タッチペンに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、タッチペンの破損、故障の原因となります

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF/XX	：	変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他であることを示します。
1	：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
8	：	想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
（帯域表示バー）	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用できます。

- 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2GHz／5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能についてのお願い

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（マイク付ステレオヘッドセット）についてのお願い

● **水をかけないでください。**

マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなることがありますので､端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

● **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● **本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

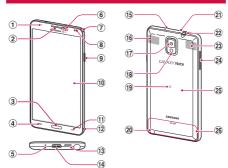
■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の銘板シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

① **通知LED** → P.105

② **受話口**
- 相手からの音声が聞こえます。

③ **ホームキー**
- 操作中の画面をホーム画面に戻します。
- 1秒以上押すと、最近使用したアプリの一覧（P.141）が表示されます。

④ **メニューキー**
- メニューが表示されます。

⑤ **送話口／マイク**
- 通話時やボイスレコーダーの録音時、動画撮影時、音声認識時に動作します。

⑥ **近接・照度・ジェスチャーセンサー**
- 顔などの接近や周囲の明るさを検知しディスプレイの表示を消したり、手や指の動き（ジェスチャー）を検知し本端末を操作したりします。

⑦ **ワンセグ／モバキャス アンテナ**

⑧ **内側カメラ**

⑨ **▯ 電源／画面ロックキー**
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます（P.61）。
- 手動で画面ロックを設定できます（P.62）。
- 1秒以上押すと、電源OFF、データ通信のON／OFF、機内モードのON／OFF、再起動、緊急時長持ちモードの有効／無効、マナーモードの設定ができます。

⑩ **ディスプレイ（タッチスクリーン）**→ P.66

⑪ **⮌ バックキー**
- メニュー表示などをキー操作の一段階前の状態に戻します。

⑫ **温湿度センサー**

⑬ **スピーカー**
- 着信音が鳴ります。
- ハンズフリー通話時に相手からの音声が聞こえます。

⑭ **外部接続端子**

⑮ **赤外線ポート**

⑯ **Wi-Fi ／ Bluetoothアンテナ**※1

⑰ **外側カメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.311、P.312）。

⑱ **フラッシュ／ライト**
- 静止画や動画撮影時に点灯します。

⑲ **マーク**

⑳ **タッチペン**

㉑ **送話口／マイク（上部）**
- ハンズフリー通話時や動画撮影時、Sボイスの音声認識時に動作します。

㉒ **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

㉓ **GPSアンテナ**※1

㉔ **音量キー** → P.405

㉕ **リアカバー**

㉖ **FOMA ／ Xiアンテナ**※1

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 本端末のホームキーや外側カメラのレンズの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの暗証番号について

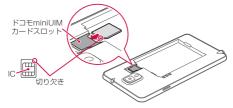
ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.457）。

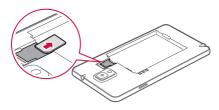
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P.54）

2 電池パックを取り外す（P.56）

3 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、矢印の向きにドコモminiUIMカードスロットの奥まで差し込む

ドコモminiUIMカードを取り外す

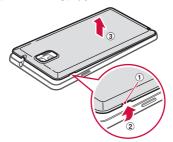
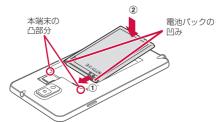
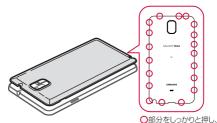
1 ドコモminiUIMカードを指で押さえながらスライドさせて矢印の向きにまっすぐ引き出す

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC面に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようご注意ください。

電池パック

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池パックやリアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、指や手で▯（電源／画面ロックキー）を押さないようにご注意ください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。
  リアカバーが破損することがあります。
- 本端末専用の電池パック SC10をご利用ください。

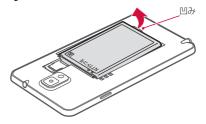
電池パックを取り付ける

1 **リアカバーの①の部分に指先をかけて、②の方向へ少し持ち上げ、③の方向に向けてリアカバーを取り外す**

2 電池パックの A マークを上にして、本端末の凸部分を電池パックの凹みに確実に合わせ、① の方向へ押し付けながら、② の方向へ押し込む

3 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、しっかりと押しながらすき間がないように取り付ける

○部分をしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認してください。

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（P.54）

2 本端末の凹み部分を利用して電池パックに指先をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

■ 充電について

- ACアダプタ 04（別売）、ACアダプタ 03（別売）、DCアダプタ 03（別売）について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 04、ACアダプタ 03はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

■ 電池パックの使用時間の目安

- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度などで異なります。

連続待受時間	FOMA ／ 3G	静止時（自動）：約470時間
	LTE	静止時（自動）：約410時間
	GSM	静止時（自動）：約380時間
連続通話時間	FOMA ／ 3G	約1000分
	GSM	約860分

■ 電池パックの充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」（P.547）をご参照ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 04（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 本端末の外部接続端子の右側に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電が開始されると通知LEDが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると、ステータスバーに 100% が表示されます。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

USB接続ケーブル SC03を使って充電する

付属のUSB接続ケーブル SC03を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.482をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「バッテリー使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ▯（電源／画面ロックキー）を２秒以上押す

- 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.102）。

2 🔓 をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ（P.68）します。

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.109）。

⊘ が表示されたときは、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 ▯を１秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

2 「電源OFF」→「OK」

- 終了画面が表示され、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」（P.403）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

1 ▯（電源／画面ロックキー）を押す

- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

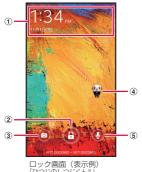
1 画面ロック中に▯（電源／画面ロックキー）／▭を押す

- ロック画面が表示されます。

2 🔓をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ（P.68）します。

ロック画面について

ロック画面（表示例）
「ひつじのしつじくん®」

① **ウィジェット**
- ウィジェット（ロック画面に配置するアプリ）を左右にフリックすると、ロック画面から起動できるウィジェットを表示できます。
- ウィジェットを下方向にドラッグすると、ウィジェットが拡大されます。

② **ロック解除ボタン**※

③ **カメラ起動ボタン**※

④ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**※
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑤ **検索ボタン**※
- 「しゃべってコンシェル」または「Google」アプリを起動し検索できます。

※ ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定している場合のみ表示されます。

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除に画面ロック解除方法が必要になるように設定できます（P.420）。

ロック画面のウィジェットの管理

ロック画面に配置するウィジェットを管理します。ウィジェットを左右にフリックすると、ロック画面から起動できるウィジェットを表示します。

- ホーム画面を「docomo LIVE UX」または「TouchWiz標準モード」に設定し、画面ロックを「スワイプ／タッチ」に設定している場合に、ロック画面でウィジェットを利用できます。
- あらかじめ、「マルチウィジェット」（P.411）をONに設定する必要があります。

■ ウィジェットを追加する

1 ロック画面でウィジェットを右にフリック

2 ＋ → ウィジェットを選択

■ ウィジェットを削除する

1 ロック画面でウィジェットを右にフリック

2 削除したいウィジェットをロングタッチ → 画面上部の「削除」までドラッグ

■ウィジェットを並べ替える

1 ロック画面でウィジェットを右にフリック

2 移動したいウィジェットをロングタッチ → 移動したい位置までドラッグして離す

お知らせ

- ロック画面のウィジェットを左右にフリック、または下方向にドラッグしたときは、[ ] を押すとロック画面に戻ります。また、🔒 を上下左右のいずれかの方向にスワイプすると、画面ロックを解除できます。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。
- ホーム画面を「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、ロック画面でウィジェットを利用できません。

基本操作

タッチスクリーン、タッチペン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指または付属のタッチペンで軽く触れるように設計されています。指またはタッチペンで強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指またはタッチペンで触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指またはタッチペンで軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指またはタッチペンで1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指またはタッチペンで押さえながら、移動します。

■ スワイプする

表示画面を指またはタッチペンで軽くなぞる動作です。

■ スクロールする

表示内容を指またはタッチペンで押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指またはタッチペンで押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

タッチペンの使いかた

指を使って実行できる基本的なタッチ、ドラッグ、拡大／縮小などの操作をタッチペンを使っても実行できます。また、タッチペンを使って図や文字などを描いたり、多様な機能を簡単に実行したりすることができます。

- タッチペンを取り出すとアクションメモまたはエアコマンドが起動します。
- タッチスクリーンの消灯時にタッチペンを取り出すと、タッチスクリーンが点灯します。

お知らせ

- タッチペンを過度に傾けると動作の認識ができないことがあります。
- ご使用の端末やアプリによって、うまく動作しない場合があります。
- タッチペン、ペン先、ピンセットを破損・紛失してしまった場合は、別売りのタッチペンSC03をご購入ください。

ペン先の交換方法

タッチペンSC03のペン先の先端にはゴム製のキャップが付いております。キャップが擦り切れたときは以下の方法で新しいペン先と交換してください。

1 ピンセットでペン先をしっかりつかんで矢印の方向に抜く

2 新しいペン先を止まるまで矢印の方向に水平に差し込む

- ペン先の向きをご確認ください。

お知らせ

- ピンセットとペン先の間に指を挟まないように注意してください。
- 古くなったペン先は使用しないでください。故障の原因となります。
- ペン先をタッチペンに差し込むときには、力を入れすぎないでください。

- 多様な書き心地を感じていただけるように、2種類の異なる材質のペン先（交換用）をご用意しています。
  - 先端が光っているペン先（交換用の2本）は、硬めの材質でできています。
  - 先端が光っていないペン先（交換用の3本）は、柔らかめの材質でできています。

タッチペンの主な機能

タッチペンのボタンを押して、より多様な操作ができます。本書では主な操作方法を次のように表記しています。

■ スクリーンキャプチャ

タッチペンのボタンを押した状態で画面をロングタッチ → ✓ をタップすると、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。（P.88）

※ 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

■ アクションメモ

タッチペンのボタンを押した状態で画面をダブルタップすると、アクションメモを起動します。

■ 画像の切り抜き

タッチペンのボタンを押した状態で画像の切り抜きを行う範囲を選択すると画像の切り抜きを行うことができます。切り抜きを行う範囲は、範囲を選択したあとでも変更できます。切り抜いた画像はスクラップブックで管理したり、Eメールや Bluetooth機能などで共有できます。

■ ダイレクトペン入力

タッチペンをテキスト入力エリアなどに近づけると、が表示されます。をタップすると手書きパッドが表示されます。手書きパッドでは、手書きでメッセージや連絡したい連絡先、アラーム時間などを書くことができます。また、手書きジェスチャーにより文字の削除、挿入などの編集操作ができます。使用できる手書きジェスチャーは、ホーム画面で→「本体設定」→「コントロール」タブ→「Sペン」→「ダイレクトペン入力」→「ジェスチャーガイド」で確認できます。
ダイレクトペン入力画面で、「テキスト候補」にチェックをつけると、手書き入力時に認識候補が表示されます。

モーション／ジェスチャーの使いかた

簡単なモーション機能を利用して、情報の表示、着信音または再生音のミュートなど多様な機能を実行できます。

※ ドコモが提供するアプリ、およびその他一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。

モーションの主な機能

モーションを利用する前に、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「コントロール」タブ →「Sジェスチャー」／「モーション」／「手のひらモーション」→ [O] をタップして機能を有効にし、利用するモーション／ジェスチャーの [O] をタップしてONにする必要があります。

- 利用するモーション／ジェスチャーをタップすると、各モーションのチュートリアルを表示して使いかたを確認したり、利用するアプリや機能を設定したりできます。

■ Sジェスチャー

本端末の近接・照度・ジェスチャーセンサーの上で手を動かすこと（ジェスチャー動作）で、ディスプレイに触れずに次の操作ができます。

- 利用可能なアプリを起動すると、ステータスバーに ／ などが表示されます。

■ 手をかざして確認

画面の表示が消えているときに、センサーの上に手をかざすと、不在着信や新着SMS、日付と時刻など、設定した情報を表示します。

■ ジャンプ

センサーの上で手を上下に動かすと、Eメールの本文で画面をスクロールします。

■ ブラウズ

センサーの上で手を左右に動かすと、設定したアプリで静止画や動画、音楽再生時に前後のデータへ移動します。

■ コール受信

着信中にセンサーの上で手を左右に振ると、かかってきた電話に応答できます。

お知らせ

- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外でジェスチャー動作をした場合は、センサーの特性によりSジェスチャー機能が正しく動作しない場合があります。

■ モーション

本端末を動かすことで、ディスプレイやキーを使わずに次の操作ができます。

■ ダイレクトコール

SMS一覧画面や、Samsungが提供する「連絡先」アプリの詳細画面などを表示した状態で、本端末を持ち上げて顔に近づけると、その連絡先に電話をかけます。

※発信時に、国際ダイヤルアシスト画面が表示されることがあります。

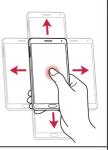
■ スマートアラート

不在着信や新着SMSがある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

■ ズーム

画像データを表示している状態で、画面の2箇所をロングタッチしながら本端末を前後に傾けると、表示内容を拡大/縮小します。

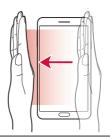
■ 画像を閲覧

画像を拡大表示した状態で、画像をロングタッチして上下左右に振ると、画像内を移動できます。

■ 消音／一時停止

着信音や通知音、アラーム鳴動中の状態、または音楽・動画などを再生中の状態で、本端末を伏せると消音／一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。

■ 手のひらモーション

本端末のディスプレイ上で手を動かすことで、次の操作ができます。

■ 画面キャプチャ 手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。	
■ 消音／一時停止 着信音やアラームの鳴動中などに、手のひらでタップすると消音します。また、音楽・動画などの再生中に、手のひらでタップすると再生を一時停止します。（ディスプレイOFFの場合は除く）。	

お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

Sプレビューの使いかた

画面にタッチペンや指を近づけることで、便利で多様な操作を行うことができます。

- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。
- Sプレビューを利用する前に、ホーム画面で □ →「本体設定」→「コントロール」タブ →「Sプレビュー」→ □ をタップして機能を有効にし、利用するSプレビューの機能の □ をタップしてONにする必要があります。
- ホーム画面で □ →「本体設定」→「コントロール」タブ →「Sプレビュー」→「Sプレビューモード」をタップすると、どのSプレビューを利用するかを設定できます。「ペン」／「指」／「自動切り替え」から選択します。「自動切り替え」を選択すると、ペンか指かを自動で切り替えることができます。
- ホーム画面で □ →「本体設定」→「コントロール」タブ →「Sプレビュー」→「Sプレビューのペンオプション」／「Sプレビューの指オプション」→「操作音とバイブ」にチェックを付けると、指やペンをSプレビューのプレビューアイテムに近づけたときに操作音とバイブを動作させるかどうかを設定できます。
- 利用するSプレビューをタップすると、各Sプレビューのチュートリアルを表示して使いかたを確認できます。

お知らせ

- Sプレビューの指オプションを有効にすると、コンテンツの挿入／添付、宛先の追加、可能な操作の表示など、一部のエアコマンドが無効になります。

ペンのSプレビュー

タッチペンを画面に近づけると、Sプレビューポインターが画面上に表示され、次の操作を行うことができます。

■ 情報プレビュー／プログレスプレビュー／スピードダイヤルプレビュー

情報プレビューがある場合は、Sプレビューポインターが青色に変わります。テキストや画像にタッチペンを近づけて画面に表示しきれない情報をプレビュー表示したり、動画再生中などにプログレスバー（現在の再生位置）にタッチペンを近づけることでシーンやフレームの時間情報を表示したりできます。また、ダイヤル画面の番号にタッチペンを近づけると、設定したスピードダイヤルの名前などが表示されます。

■ アイコンラベル(ペン先)

アイコンの近くにタッチペンを近づけると、ラベルポップアップが表示されます。

■ リストスクロール

タッチペンを画面の端(上、下、左、右)に近づけると、画面をスクロールすることができます。

指のSプレビュー

本端末のディスプレイに指を近づけることで、次の操作ができます。

■ 情報プレビュー／プログレスプレビュー／スピードダイヤルプレビュー

テキストや画像に指を近づけて画面に表示しきれない情報をプレビュー表示したり、動画再生中などにプログレスバー(現在の再生位置)に指を近づけることでシーンやフレームの時間情報を表示したりできます。また、ダイヤル画面の番号に指を近づけると、設定したスピードダイヤルの名前などが表示されます。

■ Webページルーペ

ブラウザ画面でWebページを表示中に画面に指を近づけると、コンテンツをルーペのように拡大表示します。

エアコマンド

画面にタッチペンを近づけているときにボタンを押すと、エアコマンド機能を利用できます。

■ エアコマンドを表示

画面の上でタッチペンを近づけてボタンを押すと一般的なエアコマンドが表示されます。

- アクションメモ：アクションメモを起動します。
- スクラップブッカー：タッチペンで選択したコンテンツをスクラップブックに保存します。（P.356）
- スクリーンライト：画面キャプチャを行います。
- Sファインダー：Sファインダーが起動して検索できます。（P.140）
- ペンウィンドウ：タッチペンで描いたウィンドウに特定のアプリを起動できます。ウィンドウは複数描くことができます。
  ペンウィンドウで起動したアプリは終了するまで画面上に表示されます。

■ コンテンツの挿入／添付

Eメール作成画面で、添付ボタンにタッチペンを近づけてボタンを押すと、最近追加された画像の一覧が表示されます。

■ 宛先を追加

EメールやSMS作成画面で、宛先ボタンにタッチペンを近づけてボタンを押すと、よく使用する送信先の一覧が表示されます。

■ コンテキストメニューを表示

写真などの上でタッチペンを近づけてボタンを押すと、共有／編集などのメニューが表示されます。

お知らせ

- Sプレビューによる操作中は、指と本端末の距離を一定に保ってください。操作中に指と本端末が離れると、Sプレビューによる操作ができなくなります。
- Sプレビューによる操作中、指と本端末の距離が近すぎると、タッチ操作として認識される場合があります。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ディスプレイ」→「画面の自動回転」にチェックを付ける**

お知らせ

- 通知パネルでも画面の自動回転の設定ができます。
- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

- スクリーンキャプチャした画像は加工して保存することもできます。
- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

1 **画像として保存したい画面を表示**

2 **と（電源／画面ロックキー）を同時に1秒以上押す**

- タッチペンのボタンを押した状態で画面をロングタッチ → をタップしても、スクリーンキャプチャができます。
- 画像が保存されると、ステータスバーに が表示されます。

お知らせ

- キャプチャした画像はpng形式で保存され、ホーム画面で → 「ギャラリー」→「Screenshots」をタップすると確認できます。
- 手のひらモーション機能の「画面キャプチャ」（P.78）の機能をONにすると、本端末の画面上を手の横面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Samsung日本語キーパッド）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中に通知パネルを開く

2 「入力方法を選択」

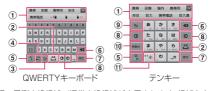
- 「入力方法を選択」画面が表示されます。

3 利用したい入力方法をタップ

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで数回タップします。

- QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
  - 予測変換（P.99）をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に 変換 をタップすると、通常変換候補が表示されます。
  - をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。 をタップすると、元の表示に戻ります。

② 通常変換候補を表示します。
  - 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。 変換 は、ひらがな漢字入力モードの場合のみ表示されます。

③ 表示されているキーの操作を実行します。
  - ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

    ：音声入力に切り替え

    ：手書き入力キーボードに切り替え

    ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け

    ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示

    ：自由に移動できるキーボードを表示

④ 数字または記号の一覧を表示します。
- ロングタッチすると絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
- タブをタップして一覧を切り替えます。
- 戻る をタップすると、キーパッドを表示します。

⑤ ひらがな漢字／英字入力モードを切り替えます。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 入力した文字を確定します。
- ↵ が表示されている場合は、タップすると改行します。
- 次へ が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 実行 ／ 完了 ／ 🔍 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑧ カーソルを左または右に移動します。
- ワイルドカード予測をＯＮにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（P.93）を利用できます。

⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
- 文字が入力されていない場合は、ロングタッチすると、次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

  ：音声入力に切り替え

  ：手書き入力キーボードに切り替え

  ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け

  ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示

  ：自由に移動できるキーボードを表示

⑩ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、 （数字／絵文字／記号／顔文字切替）が表示されます。テンキーがかな／英字のときにタップすると数字に切り替わります。テンキーが数字のときにタップすると絵文字／記号／顔文字の一覧が表示されます。

⑪ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えたりします。
- 英字入力モードの場合は A/a と表示されます。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に ⚙

2 「テンキー⇔QWERTYキーボード」

3 「テンキー」／「QWERTYキーボード」→「OK」

お知らせ

- 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

半角／全角を切り替える

1 キーボード表示中に 🌐A をロングタッチ

2 「半角」／「全角」

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 「予測変換」(P.99)と「ワイルドカード予測」(P.100)をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力

2 ⊙ を4回タップ

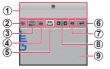
- 入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

⊖／⊙ をタップします。

3 「東京都」

手書き入力キーボードで入力する

Samsung日本語キーパッドで T✎ をタップすると、手書き入力キーボードが表示されます。

手書き入力キーボード

① 入力候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

② 認識モード(ひらがな漢字／英字)を切り替えます。

③ 数字または記号の一覧を表示します。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。

④ Samsung日本語キーパッドに切り替えます。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

：音声入力に切り替え
：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
：Samsung日本語キーパッドに切り替える

⑤ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。

⑥ 改行します。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- 入力エリアに表示中の文字がある場合は、表示中の文字を一字ずつ削除できます。

⑧ カーソルを左または右に移動します。

⑨ 入力エリアに手書きで文字を入力します。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ／ や ／ などが表示されます。／ または ／ などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用するアイコンをタップ

アイコン	説明
／	入力したすべての文字を選択します。
／	選択した文字列を切り取ります。
／	選択した文字列をコピーします。
／	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
	「クリップボード」をタップすると、クリップボードを表示します。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーパッドの設定を行う

Samsung日本語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→「コントロール」タブ→「言語と文字入力」→「Samsung日本語キーパッド」の［設定］

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
キーボード設定（共通）	入力言語	システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
	テンキー⇔QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。
	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。

項目		説明
キーボード設定（共通）	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	片手操作	片手操作用に、キーボードの位置調整を行うかどうかを設定します。
	フリック入力／カーソル操作	フリック入力では、キーボードを「テンキー」にして入力する際、フリック方式で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 ONにすると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます。フリック入力は標準フリックと8フリックを選択できます。標準フリックは入力モードがひらがな漢字、英字の場合に使用できます。8フリックは入力モードがひらがな漢字の場合に使用できます。また、フリックの感度やトグル入力について設定します。 カーソル操作では、キーボード上で指をスライドさせてカーソルを移動させるかどうかを設定します。

項目		説明
キーボード設定（共通）	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。
	音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google音声入力」「使用しない」から選択します。
	手書き入力	手書きで文字を入力できるようにするかどうかを設定したり、予測候補／認識候補の候補タイプを選択します。また、認識時間やペンの太さ／色を設定します。
変換設定	候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	予測変換	文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	数字予測変換※	数字キーボードで数字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	入力ミス補正※	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。

項目		説明
変換設定	ワイルドカード予測※	ワイルドカード予測（P.93）を利用するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	英文／ハングル入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。
	候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
外部アプリ連携	マッシュルーム	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
辞書	日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	韓国語ユーザー辞書	韓国語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
IMEについて	iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーパッドのバージョンを確認します。

※「予測変換」がOFFの場合は設定できません。

Google音声入力の設定を行う

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「コントロール」タブ →「言語と文字入力」→「Google音声入力」の [設定]

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語を選択	音声で入力する言語を選択します。
不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。

ドコモ文字編集の情報

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「コントロール」タブ →「言語と文字入力」→「ドコモ文字編集」の [設定]

2 「アプリ情報」

- ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って使用する言語やSamsungアカウント、Googleアカウントの設定、Googleの位置情報の設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「次へ」
- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ ユーザー補助を設定します。

2 Wi-Fiを設定 →「次へ」

3 Samsungアカウントを設定
- 「スキップ」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

インターネットに接続されていない場合

画面の指示に従ってWi-Fiを設定（P.383）してSamsungアカウントを設定します。

4 Googleアカウントを設定 →「はい」／「いいえ」
- すでにアカウントを持っている場合は「はい」を、アカウントを持っていない場合は「いいえ」をタップし、画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定します。

5 Google+に参加するかどうかを設定

6 Googleアカウントを使用して、復元やバックアップを行うかどうか、Google位置情報の利用を許可するかどうか、最新のニュースやクーポンを受信するかどうかを設定 →▶

7 Google Playでアプリなどを購入可能にするかどうかを設定

8 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 →「次へ」

- 携帯端末の所有者の入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

9 ホーム選択画面で「docomo LIVE UX」→「次へ」

- 「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」を選択すると、Samsungが提供するホームを利用できます。

10「完了」

- 「詳細を表示」をタップすると、本端末の主な機能を確認できます。
- 続けてドコモサービスの初期設定を行います。

11「進む」

- アプリ一括インストールの画面が表示されます。
- 「今すぐインストール」を選択すると、すでにご契約されているサービスのアプリのインストールを行います。インストールしない場合は、「後でインストール」を選択します。

12「進む」

- おサイフケータイを利用するための初期設定画面が表示されます。
- 「設定する」を選択した場合は、「進む」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

13「進む」

- ドコモアプリパスワードの設定画面が表示されます。
- 「設定する」を選択した場合は、ドコモアプリパスワードを入力します。

14「進む」

- 位置提供設定の画面が表示されます。
- 「位置提供ON」を選択すると位置情報の送信を許可します。
- 「位置提供OFF」を選択すると位置情報の送信を拒否します。
- 「電話帳登録外拒否」を選択すると電話帳に登録していない相手には居場所は送信されません。

15「進む」→「OK」

通知LED

画面の表示が消えている状態で、不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに、通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯※	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅※	電池残量が残りわずか
青で点滅※ （約５秒間隔）	不在着信や新着メールなどの通知あり
青で点滅※ （約１秒間隔）	録音中
青と水色で交互に点灯	電源を入れて起動中／電源を切ってシャットダウン中

※「LEDインジケーター」（P.410）で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

お知らせ

- 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作（青で点滅）が優先されます。

画面表示とアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

1:34 PM
ステータスバー

主な通知アイコン

- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン	
	着信中／通話中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり
	新着エリアメールあり

通知アイコン	
	新着ハングアウトメッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	伝言メモ機能が有効
	伝言メモの録音メッセージあり
	アラームあり
	スケジュールなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	GPS機能現在地測位中（中心の丸が点滅）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON

通知アイコン	
	ドコモminiUIMカード未挿入状態
	Samsung Appsからインストール済みアプリのアップデートあり
	ステレオヘッドセット接続中
	タッチペン取り外し中
	ソフトウェア更新の設定／確認中
	dマーケットに更新可能なアプリあり
／	Google Playに更新可能なアプリあり／Google Playのアプリのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN接続中
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり
	使用可能なWi-Fiオープンネットワークあり
	キーボード表示中
	本端末のメモリの空き容量低下
	ワンセグ視聴中／録画中
	モバキャス受信中
	おまかせロック設定中
	ハンズフリーモード設定中

主なステータスアイコン

ステータスアイコン	
（弱⇔強）	電波状態
（弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）
	圏外
	機内モード設定中
	LTEネットワーク使用可能／通信中（待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
	3Gネットワーク使用可能／通信中（待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能／通信中（待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
	GPRSネットワーク使用可能／通信中（待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
	Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中（待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）

ステータスアイコン	
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	マナーモード（バイブ）設定中
	マナーモード（サイレント）設定中
	アラーム設定中
	ハンズフリー通話中
⇔ （低⇔高）	電池レベル
	充電中
	Wi-Fi Direct接続中
／	Sジェスチャー利用可能
	スマートスクリーン機能ON
	本端末とドコモminiUIMカードにNFC/おサイフケータイ ロックを設定中
	本端末またはドコモminiUIMカードにNFC/おサイフケータイ ロックを設定中
	通信制限モード設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。

通知パネルの表示内容（表示例）

① タップすると日付と時刻の設定画面（P.443）が表示されます。

② 各種機能のON ／ OFFを切り替えます（クイック設定ボタン）。左右にスクロールしたり、右上の をタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

- Wi-Fi：→P.383
- GPS：→ P.337
- サウンド：→ P.406
- 画面回転：→ P.87
- Bluetooth：→ P.474

- 読書モード：→P.404
- モバイルデータ：データ通信のON ／ OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。
- ブロックモード：→ P.423
- 省電力：→ P.452
- マルチウィンドウ：→ P.116
- Screen Mirroring：→ P.401
- Wi-Fiテザリング：→P.390
- Sプレビュー：→ P.80
- Sジェスチャー：→P.74
- ハンズフリーモード：電話着信時やEメール受信時、アラーム鳴動中などに、相手情報や予定情報を読み上げたりするかどうかを設定します。
- スマートステイ：→ P.432
- スマートポーズ：→P.432
- スマートスクロール：→ P.433
- 同期：→ P.439
- 機内モード：→ P.394
- 通信制限モード：ONにするとすべてのアプリでネットワーク接続を無効にします。電話とSMSの受信のみ可能になります（P.394）。

③ ディスプレイの明るさを調整します（P.408）。

④ 進行中情報や通知情報が表示されます。

⑤ 上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。

⑥ タップすると、設定メニューが表示されます（P.380）。

⑦ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

⑧ 接続中のネットワークの通信事業者名とドコモminiUIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

お知らせ

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。

通知パネルを編集する

クイック設定ボタンを並べ替えたり、ディスプレイの明るさを調整する項目を表示／非表示したりします。

1 **通知パネルの ▦ → ✎**

2 **クイック設定ボタンをロングタッチ → 移動したい位置までドラッグして離す**

ディスプレイの明るさを調整する項目を非表示にする場合

「明るさ調整」のチェックを外します。

ホーム画面

［ホームキー］を押して表示される画面（ホーム画面）には「docomo LIVE UX」「TouchWiz標準モード」「TouchWizかんたんモード」の3種類の画面があります。

- 「docomo LIVE UX」については、P.147をご覧ください。

TouchWiz標準モード

ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **マルチウィンドウ（P.116）のタブ**
- 主なアプリのアイコン一覧を、どの画面からでも呼び出すことができます。このタブをタップすると、マルチウィンドウのアイコン一覧が表示されます。
- [↩] をロングタッチすると、マルチウィンドウのアイコン一覧が表示されます。
- [↩] を再度ロングタッチすると、マルチウィンドウのタブを非表示にすることができます。

② **ショートカット**
- タップして、アプリなどを起動できます。

③ **ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。**

④ **ホーム画面を切り替えても常に表示されます。**
- 「アプリ」以外のアイコンには、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

⑤ **ウィジェット（例：天気予報、検索）**
- タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリ）の起動や操作を行います。

⑥ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

お知らせ

- ホーム画面で画面を上にフリックすると、Samsungの「マガジン」が起動します。

マルチウィンドウで表示する

アプリを起動している状態で、マルチウィンドウのアイコン一覧からアイコンをドラッグすると別々の画面で2つのアプリを同時に使用できます。

※ マルチウィンドウで表示している状態で、アイコン一覧の横に が表示されるアプリは別々の画面で同時に使用できます。

① **マルチウィンドウのアイコン一覧**
- アプリをアイコン一覧から表示したい位置へドラッグします。

② **マルチウィンドウの編集ボタン**
- 「作成」をタップすると、現在表示させている条件で名前をつけてペアウィンドウを作成できます。
- 「編集」をタップすると、マルチウィンドウのアイコン一覧に表示させるアイコンの追加・削除ができます。編集画面で「Playストア」をタップするとマルチウィンドウで使用可能なアプリの一覧が表示されます。
- 「ヘルプ」をタップすると、マルチウィンドウのヘルプを確認できます。

③ **マルチウィンドウバー**

- 中央のハンドルをドラッグして表示領域を調整します。画面の上下（横画面の場合は左右）の端までドラッグすると、全画面表示になります。
- 中央のハンドルをタップすると、下記の機能ボタンが表示されます。

　：マルチウィンドウで表示させたアプリの履歴を表示します。

　：2画面に表示したときに、上下（横画面の場合は左右）の表示位置を切り替えます。

　：別の画面で開いているアプリに文字などをドラッグ＆ドロップしてペーストできます。
※一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。

　：開いているアプリのウィンドウが閉じられます。

お知らせ

- ホーム画面で ▭ →「設定」→「デバイス」タブ→「マルチウィンドウ」→「マルチウィンドウ表示で開く」にチェックをつけると、Eメールの添付ファイルや、「マイファイル」、「ビデオ」から画像を開くと自動的にマルチウィンドウで画像などが表示されます。

ショートカットやウィジェットを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

2 「アプリとウィジェット」→「アプリ」／「ウィジェット」／ タブ

3 ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ→ 追加したい位置までドラッグして離す

フォルダを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

2 「フォルダ」→ フォルダ名を入力 →「OK」

壁紙の変更

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ → 「壁紙を設定」**

2 **「ホーム画面」／「ロック画面」／「ホーム画面とロック画面」**

3 **「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」／「旅行の壁紙」→ 壁紙を選択**

- ギャラリーの場合、画像を選択して「完了」をタップします。サイズの変更が必要な場合は、青枠をドラッグしてサイズを変更し、「完了」をタップします。
- ライブ壁紙または壁紙の場合、壁紙を選択して「壁紙に設定」をタップします。

お知らせ

- ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを削除するには、ショートカットやウィジェット、フォルダをロングタッチ → そのまま画面上部の「削除」までドラッグして離します。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

TouchWizかんたんモード

ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **時計**

② **天気予報**

③ **ショートカット**

- ホーム画面のショートカットのアプリを変更することはできません。

④ **ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。**

- 左にスクロール／フリックすると、アプリショートカット一覧が、右にスクロール／フリックすると、連絡先ショートカット一覧が表示されます。

⑤ マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑥ カレンダー

連絡先のショートカットを追加する

1 連絡先ショートカット一覧で「追加」

2 「連絡先を登録」／「既存の連絡先を追加」
- 「連絡先を登録」をタップすると、連絡先登録画面が表示されます。保存先のアカウントを選択し、連絡先を登録するとショートカットが追加されます。
- 「既存の連絡先を追加」をタップすると、連絡先一覧画面が表示され、追加する連絡先を選択してショートカットを追加します。

アプリのショートカットを追加する

1 アプリショートカット一覧で「追加」

2 追加したいアプリを選択

ショートカットを削除する

1 連絡先ショートカット一覧／アプリショートカット一覧で [メニュー] →「編集」

2 削除したいショートカットをタップ →「OK」→「完了」

アプリ画面

ホーム画面が「TouchWiz標準モード」のアプリ画面について説明します。

1 ホーム画面で「アプリ」

• アプリ画面が表示されます。

アプリ一覧画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① 「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ
• アプリ一覧画面／ウィジェット一覧画面を表示します。

② アプリ

③ アプリ一覧画面の現在の位置を表示します。アプリ一覧画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

④ タブ
- ダウンロード済みアプリの一覧画面を表示します。

⑤ マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

アイコン	アプリ	説明
	ダイヤル	Samsungが提供する「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信ができます。
	連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	Sノート	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。
	スクラップブック	スクラップブックに画像、YouTubeの動画、本端末の音楽や動画などを収集して保存できます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	ミュージック	音楽を再生できます。

アイコン	アプリ	説明
	ビデオ	動画を再生できます。
	ChatON	グループチャットを楽しむことができるアプリです。
	時計	アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。
	Sプランナー	スケジュールを管理できます。
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	設定	本端末の各種設定ができます。
	電卓	計算ができます。
	ワンセグ	ワンセグの視聴などができます。
	Playストア	Google Playからアプリをダウンロードできます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。

アイコン	アプリ	説明
	Samsung Hub	ビデオ、書籍、ゲームなどをダウンロードできます。
	Samsung Apps	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。

■ Samsung

アイコン	アプリ	説明
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。
	アクションメモ	手書きでメモを作成し、その内容から発信、メール送信、Web検索、Sプランナーへの登録などができます。
	POLARIS Office 5	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。
	ストーリーアルバム	アルバムを作成し画像を整理します。
	S Health	体組成計や血圧計などと連携して健康管理します。

アイコン	アプリ	説明
	Group Play	Wi-Fiを使って画像や音楽などを共有することができます。
	Samsung Link	本端末のコンテンツを他のデバイスと共有して再生します。
	WatchON	他の機器の赤外線リモコンを登録し、本端末を使って機器を操作できます。
	Sボイス	音声で検索できます。
	ダウンロード	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。

■ Google

アイコン	アプリ	説明
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	音声検索	音声で検索できます。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	Google+	Google+で情報を共有できるSNSアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	メッセンジャー	複数の友だちグループをまとめて1つのシンプルなグループチャットに招待し、全員で1つのページでチャットを楽しむことができるアプリです。
	Playムービー	Google Playから映画を購入できます。
	Playブックス	Google Playから書籍を購入できます。
	Playゲーム	Google Playからゲームを購入できます。
	ハングアウト	Googleハングアウトでチャットができます。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	Google設定	Googleの設定を行います。

■ Galaxy plus

アイコン	アプリ	説明
	SketchBook for Galaxy	タッチペンを使って、さまざまなツールを使って絵を描くことができます。
	Flipboard	ブログやニュースなどを閲覧できます。

アイコン	アプリ	説明
	Dropbox	写真や動画、ドキュメントをクラウドにアップロードして管理・閲覧できます。
	Evernote	クラウドにアップロードした写真やドキュメントなどを同期して管理・閲覧できます。
	TripAdvisor	ホテルやレストラン、観光名所の情報などを表示します。
	辞典	辞典を利用して単語などを調べることができます。

アイコン	アプリ	説明
	電話	電話を利用します（P.166）。
	ドコモ電話帳	電話帳を利用します（P.197）。
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。

アイコン	アプリ	説明
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。
	iコンシェル	iコンシェルを利用するためのアプリです。iコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。

アイコン	アプリ	説明
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。
	ｉチャネル	天気、ニュース、芸能･スポーツ、占いなど９つの様々なジャンルの最新情報を自動で待ち受け画面にお届けするアプリです。
	災害用キット	緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容についてはP.366をご覧ください。
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。
	おサイフケータイ	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます。
	iDアプリ	電子マネーiDを利用するための設定などを行うアプリです。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」を便利に利用するためのアプリです。Wi-Fiエリア内で、自動でWi-Fiへの接続ができます。また、Wi-Fiエリアを検索することもできます。

アイコン	アプリ	説明
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみ頂けます。
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。
	フォトコレクション	フォトコレクションを利用するためのアプリです。フォトコレクションは写真・動画の無料ストレージサービスです。
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています（P.210）。
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

アイコン	アプリ	説明
	スゴ得コンテンツ	「スゴ得コンテンツ」へのショートカットアプリです。スゴ得コンテンツでは、定番・人気コンテンツを厳選しており、天気・ニュースなどの幅広いジャンルのコンテンツが利用できます。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.254)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字(通知情報の件数)が表示される場合があります。
- ホーム画面を「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、アプリショートカット一覧画面や「その他のアプリ」をタップすると、アプリの一覧を確認できます。

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリ一覧画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ

2 追加したい位置までドラッグして離す

アプリのアンインストール

1 アプリ一覧画面で [メニュー] →「アプリのアンインストール／無効化」

2 アンインストールしたいアプリをタップ
- アンインストールできるアプリには、アイコンの右上に ⊖ が表示されます。

3 「OK」

アプリを無効にする

1 アプリ一覧画面で [メニュー] →「アプリのアンインストール／無効化」

2 無効にしたいアプリをタップ
- 無効にできるアプリには、アイコンの右上に ⊖ が表示されます。

無効にしたアプリを有効にしたい場合

アプリ一覧画面で [メニュー] →「無効なアプリを表示」→有効にしたいアプリにチェック →「完了」をタップします。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面で、クイック検索ボックスをタップ

クイック検索ボックス

① 入力した文字が表示されます。

② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。

③ タップすると音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。

④ 文字入力後にタップすると、入力した文字がすべて消去されます。

お知らせ

- ［　　］を1秒以上押す → ［検索］ → 「Google」を選択したり、ホーム画面で［アプリ］ → 「Google」をタップしても起動できます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

Googleのメニュー

Google画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

項目			説明
更新※1			Google Nowを更新します。
サンプルカード※2			サンプルカードを表示します。
設定	Google Now※3		→ P.139
	通知※1		Google Nowカードに新着情報がある場合に通知するかどうかを設定します。
	マイコンテンツ※1		自宅や職場の住所を設定したり、スポーツや株価情報など手動で登録した情報を管理したりします。
	音声	言語	音声で入力する言語を選択します。
		音声出力	音声出力を常時利用するかを設定します。
		不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。

項目			説明
設定	音声	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。
		Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットを利用して音声入力できるようにするかどうかを設定します。
	端末内検索		端末内で検索する情報の対象を選択します。
	プライバシーとアカウント	Googleアカウント	Google検索などで使用するアカウントを設定します。
		Googleの位置情報設定	位置情報の取得方法と利用方法、ロケーション履歴について設定を行います。
		ウェブ履歴※3	ウェブ検索履歴などを保存するかどうかを設定します。
		ウェブ履歴の管理※3	ウェブ検索履歴などを管理します。

項目			説明
設定	プライバシーとアカウント	端末上の検索履歴を消去する※4	検索履歴を消去します。
		google.comで検索	ローカルドメイン（www.google.co.jp）を使用して検索するかどうかを設定します。
		セーフサーチフィルタ	画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
		法的事項	利用規約、プライバシーポリシー、法的通知、オープンソースライセンスを表示します。
フィードバックを送信			フィードバックを送信します。
ヘルプ			Google検索の使いかたに関する説明を表示します。

※1　Google Nowを設定している場合のみ表示されます。
※2　Google検索の初回起動時の場合のみ表示されます。
※3　Googleアカウントを設定している場合のみ表示されます。
※4　Googleアカウントを設定していない場合のみ表示されます。

Google Nowを設定する

Google Nowを利用するかどうかを設定します。
Google Nowを利用すると、選択したカードの情報がクイック検索で表示されます。

- Google Nowを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.438）。

1 **ホーム画面で、クイック検索ボックスをタップ→［≡］→「設定」→「Google Now」**

- 「Google Nowを知る」画面が表示された場合は、画面に従って「次へ」をタップしてください。

2 **「使ってみる」→「サンプルカードを表示」→設定したい項目の「設定」をタップ**

3 **カードを表示する条件や通知などを設定**

- カードごとに「ON」／「OFF」をタップして表示／非表示することができます。

Sファインダーで検索する

Sファインダーを利用して端末内検索／Web検索を行うことができます。

1 **[メニューキー] を1秒以上押す**

- Sファインダーが起動します。

2 **検索したいキーワードを入力し、[検索アイコン] をタップ**

- カテゴリ別に検索結果が表示されます。
- Web検索を行うには、「Webの検索」カテゴリから使用する検索サービスのアイコンをタップします。
- Sファインダーの詳細については、Sファインダー画面で [メニューキー] →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

最近使用したアプリの一覧

1 **　を1秒以上押す**

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- をタップすると、タスクマネージャー（P.142）を起動できます。
- をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを左右（横表示の場合は上下）にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。

タスクマネージャー

起動中のアプリを確認／終了します。

1 ［　　　］を1秒以上押す→［アイコン］

タスクマネージャー画面

① **タブ**
「起動中のアプリ」：起動中のアプリの一覧が表示されます。
「ダウンロード」：インストールしたアプリの一覧とメモリ使用状況を確認します。「削除」→「ＯＫ」をタップすると、アプリをアンインストールします。
「RAM」：RAMの使用状況を確認します。「メモリを消去」をタップすると、RAMの内容を消去し、起動中の一部のアプリが終了します。
「初期設定に戻す」：ホーム画面、ブラウザなどのアプリの標準設定が設定されているものを確認します。「消去」をタップすると、初期設定に戻すことができます。
「ストレージ」：各種メモリの使用状況を確認します。

② **起動中のアプリの件数**
「全て終了」→「ＯＫ」をタップすると、起動中のアプリをすべて終了します。

③ **起動中のアプリ一覧**
「終了」→「OK」をタップすると、アプリを終了します。
CPU使用率により、文字の色が変わります。使用率が高いと「終了」が赤く表示されます。

お知らせ

- 「起動中のアプリ」タブ、「ダウンロード」タブは、[メニュー]→「ソート」をタップすると、一覧の表示順を選択できます。
- 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

ホームアプリの切り替えかた

▭ を押して表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」／「設定」→「一般」タブ

「TouchWizかんたんモード」に設定している場合

ホーム画面で ▭ →「かんたん設定」をタップします。

2 「ホーム切替」

3 「docomo LIVE UX」／「TouchWiz標準モード」／「TouchWizかんたんモード」

4 「OK」

お知らせ

- ホームアプリを「docomo LIVE UX」または「TouchWiz標準モード」に切り替えた場合、初回切り替え時のみ、ホームアプリの初期値の壁紙で表示されます。その後切り替えた場合は、現在の壁紙の設定を引き継ぎます。

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定を自動的に変更することでバッテリー消費を抑えることができます。

- 画面の色をグレースケールに自動調整
- 使用可能なアプリの数を制限
- 画面オフ時にデータネットワークをオフ
- Wi-FiやBluetooth機能、NFC/ おサイフケータイ、GPSなどの接続機能をオフ

1 **（電源／画面ロックキー）を1秒以上押す**

- 端末オプション画面が表示されます。

2 **「緊急時長持ちモード」→注意事項を確認→「OK」**

- 画面の色がグレースケールになり、緊急時長持ちモードが有効になります。

お知らせ

- 緊急時長持ちモードを無効にするには、 →「緊急時長持ちモードを無効にする」をタップします。緊急時長持ちモードを無効にすると端末が再起動します。
- 緊急時長持ちモードで、再びWi-Fi、Bluetooth機能をONにするには、 →「設定」→ をタップします。
- 緊急時長持ちモードを有効にすると、TalkBackなど一部の機能が制限されます。
- 緊急時長持ちモードでも、カメラやワンセグ、ブラウザはバッテリーをより多く消費します。

- 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部ウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。
- 緊急時長持ちモードの詳細は、[メニュー] →「緊急時長持ちモードについて」をご確認ください。

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた

ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **マルチウィンドウ（P.116）のタブ**
- 主なアプリのアイコン一覧を、どの画面からでも呼び出すことができます。このタブをタップすると、マルチウィンドウのアイコン一覧が表示されます。
- をロングタッチすると、マルチウィンドウのアイコン一覧が表示されます。
- を再度ロングタッチすると、マルチウィンドウのタブを非表示にすることができます。

② **アプリやウィジェット**
- アプリやウィジェットなどを起動できます。

③ **ドック**
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- 、以外のアイコンには他のアプリのアイコンやフォルダを配置できます。
- をタップすると、アプリ画面が表示されます。
- をタップすると「マイマガジン」※が起動します。

※マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。本機能は今後提供されるアップデートにより利用可能となります。

④ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑤ **現在の位置**
- ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

ホーム画面の管理

ホーム画面で設定できること

ホーム画面では以下を設定できます。

1 **ホーム画面で** [メニューキー]

項目	説明
検索	端末内のアプリやウェブページを検索します。
きせかえ	アイコンの背景やデザインを選択できます。
マチキャラ表示設定	マチキャラの表示／動作設定などを行います。 • ホーム画面上のマチキャラをロングタッチしても設定できます。
アプリ配置先設定	インストールしたアプリの配置先を「ホーム画面」と「アプリ一覧」から選択します。
本体設定	「設定」画面を表示します。 →P.380
ヘルプ	docomo LIVE UX操作ガイドを表示します。
アプリケーション情報	docomo LIVE UXのバージョン情報を表示します。オープンソースライセンスや最新バージョンの確認もできます。

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリやウィジェット、フォルダなどを追加することができます。

アプリを追加する

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ

2 「アプリを表示」→ 移動したいアプリをロングタッチ

3 画面下部のホーム画面までドラッグして追加したい位置で離す

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ

2 「ウィジェットを表示」→ 移動したいウィジェットをロングタッチ

3 画面下部のホーム画面までドラッグして追加したい位置で離す

ウィジェット	説明
アラーム	アラームを設定します。
Google Play ブックス	Google Playから書籍を購入できます。
The NewsCafe	最新のニュースを表示します。

ウィジェット	説明
Samsung Apps	役に立つアプリのダウンロードやインストールしたアプリのアップデートができます。
ブックマーク	指定したブックマークのショートカットを表示します。
電話帳	連絡先をホーム画面に配置し、電話の発信やメールの送信などができます。
メモ	指定したメモを表示します。
スケジュール&メモ	カレンダーを表示し、スケジュールの確認やメモの作成などができます。
電話帳ピックアップメンバー	ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリに登録した連絡先の発着信履歴などを表示します。
時計（デジタル）	時計を表示します。
デュアル時計（デジタル）	
お気に入りの連絡先	選択した連絡先を表示します。電話の発信やメールの送信などができます。
Flipboard	ブログやニュースを表示します。
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を確認・実行します。
Gmail	Gmailの受信トレイなどの一部を表示します。
Google検索	クイック検索を表示します。

ウィジェット	説明
Weather Widget	天気予報を表示します。
ミュージック	音楽を再生します。
Playストア	おすすめのアプリを表示します。
再生ーマイライブラリ	Google Playで購入したアプリ、書籍、映画を表示します。
おすすめのコンテンツを楽しむ	Google Playのおすすめのコンテンツの情報を表示します。
Google+投稿	Google+での投稿を表示します。
Sブックマーク	本端末内やGoogleアカウントに保存したブックマークを表示します。
ウォーキングメイト	歩数を測定します。
Sノート	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。
カレンダー	カレンダーを表示します。
カレンダー	
Samsung Hub	動画、書籍、ゲームなどをダウンロードできます。
起動中のアプリ管理	起動中のアプリを管理します。
Eメール	Eメールの受信トレイの一部を表示します。

ウィジェット	説明
ピクチャフレーム	写真を表示します。
SMS	SMSを作成・送信できます。
補助ライト	ライトをつけます。
ホーム切替	ホーム切替のショートカットです。
ビデオ	ビデオの一覧を表示します。
Google検索	クイック検索を表示します。
Google Now	現在地の天気、目的地までの交通状況や経路などの情報を表示します。
YouTube	おすすめ動画を表示します。
ドコモ位置情報	位置情報を利用したサービスの設定ができます。
Contents Headline	dマーケットにあるオススメの音楽、動画、電子書籍などを表示します。
カテゴリナビ（4x1）	グルメやショッピングなどのジャンルごとに検索できます。
iチャネルウィジェット	天気やニュースなどさまざまな情報を表示します。
診断ツールアプリ	診断ツールを起動します。
Twitter（大）	Twitterのタイムラインを表示します。
Twitter（小）	

ウィジェット	説明
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiエリアを検索することができます。
NOTTVウィジェット	NOTTVの番組情報を表示します。
書籍	Google Playで購入した書籍を表示します。
ブックマーク	指定したブックマークのショートカットを表示します。
ドコモ電話帳	ドコモ電話帳に登録された連絡先を表示します。
直接発信	ドコモ電話帳に登録された連絡先へ発信します。
直接メッセージを送る	ドコモ電話帳に登録された連絡先へメッセージを送ります。
Dropboxフォルダ	Dropboxのフォルダを表示します。
Evernoteのショートカット	Evernoteのショートカットを表示します。
経路を検索	Googleマップを利用して目的地までの経路を表示します。
Gmailのラベル	Gmailの選択したラベルを表示します。
連絡先	連絡先を表示します。

ウィジェット	説明
ダイレクトメッセージ	登録された連絡先にメッセージを送ります。
カテゴリナビ（1×1）	グルメやショッピングなどのジャンルごとに検索できます。
Adapt Sound	音楽再生の音質を最適化します。

お知らせ

- ホーム画面を「TouchWiz標準モード」に設定している場合は、利用できるウィジェットが異なります。また、ウィジェットのアイコンが異なる場合があります。
- ホーム画面で画面を下にフリックしてもウィジェット一覧が表示されます。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

フォルダを追加する

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「フォルダを作成」

お知らせ

- フォルダを削除するには、フォルダをロングタッチ →「ホーム画面から削除」までドラッグして離します。

アプリなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ

2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグして離す

- ホーム画面からアプリが消えてアプリ画面に表示されます。

ウィジェットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で、削除したいウィジェットなどをロングタッチ

2 「ホーム画面から削除」までドラッグして離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す→「OK」

- アンインストール完了のメッセージが表示されます。

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、アンインストールの代わりに無効化できます。ホーム画面で無効化したいアプリやウィジェットをロングタッチ →「アプリ無効化」までドラッグして離す →「無効」→「OK」をタップします。

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更したいフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ → フォルダ名を入力 →「完了」

きせかえの変更

壁紙やアプリ一覧画面を一括設定できる機能です。

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「きせかえを変更」

- きせかえ設定画面が表示されます。

2 設定するテーマを選択 →「設定」

お知らせ

- ホーム画面で [メニューキー] →「きせかえ」をタップしても変更できます。
- きせかえサイトからダウンロードするには、きせかえ設定画面で「サイトから探す」をタップします。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 **ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「壁紙を変更」**

2 **壁紙を選択**

3 **「すべての画面」／「この画面のみ」→「OK」**

- 「他の壁紙を見る」をタップして、「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」から壁紙を選択できます。
  - ギャラリーの場合、画像を選択して「完了」をタップします。サイズの変更が必要な場合は、青枠をドラッグしてサイズを変更し、「完了」→「すべての画面」／「この画面のみ」→「OK」をタップします。「壁紙を設定」画面で「位置調整」をタップすると位置を調整できます。
  - ライブ壁紙の場合、壁紙を選択して「壁紙に設定」をタップします。
  - 壁紙の場合、壁紙を選択して「壁紙に設定」→「すべての画面」／「この画面のみ」→「OK」をタップします。「壁紙を設定」画面で「位置調整」をタップすると位置を調整できます。

ホーム画面の追加

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ▦ をタップ
- 最大7枚までホーム画面を追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 ホーム画面で、アプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 削除したいホーム画面のサムネイルの ⊗ をタップ

マチキャラを表示する

ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。

1 ホーム画面で [menu] →「マチキャラ表示設定」

2 「マチキャラ表示」タブ →「キャラ表示」の「表示する」

お知らせ

- 表示されているキャラクターをロングタッチしても設定画面が表示されます。
- ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ→「マチキャラ表示設定」をタップしても設定画面が表示されます。
- 手順2で「基本設定」タブをタップすると、本端末を耳にあてるとマイクが自動でＯＮになり、マチキャラの音声を受話口から聞こえるように設定したり、しゃべってコンシェルアプリ内のテーマや壁紙を変更したりできます

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で

- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面を下にドラッグしてもアプリ画面が表示されます。

アプリ一覧画面の表示内容（表示例）

① **「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ／「壁紙」タブ／「おすすめボタン」**
- アプリ／ウィジェット／壁紙一覧画面を表示します。
- 「おすすめボタン」では、ドコモのおすすめアプリが表示されます。

② **アプリ**

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

1 アプリ一覧画面で、ホーム画面に移動したいアプリをロングタッチ

2 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 アプリ／ウィジェット一覧画面で、アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す→「OK」

- アンインストール完了のメッセージが表示されます。

アプリの移動

1 アプリ一覧画面で、移動したいアプリをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリの検索

1 アプリ一覧画面で [menu] →「検索」

2 検索したいアプリを入力 → 検索されたアプリをタップ

- 本端末にインストールされたアプリを検索するには、検索画面で [menu] →「設定」→「端末内検索」→「アプリ」にチェックを付ける必要があります。

「おすすめ」アプリのインストール

「おすすめボタン」には、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。アプリをダウンロードするには、画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、アプリの一覧が表示されます。
- 「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリが一覧表示されます。
- ダウンロードしたアプリは、「アプリ配置先設定」（P.149）で選択した配置先に表示されます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「ヘルプ」

バージョン情報

1 ホーム画面で [メニュー] →「アプリケーション情報」

- docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。
- 「オープンソースライセンス」をタップすると、ライセンス情報が表示されます。
- 「最新バージョンの確認」をタップすると、dマーケットが起動して、最新バージョンを確認できます。

電話をかける

1　ホーム画面で［電話アイコン］→「ダイヤル」

2　相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

ダイヤル画面

① **発着信履歴**：発着信履歴画面が表示されます（P.179）。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.202）。
ダイヤル：ダイヤル画面が表示されます。

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **電話発信キー**
入力した電話番号に電話をかけます。

④ **電話帳に登録キー**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

⑤ **声の宅配便キー**
声のメッセージを録音することができます（P.185）。

⑥ **削除キー**
一番右側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

⑦ **電話帳キー**
電話帳を表示します。

3 をタップ

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 本端末では、テレビ電話は利用できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.182）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- ホーム画面で → 「ダイヤル」をタップしてSamsungが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「キーパッド」をタップしても、電話をかけることができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」（P.170）を使用します。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定またはブロックモードをONにした状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定およびブロックモードはOFFになります。

ダイヤル画面のメニュー

ダイヤル画面で [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
発信者番号通知※1	発信者番号を通知する／通知しないを設定します。
国際電話発信※1	国際電話を利用します（P.184）。
2秒間の停止を追加※1	メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。 • ポーズ「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加※1	メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示します。「送信する」を選択されると追加番号をダイヤルします。 • タイマー「；」を入力します。電話番号に続けて「；」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
SMSを送信	→P.211

項目	説明
通話設定	→P.185
起動画面に設定	ホーム画面で をタップしたとき、表示中の画面を最初に表示するように設定します。※2

※1　ダイヤル画面で、番号を入力すると表示されます。
※2　ホームアプリによっては、設定が反映されない場合があります。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

- 着信中の画面が表示されます。

着信中の画面

- 圏外の状態で電話がかかってきた場合、着信通知お知らせがSMSで送られます。

2 **を表示される円の外側までドラッグ**

- 通話が開始されます。

着信拒否する場合

を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「伝言メモ／拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、拒否理由の をタップします。

- 「新規SMSを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

「伝言メモ」で応答する場合

画面下部の「伝言メモ／拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

3 通話が終了したら「通話を終了」

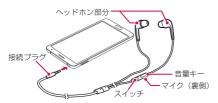
お知らせ

- 拒否理由は、ホーム画面で → →「通話設定」→「応答拒否SMSの設定」（P.194）で変更できます。
- 着信中に （音量キー）を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

お知らせ

- 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す**

- 電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

2 **通話が終了したら再度スイッチを押す**

お知らせ

- 本端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。
- 着信中にマイク付ステレオヘッドセットの音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。通話中に音量キーを押すと、通話相手の声の音量（通話音量）を調節できます。

通話中の操作

1 **電話がかかってくる**

- 着信中の画面が表示されます。

2 **📞 を表示される円の外側までドラッグ**

- 通話中画面が表示され、通話が開始されます。

通話中画面

通話中画面では次の操作ができます。

① **音質の個別設定**
通話音の音質を設定します。

② **ノイズキャンセラー**
ノイズキャンセラー機能の有効／無効を切り替えます。

③ **通話を追加**※
別の相手に電話をかけます。

④ **スピーカー**
相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。

⑤ **保留**※**／保留解除**※
通話を保留／保留解除します。

⑥ **最大音量**
相手の声を聞き取りやすくするために、最大音量の有効／無効を設定します。
通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に▯（音量キー）を押します。

⑦ **キーパッド／非表示**
キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。

⑧ **通話を終了**
通話を終了します。

⑨ **ヘッドセット**
Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。

⑩ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。

※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
ホーム画面を「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、保留／保留解除ができません。

通話中画面のメニュー

通話中画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先	連絡先の登録情報の一覧を表示します。
アクションメモ	アクションメモを起動します。
SMS	SMSを送信します。
録音／録音を停止	通話中の音声を録音／録音を停止します。 • 録音した音声データは、ボイスレコーダー（P.360）で再生できます。
片手操作をON／片手操作をOFF	片手操作のON ／ OFFを切り替えます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に ▯（音量キー）を押します。
- 通話中画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、▯（電源／画面ロックキー）／ ▭ を押したりすると、通話中画面を表示できます。

発着信履歴

発着信リストでは、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。最大500件まで表示できます。

1 ホーム画面で 📞 →「発着信履歴」

- 発着信リスト画面が表示されます。

発着信リスト画面

① **発着信履歴**：発着信履歴画面が表示されます。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.202）。
ダイヤル：ダイヤル画面が表示されます（P.166）。

② **履歴切り替え**
着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。「全て」をタップすると、すべての発着信履歴を表示します。

③ **名前、電話番号**

タップすると発信画面を表示します。

- 発信画面の項目をタップすると、電話発信、SMS送信、電話帳登録、またはプロフィール画面の表示などを行います。
- ロングタッチすると、発信前に番号を編集、通話履歴から削除、居場所を確認、などを行うことができます。

④ **履歴アイコン**

To➡：発信履歴

From⬅：着信履歴

✕⬅：不在着信履歴

⑤ **発着信のステータスアイコン**

声：声の宅配便（P.185）で発信

：発信者番号通知で発信（「186」を付けて発信した場合）

：発信者番号非通知で発信（「184」を付けて発信した場合）

：国際電話の発着信

⑥ **発着信日時**

⑦ **電話発信キー**

タップすると電話を発信します。

⑧ **電話帳**

タップすると電話帳を表示します。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない相手を選択し、表示された画面で「電話帳に登録」をタップすると、電話帳に電話番号を新規／上書き登録できます。
- 発着信リスト画面で電話帳に登録されている相手を選択し、表示された画面で「プロフィール」をタップすると、電話帳のプロフィール画面が表示されます。また、「コミュニケーション」をタップすると、電話の発着信履歴などを確認できます。
- 不在着信がある場合はステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスクロールし、「不在着信」の「発信」をタップすると、着信相手に電話をかけることができます。「SMS」をタップすると、着信相手宛SMSの作成画面が表示されます。
- ドコモバックアップ（P.365）を利用して、通話履歴をバックアップできます。
- ホーム画面で →「ダイヤル」をタップしてSamsungが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「履歴」をタップしても、発着信履歴を確認することができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

発着信履歴画面／履歴詳細画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
全件削除※1	履歴を削除します。
通話設定※1	→ P.185
起動画面に設定※1	ホーム画面で「電話」をタップしたとき、表示中の画面を最初に表示するように設定します。※2
発信者番号通知※3	発信者番号を通知する／通知しないを設定します。
国際電話発信※3	国際電話を利用します。→ P.184
2秒間の停止を追加※3	ポーズ「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加※3	タイマー「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「送信」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。

※1 発着信履歴画面でのみ表示されます。
※2 ホームアプリによっては、設定が反映されない場合があります。
※3 電話帳に登録されていない相手の履歴詳細画面でのみ表示されます。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。
録音できる最大件数と、1回あたりの最大録音時間に制限はありません（本端末のメモリ容量の空きに依存します）。

1 ホーム画面で [電話アイコン] → [メニューキー] →「通話設定」

2 「伝言メモ設定」→「伝言メモ」をONにする

- 「バイブ/サイレント設定中は有効」をタップすると、バイブ／サイレント設定中のみ伝言メモ機能を有効にできます。
- 「応答時間」をタップすると応答時間を0～120秒まで設定できます。
- 「言語」をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに [伝言メモアイコン] が表示されます。ステータスバーを下にスクロールし、「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモが確認できます。 ホーム画面で [電話アイコン] → [メニューキー] →「通話設定」→「伝言メモ設定」→「録音メッセージ」をタップすると、伝言メモの一覧が確認できます。

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。
海外での利用については、P.500以降をご覧ください。

海外での利用については、P.500以降をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 **ホーム画面で → 「ダイヤル」→「0」「1」「0」→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 **をタップ**

3 **通話が終了したら「通話を終了」**

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で 📞 → ▭ →「通話設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目		説明
ネットワークサービス	声の宅配便	電話でメッセージを録音し、相手にお客様の声を届けるサービスです。
	留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。

項目		説明
ネットワークサービス	迷惑電話ストップサービス	相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスを開始／停止します。
	通話中着信設定	通話中着信設定を開始／停止します。
	着信通知	着信通知を開始／停止します。
	英語ガイダンス	英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定	遠隔操作を開始／停止します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

項目			説明
海外設定	ローミング時着信規制		ローミング中の着信規制を開始／停止します。
	ローミング着信通知		ローミング中の着信通知を開始／停止します。
	ローミングガイダンス		ローミングガイダンスを開始／停止します。
	国際ダイヤルアシスト	自動変換機能	自動変換機能のON／OFFを設定します。 • ONにすると、電話番号の先頭に「＋」を入力して発信したときに国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると、「＋」が「国際プレフィックス」で登録した国際アクセス番号に変換されます。
		国番号	国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
		国際プレフィックス	国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

項目			説明
海外設定	ネットワークサービス	遠隔操作（有料）	海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。 • あらかじめ「遠隔操作設定」（P.186）を開始にする必要があります。 • 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。 • 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。
		番号通知お願いサービス（有料）	
		ローミング着信通知（有料）	
		ローミングガイダンス（有料）	
		留守番電話サービス（有料）	
		転送でんわサービス（有料）	
着信拒否	自動着信拒否モード		自動着信拒否モードを設定します。
	自動着信拒否リスト		自動着信拒否モードを「自動着信拒否番号」に設定している場合に拒否する番号を設定します。 → P.195

項目		説明
応答拒否SMSの設定		→ P.194
通話応答／終了	ホームキーで電話に応答	を押して着信に応答するかどうかを設定します。
	音声コントロール	音声で電話に応答するかどうかを設定します。
	電源キーで通話終了	（電源／画面ロックキー）を押して通話を終了するかどうかを設定します。 チェックマークを付けた場合、通話中にバックライトが消灯し画面がロックされたときは、を押すと通話中画面を表示できます。
伝言メモ設定	録音メッセージ	伝言メモのメッセージ一覧を表示します。
	伝言メモ	伝言メモ機能を有効にするかどうか、また有効にするタイミングを設定します。
	言語	伝言メモの応答メッセージの言語を設定します。
	応答時間	伝言メモの応答時間を設定します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">通話中は画面をOFF</td><td>通話中に本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき、画面の表示を消すかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">通話通知</td><td>通話中のバイブ</td><td>→ P.193</td></tr>
<tr><td>通話状況の通知音</td><td>→ P.193</td></tr>
<tr><td>通話中にイベント通知</td><td>→ P.193</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信のお知らせ</td><td>着信があったときに、着信中のポップアップを表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">通話のアクセサリ設定</td><td>自動応答</td><td>ヘッドセットなどに接続した状態で自動応答するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>自動応答時間</td><td>「自動応答」にチェックを付けた場合に、自動応答するまでの時間を設定します。</td></tr>
</table>

項目		説明
通話のアクセサリ設定	発信通話状態	画面ロック中でもBluetoothヘッドセットから電話の発信をできるようにするかどうかを設定します。
追加設定	自動エリアコード	自動で局番（エリアコード）を追加するかどうかを設定します。
追加サービス	USSD登録	ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。
	応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを登録します。
着信音とキーパッド音	着信音	着信音を設定します。
	バイブ	バイブレーションを設定します。
	着信時にバイブ	着信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。

項目		説明
着信音とキーパッド音	キーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
通話音質を個別設定		通話音の音質を、ユーザーに適した音質にカスタマイズして設定します。
ノイズキャンセラー		通話中に周囲の雑音を抑えるように設定します。
ポケット内では音量アップ		本端末がポケットやかばんなどの中にあるときに電話の着信があると、着信音の音量を上げるようにするかどうかを設定します。

電話／通話の状態を音で知らせる

1 ホーム画面で［電話アイコン］→［メニュー］→「通話設定」→「通話通知」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
通話中のバイブ	応答時のバイブ	発信先の相手が通話に応答したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時バイブ	「通話を終了」をタップしたとき本端末を振動させるかどうかを設定します。
通話状況の通知音	呼び出し開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	1分ごとに通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
通話中にイベント通知		アラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。

1 ホーム画面で 📞 → ▭ →「通話設定」→「応答拒否SMSの設定」

2 「作成」→ 拒否メッセージを入力 →「保存」

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 →「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

🗑 → 削除したい拒否メッセージまたは「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大100件まで登録できます。

1 ホーム画面で [電話] → [メニュー] →「通話設定」→「着信拒否」→「自動着信拒否リスト」

2「作成」

非通知、通知不可能、公衆電話の電話を拒否する場合

「通知不可能」にチェックを付けます。

登録した電話番号を編集する場合

編集したい電話番号をタップ → 電話番号を修正 →「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合

[削除] → 削除したい電話番号または「全て選択」にチェックを付ける →「削除」→「削除」をタップします。

3 拒否したい電話番号を入力

- 履歴や電話帳から電話番号を引用する場合は、[連絡先] →「履歴」／「連絡先」→「連絡先」を選択した場合はアプリを選択 →「毎回」／「今回のみ」→ 登録する相手をタップします。

4「振り分けルール」→ 指定する振り分けルールをタップ

5「保存」

- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

お知らせ

- 登録した電話番号を拒否するには「自動着信拒否モード」(P.188)で「自動着信拒否番号」を選択する必要があります。
- 登録した電話番号をロングタッチすると、編集または削除することができます。

電話帳

電話帳に登録する

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 電話帳のクラウドサービスを利用するには、ドコモの電話帳アプリが必要になります。初めて起動したとき（アプリの初期化後を含む）は、「クラウドの利用について」画面が表示され、「利用する」をタップすると、クラウドの利用を開始できます。

1 **ホーム画面で ▦ →「ドコモ電話帳」**
- お買い上げ時は、連絡先一覧画面が表示されます。

2 **「登録」→ 保存先を選択**
- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。

docomoアカウントに保存する場合

連絡先編集画面

本端末に連絡先を保存する場合

ホーム画面で ▦ →「連絡先」→ ＋ をタップし、保存先で「デバイス」を選択します。

① **アカウントアイコン**
保存先のアイコンが表示されます。
- 異なるアカウントの連絡先を統合した場合、複数のアカウントアイコンが表示されます。

② **画像欄**
「設定」をタップすると、画像を登録できます。写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「画像を選ぶ」をタップします。

③ **詳細入力キー**
敬称やミドルネームなど詳細情報を入力できます。

④ **ラベルキー**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベル名を作成できます。

⑤ **項目追加／削除キー**
選択した項目の入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力

- 「グループ」の「設定」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「着信音」の「設定」をタップすると個別の着信音を設定できます。
- 「SNS・ブログ」の「追加」をタップするとSNSの情報を入力できます。
- 「その他」の ^ をタップすると、住所やニックネーム、メモなどを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先や言語の設定（P.425）によって異なります。

4 「登録完了」

- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で [メニュー] →「その他」→「表示するアカウント」をタップして表示の設定を変更します。

お知らせ

- ホーム画面で [アプリ] →「連絡先」をタップしてSamsungが提供する「連絡先」アプリを起動しても、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で → 「ドコモ電話帳」

- 連絡先一覧画面が表示されます。連絡先一覧画面が表示されていない場合は「連絡先」をタップします。

連絡先一覧画面

① **連絡先**

- 連絡先一覧画面を表示します。

② **コミュニケーション**

- 電話発着信履歴、spモードメール送受信履歴※、SMS送受信履歴※を表示します。履歴から、電話発信やSMSなどの送信を行うことができます。

  ※ あらかじめコミュニケーション画面で → 「取得設定」 → 履歴を取得するサービスの「取得」をタップし、サービスを登録しておく必要があります。

- コミュニケーションの画面で「表示項目」をタップすると、表示する項目(電話／spモードメール／SMS／各SNS※)を設定できます。
  ※ クラウドを利用開始の上、マイSNS機能を利用している場合のみ表示されます。

③ **登録内容**
- 登録内容がアイコンで表示されます。

④ **電話帳に登録された名前**

⑤ **電話帳に設定された写真**
- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成などができます。

⑥ **グループ**
- 表示するグループを選択します（P.203）。

⑦ **登録**
- 連絡先を登録します（P.197）。

⑧ **タイムライン**
- クラウドをONにした場合、マイSNS機能で設定したSNS・ブログのタイムラインなどが表示されます。
- タップすることで詳細画面が表示され、コメントやいいね！の投稿をすることができます。

⑨ **マイプロフィール**
- マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理、名刺作成アプリを利用して名刺データの作成ができます（P.205）。

⑩ **インデックス文字表示域**
- 「インデックス」をタップすると、名前を五十音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。

⑪ **インデックス**
- インデックスを表示します。

⑫ **検索**
- 連絡先を検索します。

2 **確認したい連絡先をタップ**

- プロフィール画面が表示されます。
- 電話番号をタップして「電話をかける」をタップすると、電話をかけることができます。
- 電話番号欄の SMS をタップするとSMSを作成できます。
- 電話番号欄の 声 をタップすると声の宅配便（P.185）を利用することができます。
- メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。
- 「コミュニケーション」をタップすると、選択した相手との発着信履歴などを確認できます。

連絡先を編集する場合

「編集」をタップします。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先を「お気に入り」グループに追加します。

1 **連絡先一覧画面でお気に入りに追加したい連絡先をタップ → ☆（白色）をタップして、★（黄色）にする**

- 追加した連絡先が「お気に入り」グループに表示されます。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 連絡先一覧画面で「グループ」

- 画面左にグループが表示されます。グループには登録されている連絡先の件数が表示されます。
- 「閉じる」をタップすると、グループが閉じます。

2 確認したいグループをタップ → 連絡先をタップ

グループを追加／編集する

1 連絡先一覧画面で「グループ」→「追加」→アカウントを選択

登録済みのグループを編集する場合

編集したいグループをロングタッチ →「グループ編集」をタップします。

2 色、アイコンを選択 → グループ名を入力

3 「OK」

お知らせ

- グループの「追加」はグループの最下部に表示されます。
- 色、アイコンを選択できるグループは、保存先がdocomo アカウントのグループのみです。

グループを削除する

1 連絡先一覧画面で「グループ」

2 削除したいグループをロングタッチ →「グループ削除」→「OK」

グループに連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面で「グループ」

2 連絡先をロングタッチ → 追加したいグループの上までドラッグ

グループから連絡先を削除する場合

削除したい連絡先を含むグループをタップ → 削除したい連絡先をロングタッチ → 設定していたグループの上までドラッグします。

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先がdocomoアカウントまたはGoogleアカウントの連絡先のみです。

電話帳から電話をかける

1 連絡先一覧画面で電話をかけたい相手をタップ

- プロフィール画面が表示されます。

2 相手の電話番号をタップ →「電話をかける」

マイプロフィールを登録する

1 **連絡先一覧画面で「マイプロフィール」**

- プロフィール画面が表示されます。

2 **「編集」**

名刺データを作成／編集する場合

「新規作成」／「名刺編集」をタップし、画面の指示に従ってください。

3 **必要な項目を入力 →「登録完了」**

お知らせ

- 「通知設定」をタップすると、電話番号の変更や自分の近況を、登録している相手に通知する「フレンド通知設定」ができます。
- 名刺データを削除するには、「名刺削除」→「OK」をタップします。
- 「この名刺を交換する」をタップすると、登録した名刺データをネットワーク経由で交換できます。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモminiUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。また、連絡先はメール送信もできます。

1 **連絡先一覧画面で [メニュー] →「その他」→「インポート／エクスポート」**

2 **以下の操作を行う**

連絡先をインポートする場合

「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」→ 保存先を選択します。

- 「SDカードからインポート」を選択した場合は、microSDカードから連絡先をインポートします。
- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。
- microSDカードに複数の連絡先データ（vCard）が保存されている場合は、電話帳の選択画面が表示されます。画面の指示に従ってインポート方法を選択してください。

連絡先をエクスポートする場合

「SDカードにエクスポート」→ エクスポートの方法を選択 →「OK」→ 画面の指示に従って操作します。

連絡先データ（vCard）として送信する場合

「表示可能な電話帳を共有」→ 送信方法を選択します。

連絡先一覧画面／プロフィール画面のメニュー

連絡先一覧画面／プロフィール画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

◻ 連絡先一覧画面

項目	説明
削除	連絡先を削除します。
全体設定	ドコモ電話帳の海外利用やWi-Fi利用について設定します。

項目		説明
クラウドメニュー		クラウドメニューを表示します。
インフォメーション		ｉコンシェルからのお知らせなどを表示します。
電話帳変更お知らせ一覧		「電話帳変更お知らせ」の通知一覧が表示されます。
ヘルプ		電話帳の利用方法や注意事項を確認できます。
その他	インポート／エクスポート	→ P.205
	お預かりセンターと同期	バックアップセンターと同期し、バックアップを行います。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を変更します。
	表示するアカウント	タップしたアカウントに該当する連絡先のみが表示されます。
	アプリケーション情報	ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリのバージョンや電話帳件数が確認できます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

◘ プロフィール画面

項目	説明
共有	連絡先をBluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	連絡先を削除します。
着信音を設定	個別の着信音を設定します。
統合／分割	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめたり、1つにまとめた連絡先を分離します。
SNS電話帳連携設定	SNS連携機能について設定します。 • docomoアカウントの連絡先の場合のみ表示されます。

お知らせ

- 「統合」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、連絡先一覧画面には表示されなくなります。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。

- 操作方法については、P.365をご覧ください。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1. ホーム画面で「spモードメール」
2. 画面の指示に従ってspモードメールアプリをダウンロード

SMS

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

SMSを作成して送信する

1 **ホーム画面で ⊞ →「SMS」**

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 **✎ をタップ**

- SMS作成画面が表示されます。

3 **宛先に送信先の携帯電話番号を入力**

- 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ（,）を入力するか、＋ をタップします。
- 👤 →「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」／「履歴」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先、履歴から宛先を選択して入力できます。

4 **「メッセージを入力」欄にメッセージを入力**

顔文字を入力する場合

▭ →「顔文字を挿入」→ 入力したい顔文字をタップします。

登録済みのデータを挿入する場合

▭ →「テキストを追加」→ アプリを選択し、引用するデータをタップします。

5 ✉ をタップ

日時を指定してSMSを送信する場合

▭ →「予約メッセージ」→ 送信したい日時を設定→「完了」→ ✉ をタップします。

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で ↩ を2回タップします（予測変換候補表示時は ↩ を3回タップします）。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信予約したSMSの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、SMSは送信されません。
- 送信予約したSMSは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したSMSを確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

- SMS一覧画面が表示されます。
- 受信SMSは黄色、送信SMSは青色、送信予約SMSはグレーの吹き出しで表示されます。送受信したSMSの吹き出しの色や形は変更できます（P.214）。

お知らせ

- 「通知」（P.215）にチェックを付けている場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに ✉ が表示されます。

スレッド一覧画面／SMS一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面／SMS一覧画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
検索※1	SMSを検索します。
スレッドを削除※1	スレッドを削除します。
下書きメッセージ※1	下書き保存したSMSを表示します。
保護メッセージ※1	保護したSMSを表示します。

項目			説明
送信予定メッセージ※1			送信予約したSMSを表示します。
迷惑メッセージ※1			迷惑SMSを表示します。
設定※1※2	一般	自動削除	設定した件数に達したとき、古いSMSから自動的に削除するかどうかを設定します。
		最大SMS件数	最大SMS件数を設定します。
		定型文	定型文を追加・編集します。
		吹き出し	吹き出しのスタイルを設定します。
		背景スタイル	背景のスタイルを設定します。
		分割表示	横画面表示で分割表示を有効にするかどうかを設定します。
		音量キーを使用	で文字サイズを変更するかどうかを設定します。
		署名を追加	署名を追加するかどうかを設定します。
		署名テキスト	署名を編集します。

項目			説明
設定[※1][※2]	SMS	配信確認通知	送信ごとに送達通知を要求するかどうかを設定します。
		SIMカード保存メッセージ管理	ドコモminiUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。
		メッセージセンター	SMSセンターを設定します。 • 通常は設定を行う必要はありません。
		有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
	その他	通知	SMSを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
		通知音	SMSを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
		バイブ	SMSを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
		メッセージ通知の繰り返し	SMS受信通知の繰り返し間隔を設定します。

項目			説明
設定※1 ※2	その他	メッセージをプレビュー	SMSを受信したときに、ステータスバーやロック画面にプレビューを表示するかどうかを設定します。
		迷惑メッセージ設定	迷惑SMSを受信拒否するかどうかを設定します。
		迷惑メッセージ番号に追加	受信拒否する携帯電話番号を登録します。
		迷惑メッセージフレーズに追加	受信拒否するフレーズを登録します。
		番号非通知をブロック	発信者番号非通知のSMSを受信拒否するかどうかを設定します。
顔文字を挿入※3			顔文字を入力します。
テキストを追加※3			登録済みのデータを挿入します。
連絡先を表示／連絡先に追加※3			連絡先を表示／連絡先に追加します。
宛先を追加※3			他の宛先を入力してSMSを作成します。

項目	説明
予約メッセージ[※3]	送信予約の日時を設定します。
迷惑メッセージ番号に追加[※4]	相手の携帯電話番号を迷惑SMSに登録します。
迷惑メッセージ解除（番号）[※5]	相手の携帯電話番号を迷惑SMSの登録から解除します。
破棄[※3]	作成中のSMSを破棄します。

※１　スレッド一覧画面で表示されます。
※２　項目表示中に → 「初期設定に戻す」 → 「ＯＫ」をタップすると、メッセージの設定を初期化できます。
※３　SMS一覧画面で表示されます。
※４　迷惑SMSに登録されていない相手とのSMS一覧画面で表示されます。
※５　迷惑SMSに登録されている相手とのSMS一覧画面で表示されます。

本文画面のメニュー

送受信や送信予約したSMSをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
再送信[※1]	送信に失敗したSMSを再送信します。
削除[※1※2]	SMSを削除します。

項目	説明
すぐに送信※3	送信予約したSMSをすぐに送信します。
メッセージをキャンセル※3	送信予約したSMSを削除します。
コピー	SMSの本文をコピーします。
転送	SMSを転送します。
保護／保護解除	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
メッセージを編集※1※3	送信に失敗した／送信予約したSMSを編集します。
共有	SMSを共有します。
SIMにコピー※2	SMSをドコモminiUIMカードにコピーします。
メッセージの詳細を表示	タイプ、発信者／宛先、送受信日時、送信予約日時、送達通知（配信確認）、ステータスを表示します。

※1　送信に失敗したSMSで表示されます。
※2　送受信したSMSで表示されます。
※3　送信予約したSMSで表示されます。

お知らせ

- 送信予約したSMSをすぐに送信する場合は、送信予約したSMSの ◷ →「OK」をタップしても、すぐに送信することができます。
- SMSはドコモminiUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールを使用するまでの流れ

■ パケット通信で接続する

ステップ1：プロバイダに加入する
ステップ2：アクセスポイントを設定する（P.396）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.220）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.228）

■ Wi-Fiで接続する

ステップ1：利用形態を決める

- 公衆無線LANサービス／社内LANに接続する場合は、サービス提供者／ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、接続に必要な情報を入手してください。
- 家庭内など個人環境で接続する場合は、アクセスポイントを設置し、設置したアクセスポイントの取扱説明書などから接続に必要な情報を入手してください。

ステップ2：Wi-Fiの設定を行う（P.383）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.220）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.228）

お知らせ

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。
- 「Eメールを同期」（P.224）にチェックを付けている場合は、本端末でEメールを送受信するとEメールのサーバーと同期が行われます。「受信トレイ」など同期するように設定されている項目は、同期時のサーバーと同じ状態になります。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で ▦ →「Eメール」

2件目以降のEメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で ▦ →「Eメール」→ ▭ →「設定」→「アカウント追加」をタップします。

2 **メールアドレス、パスワードを入力 →「次へ」**

- Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。
- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。
- 2件目のEメールアカウントの設定からは、「常にこのアカウントからEメールを送信」のチェックボックスが表示されます。チェックを付けると、設定するアカウントをメインアカウントとして設定できます。
  Eメール一覧画面で [メニュー] →「設定」→「アカウント設定」→ メインアカウントとして設定したいアカウントをタップ →「メインアカウント」にチェックを付けるとメインアカウントを変更することができます。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力 →「手動設定」→ 画面の指示に従って設定します。

3 **アカウントオプションを設定 →「次へ」**

4 **アカウント名、ユーザー名を入力 →「完了」**

Eメールを設定する

1 ホーム画面で → 「Eメール」

- Eメール一覧画面が表示されます。

2 → 「設定」

3 設定したい項目をタップ

項目		説明
アカウント設定		→ P.220
表示	コンテンツ自動サイズ調整	画面に合わせてEメールの表示サイズを調整するかどうかを設定します。
	本文のプレビュー行数	Eメールのプレビューの行数を設定します。
	リスト内のタイトル行	Eメールのタイトルに「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。
作成と送信	クイック返信	よく使う定型文を編集します。 定型文はEメール作成画面で本文を入力するときに挿入できます。 → P.228
	標準画像サイズ	添付する画像サイズを設定します。

項目		説明
作成と送信	Eメールの送信待機	指定した待機時間後に送信するかどうかを設定します。
削除後の表示		Eメール削除後に表示する画面を設定します。
削除時に確認		Eメールを削除するときに確認画面を表示するかどうかを設定します。
優先送信元	優先送信元	優先送信元のメールアドレスを設定します。
	標準フォルダとして設定	Eメールを開くときに優先送信元受信トレイを表示するように設定します。
	Eメール通知	優先送信元からEメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	優先送信元からEメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	優先送信元からEメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。

項目	説明
迷惑メールアドレス	迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。
振り分けルール	送信元アドレスやタイトルに含まれる単語を指定してフィルタリングをかけます。
分割表示モード	横画面表示をしたときに、Eメールを分割して表示するかどうかを設定します。

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で → 「Eメール」**

- Eメール一覧画面が表示されます。

2 **→「設定」→「アカウント設定」→ 設定したいアカウントをタップ**

3 **設定したい項目をタップ**

項目		説明
同期設定	Eメールを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。

項目		説明
同期設定	同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを日時単位で設定します。
	Eメール受信サイズ	受信するEメールのサイズを設定します。 • 「全て」／「添付ファイルを含む全て」を選択しても、Eメールのサイズが大きすぎる場合はメール本文が一部省略されることがあります。
署名		Eメールの本文に署名を入れるかどうかを設定します。また署名を編集します。
メインアカウント		メインアカウントとして使用するかどうかを設定します。 チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントに が表示されます。
パスワード		パスワードを設定します。
Eメール通知		Eメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="3">通知音</td><td>Eメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">バイブ</td><td>Eメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">その他の設定</td><td rowspan="4">共通設定</td><td>アカウント名</td><td>アカウント名を変更します。</td></tr>
<tr><td>ユーザー名</td><td>ユーザー名を変更します。</td></tr>
<tr><td>必ず自分にCc/Bccを送信</td><td>自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。</td></tr>
<tr><td>画像を表示</td><td>画像を表示するかどうかを設定します。
• 「Eメール受信サイズ」で設定したサイズを超えるEメールを受信した場合は、チェックを付けても画像は表示されません。本文画面で「添付」→「プレビュー」をタップすると、画像が確認できます。「添付」→「保存」をタップすると画像がダウンロードできます。</td></tr>
</table>

項目			説明
その他の設定	共通設定	セキュリティオプション	暗号化、署名などのセキュリティオプションを設定します。
	データの使用	読み込みEメール数	表示するEメールの数を設定します。
		添付の自動ダウンロード※	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
		自動再送の回数	Eメールを自動で再送する回数を設定します。
	サーバー設定	受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
		送信設定	送信サーバーの設定を変更します。

※ POP3 アカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- Eメール一覧画面でアカウント名をタップ →「統合受信トレイ」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で → 「設定」→「アカウント設定」→ → 削除したいEメールアカウントにチェックを付ける →「削除」→「OK」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で →「Eメール」

2 をタップ

- Eメール作成画面が表示されます。

3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力

- Cc/Bccを追加する場合は、「Cc/Bcc」欄をタップします。
- →「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先から宛先を選択して入力できます。
- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、画面上部の送信元をタップして、Eメールアカウントを切り替えられます。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

Sノートを添付／挿入する場合

 →「Sノート」→ 添付または挿入したいSノートをタップします。
※ Sノートを添付する場合、ファイル形式を選択します。

ファイル／データを添付する場合

 → 添付したいファイル／データの種類をタップ → 画面に従って添付操作を行います。

登録済みのファイル／データを挿入する場合

 → → 挿入したいファイル／データの種類をタップ → 画面に従って添付操作を行います。

クイック返信用の定型文を挿入する場合

 → 挿入したい定型文をタップします。

手書きのメモを添付する場合

✎ → 手書きで描画する →「完了」をタップします。

送信するEメールの優先度を設定する場合

▭ →「優先度」→ 優先度を選択します。

送信するEメールの既読／配信確認を設定する場合

▭ →「追跡オプション」→「既読確認」にチェックを付ける →「OK」をタップします。
※ お使いのメールサーバーによっては、「既読確認」が動作しないことがあります。

送信するEメールの暗号化や署名を設定する場合

▭ →「セキュリティオプション」→「暗号化」／「署名」にチェックを付ける →「OK」をタップします。

6 ✉ をタップ

宛先に自分を追加する場合

▭ →「宛先に自分を追加」
- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、追加するアカウントをタップします。

日時を指定してEメールを送信する場合

▭ →「送信予約Eメール」→ 送信したい日時を設定 →「完了」→ ✉ をタップします。

作成中のEメールを下書き保存する場合

🖫 をタップするか、✕ ／ ⮌ →「保存」をタップします。

作成中のEメールを削除する場合

✕ ／ ⮌ →「破棄」をタップします。

お知らせ

- 送信予約したEメールの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、Eメールは送信されません。
- 送信予約したEメールは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「Eメール」

- Eメール一覧画面が表示されます。
- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示したいアカウントのフォルダをタップし、Eメール一覧画面を表示します。

2 ↻ をタップ

3 確認したいEメールをタップ

- 本文画面が表示されます。

お知らせ

- 「Eメール通知」（P.223）にチェックを付けている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに などが表示されます。
- Eメール一覧画面で をタップすると、Eメールを検索します。
- Eメール一覧画面で をタップすると、フォルダを切り替えられます。
- 送信元のメールアドレスをタップすると、メールアドレスを電話帳に登録したりEメールを送信したりできます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、連絡先を表示したりEメールを送信したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に が表示されます。本文画面で「添付」をタップするとファイル名などが表示されます。
  - 「プレビュー」をタップすると、添付データを確認できます。
  - 「保存」をタップすると、添付データを本端末に保存できます。

Eメール一覧画面／本文画面のメニュー

Eメール一覧画面／本文画面で [メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
並べ替え※1	Eメールを「日付（新しい順）」「日付（古い順）」「送信元（A～Z）」「送信元（Z～A）」「未読／既読」「お気に入り」「添付」「宛先／Cc／Bcc」「優先度」「件名（A～Z）」「件名（Z～A）」の順に並べ替えます。
表示形式※1	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
未読にする※2	Eメールを既読から未読にします。
迷惑メール設定※2※3	送信元のメールアドレスやドメインを迷惑メールとして登録します。
移動※2	Eメールを他のフォルダに移動します。
Eメールを保存※2	Eメールを本端末に保存します。
優先送信元として設定／優先送信元から削除※2	送信元のメールアドレスを優先送信元として設定／解除します。
振り分けルールを作成※2	送信元のメールアドレスや、タイトルに含まれる単語を振り分けルールに登録します。

項目	説明
印刷※2	対応のプリンターを利用して、Eメールを印刷します。→ P.490
作成※2	Eメールを作成します。
文字サイズ※1 ※2	文字サイズを設定します。
全て削除※1	すべてのEメールを削除します。
設定※1 ※2	Eメールアカウントの設定を変更します。→ P.220
ヘルプ※1 ※2	Eメールのヘルプを表示します。

※1　Eメール一覧画面で表示されます。
※2　本文画面で表示されます。
※3　POP3アカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- Eメール一覧画面でEメールをロングタッチすると、削除（）、移動（）、迷惑メール設定※（）、お気に入りに追加（）／解除（）、未読に変更（）／既読に変更（）の操作ができます。

※POP3 アカウントの場合は表示されません。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.438）。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で ⊞ →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で読みたいメールをタップ

- 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で ⊞ →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で ✉

- メール作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- Cc/Bccを追加する場合は、▭ →「Cc/Bccを追加」をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力

5 「メールを作成」欄に本文を入力

6 をタップ

作成中のメールを下書き保存する場合

→「下書きを保存」をタップします。

下書き保存したメールを編集する場合

「受信トレイ」画面で「受信トレイ」→「下書き」→編集する下書きをタップ→ をタップします。

アカウントを切り替える

1 ホーム画面で →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で「受信トレイ」

3 切り替えるアカウントをタップ

- 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます（P.238）。

受信したエリアメールを表示する

1 **ホーム画面で ⊞ →「災害用キット」**

- 初めて起動したときは機能概要や注意事項、使用許諾規約などが表示されるので、内容をよく読み、「同意して利用する」をタップします。

2 **「緊急速報「エリアメール」」→ 確認したいエリアメールをタップ**

エリアメールを削除する場合

「緊急速報「エリアメール」」→ 削除したいエリアメールにチェックを付ける →「削除」→「ＯＫ」をタップします。

- １つ以上のエリアメールにチェックを付けた後に「すべて選択」をタップすると、すべてのエリアメールにチェックが付きます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で ▦ →「災害用キット」

2 「緊急速報「エリアメール」」→ ▭ →「設定」

3 項目を設定

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">受信設定</td><td>エリアメールを受信するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信音</td><td>ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（サイレント、バイブ）設定時もブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信画面および着信音確認</td><td>緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。</td></tr>
<tr><td>その他の設定</td><td>受信登録</td><td>緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの登録や削除を行います。</td></tr>
</table>

ハングアウト

ハングアウトは写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを使って会話を楽しめる無料のコミュニケーションツールです。ハングアウトを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。

ハングアウト利用の準備

ハングアウトを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

ハングアウトにログインする

1 ホーム画面で ⊞ →「ハングアウト」

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- ハングアウトの詳細については、ハングアウトの画面で ▭ →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

チャットする

1 ホーム画面で ⊞ →「ハングアウト」

2 ＋

- チャットが可能な連絡先一覧が表示されます。

3 チャットする相手をタップ

- チャット画面が表示されます。
- 「メッセージ」をタップすると、文字や写真を使ってチャットができます。
- 「ビデオハングアウト」をタップすると、動画でチャットができます。

4 「メッセージ」／「ビデオハングアウト」→ ➤

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 **ホーム画面で「ブラウザ」**

- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/））が表示されます。

ブラウザ画面

① **アドレスバー**
ウェブページのURLや検索したいキーワードを入力します。

② **戻る／進む**

③ **再読み込み**

④ **ウィンドウ**
ウィンドウを切り替えたり、閉じたり、新しいウィンドウを開いたりします。

⑤ **ブックマーク／履歴**
ブックマーク／履歴の一覧を表示します。

ウェブブラウザを終了する

1 **→「現在のページとアプリ終了」**

- 複数のウィンドウが開かれている場合は、現在表示されているウィンドウが閉じられます。
- ブラウザ画面で を押したり をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップ
  - スクロール：画面をスクロール／フリック
  - 前の画面に戻る： をタップ
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ
  - テキストのコピー：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択 →「コピー」
  - テキストの検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択 →「検索」／「Web検索」
  - テキストの共有：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択 →「共有」→ 共有する方法をタップ

新しいウィンドウを開く

1 **ブラウザ画面で □**

- ウィンドウマネージャーが表示されます。

2 **□**

- シークレットモード（P.243）で閲覧中のウィンドウには、ウィンドウタイトルに □ が表示されています。

ウィンドウを閉じる場合

閉じたいウィンドウの □ をタップします。

お知らせ

- ブラウザ画面で □ →「新規ウィンドウ」をタップしても、新規ウィンドウを表示できます。

シークレットモードでウィンドウを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。

1 **ブラウザ画面で □ →「シークレットモード」→「OK」**

お知らせ

- シークレットモードで閲覧中にダウンロードしたファイルや、ブックマークしたウェブページは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末／ microSDカードに保存します。
URL をコピー	URL をコピーします。
テキストを選択※1	テキストを選択します。
画像を保存※2	画像を本端末／ microSD カードに保存します。
画像をコピー※2	画像をクリップボードにコピーします。
画像を表示※2	画像を表示します。

※1　リンクされているテキストでのみ表示されます。
※2　リンクされている画像でのみ表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で [≡] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新規ウィンドウ	新しいウィンドウを開きます。
ブックマークを追加／ブックマークを編集	ウェブページをブックマークに追加（P.247）／編集します。
ショートカットを追加	ウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ページ内検索	ウェブページ内に表示されている内容を検索します。
シークレットモード	シークレットモードで履歴を残さずにウェブページを表示します。→ P.243
PC版を表示	PC版のウェブページを開くかどうかを設定します。
明るさ	画面の明るさを調整します。
印刷	対応のプリンターを利用して、ブラウザ画面を印刷します。→ P.490
現在のページとアプリ終了	現在表示しているウィンドウを閉じます。

項目	説明
設定	→ P.249
ヘルプ	ヘルプを表示します。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 ★ →「履歴」タブ

- 履歴の一覧が表示されます。
- 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- ブックマークに追加済みの履歴には ★（橙色）が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- 履歴の一覧で ▭ →「履歴を消去」→「OK」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → [メニュー] →「ブックマークを追加」

3 ブックマークのタイトルを確認／変更 →「マイデバイス」をタップ → 登録したいフォルダをタップ →「保存」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 [★]
- ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ブックマークの一覧で [メニュー] をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「リスト表示」／「サムネイル表示」：一覧の表示方法を変更します。
  - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。
  - 「削除」：ブックマークを削除します。
  - 「並べ替え」：ブックマークの一覧の表示順を変更します。
  - 「フォルダに移動」：ブックマークの登録先を変更します。

履歴／ブックマークのメニュー

履歴／ブックマークをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新規ウィンドウで開く※1※2	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
削除※1※2	履歴とブックマークを削除します。
コピー※1	ウェブページのURLをコピーします。
編集※2	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
共有※1※2	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ブックマークを追加※1	ブックマークに追加します（すでにブックマーク一覧に登録されている場合は、ロングタッチしても表示されません）。
ショートカットを追加※2	ブックマークのショートカットをホーム画面に追加します。
ホームページに設定※1※2	ウェブページをホームページとして設定します。

※1　履歴の一覧で表示されます。
※2　ブックマークの一覧で表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 →「設定」

3 設定したい項目をタップ

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">アカウント</td><td>Samsungアカウントを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホームページを設定</td><td>ホームページを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動入力フォーム</td><td>ウェブフォームの入力欄に自動入力するテキストを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プライバシー</td><td>検索ワード／URLの候補表示</td><td>アドレスバーに入力する際、関連のあるキーワードなどを表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>閲覧前にリンクをプリロード</td><td>ページの読み込み時にリンクのプリロードを実行するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

項目		説明
プライバシー	文字入力履歴を保存	ウェブページに入力した文字情報を保存するかどうかを設定します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを保存するかどうかを設定します。
	個人データを削除	閲覧履歴やキャッシュ、Cookieとサイトデータ、パスワード、位置情報アクセスなどの個人データを削除します。
画面とテキスト	テキストの表示倍率	文字の表示倍率を設定します。
	拡大／縮小設定を制御	ウェブページの設定を無効にして、拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	文字コード	文字エンコードを設定します。
	全画面表示	ステータスバーの表示を消して、ウェブページを全画面表示するかどうかを設定します。
	テキスト拡大	PC版のウェブページを閲覧する際、テキストのサイズを拡大して表示するかどうかを設定します。

項目		説明
コンテンツ設定	Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
	位置情報を有効にする	本端末の位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効化	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
	Webサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報を表示します。
	通知を有効にする	通知機能を有効にするかどうかを設定します。
	通知を消去	通知を消去します。
	設定をリセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

項目		説明
帯域幅の管理	Webページのプリロード	ブラウザがページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	画像の読み込み	画像表示の有無を設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開いたウェブページを全体表示します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し､「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「dマーケット」

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.438）。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認

3 無料アプリの場合は「インストール」→「同意する」、有料アプリの場合は金額欄をタップ →「同意する」→ 画面の指示に従って操作

- ダウンロードとインストールが完了すると、ステータスバーに ☑ が表示されます。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- ホーム画面で［メニュー］→「アプリ配置先設定」をタップすると、アプリのインストールの時の配置先を「ホーム画面」／「アプリ一覧」から選択できます。
- Google Playの詳細については、Google Playの画面で［メニュー］→「ヘルプ」をタップしてご覧ください。
- アプリのアンインストールについては、「アプリのアンインストール」（P.134）をご参照ください。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsungのおすすめする豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsに接続する

1 ホーム画面で ▦ →「Samsung Apps」
- 免責条項が表示された場合は、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、Samsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。電子マネーやポイントなどをICカード内、またはドコモminiUIMカード内に保存することができます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

- おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモminiUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモminiUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- おサイフケータイをご利用いただく場合は電池パックSC10を取り付けてください。電池パック SC10にはFeliCaアンテナが搭載されています。

※1　おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
※2　ドコモminiUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
- 「初期設定」（P.102）でおサイフケータイの初期設定を行わなかった場合は初期設定画面が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップ

3 サービスに関する設定を行う

4 マークを読み取り機にかざす

・ 読み取り機と通信できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなることがございますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「NFC ／おサイフケータイ 設定」

2 「Reader/Writer, P2P」の [チェック] をタップ

3 NFC モジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに [マーク] マークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- [マーク] マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- [マーク] マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしてかざしてください（P.259）。
- [マーク] マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC ／おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC ／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 **ホーム画面で「おサイフケータイ」**

2 **「ロック設定」→ 新しいパスワードを入力 →「新しいパスワードの確認」欄をタップ → 再度パスワードを入力 →「OK」**

- パスワードをすでに設定している場合は、「ロック設定」→ パスワードを入力 →「OK」をタップします。

ロックを解除する場合

「ロック設定」→ パスワードを入力 →「OK」をタップします。

パスワードを変更する場合

ロック解除中に「ロック設定」→「PW変更」→ パスワードを入力 →「新しいパスワード」欄をタップ → 新しいパスワードを入力 →「新しいパスワードの確認」欄をタップ → 再度新しいパスワードを入力 →「OK」をタップします。

お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに [IC] または [IC] が表示されます。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック設定」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、パスワードの入力が必要になります。
- NFC／おサイフケータイのパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモminiUIMカードを取り付けた状態で行ってください。

トルカ

トルカは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示や検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「トルカ」

- 初めて起動したときはソフトウェア利用許諾契約が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- iモード端末向けに提供されているトルカは、取得、表示、更新ができない場合があります。
- IP(情報サービス提供者)の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得
  - 更新
  - トルカの共有
  - microSDカードへの移動/コピー
  - 地図表示※

    ※ トルカ(詳細)からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- NFC/おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

- 「重複チェック」にチェックを付けている場合は、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得できません。同じトルカを重複して取得したいときは、トルカ一覧画面で [メニュー] →「設定」→「重複チェック」のチェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動／コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動／コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

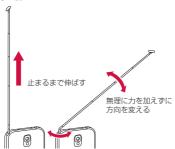
放送波について

ワンセグは、放送サービスの１つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグ／モバキャスアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグ／モバキャスアンテナについて

ワンセグ／モバキャスアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

お知らせ

- ワンセグ／モバキャスアンテナをご使用の際は、ワンセグ／モバキャスアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグ／モバキャスアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグ／モバキャスアンテナをしまうときは、ワンセグ／モバキャスアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグ／モバキャスアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で「ワンセグ」
- 操作画面の「CHリスト」タブ（P.272）が表示されます。
- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、「OK」をタップし、チャンネルエリアの設定を行います（P.280）。

2 テレビ映像プレビューをタップする
- 視聴画面（P.270）が表示されます。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していても、音量（P.405）の設定によっては音声が再生されることがありますので、▯（音量キー）で音量を調節してください。

Bluetoothヘッドセットに転送する

1 視聴画面で [メニュー] →「BTヘッドセットに転送」

- Bluetooth機能がOFFの状態では、ONに設定するようメッセージが表示されます。「OK」をタップして、Bluetooth機能をONにします。

2 接続するデバイスをタップ

- デバイスが検出されない場合は「スキャン」→接続するデバイスをタップします。

3 必要な場合は、ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力 →「OK」

お知らせ

- SCMS-T対応のBluetoothヘッドセットでのみ、動作します。

視聴画面について

視聴画面

① **テレビ映像**
- 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
- ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。

② **字幕**
- [メニュー] →「設定」→「字幕」→「ON」をタップすると、字幕が表示されます。

③ **データ放送**

④ **電波状態／チャンネル／番組名**

⑤ **ポップアップTV画面**
- タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。

⑥ **テレビ操作パネル**

- ＜／＞でチャンネルを切り替えます。
- チャンネルの数字をタップすると、操作画面の「CHリスト」タブを表示します。
- 07 で音量を調節します。

⑦ **データ放送操作パネル**

- ▲／▼で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

■ 視聴画面でのキー操作

- （電源／画面ロックキー）で、画面をロック／解除します。画面ロック中は が表示されます。
- （音量キー）で、音量を調節します。

■ ポップアップTV画面での操作

- ポップアップTV画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。
- ポップアップTV画面上で2本の指の間隔を広げる／狭めると、画面サイズを変更できます。
- ポップアップTV画面をダブルタップすると、視聴画面に戻ります。
- ポップアップTV画面をタップ → ✕ をタップすると、ワンセグを終了します。

操作画面について

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

2 画面上部のタブをタップ

CHリストタブ

操作画面（CHリストタブ）

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **テレビ映像プレビュー**
- タップすると、視聴画面を表示します。

③ **チャンネル／番組名**

④ **チャンネルリスト**
- チャンネルをタップすると、チャンネルを切り替えます。
- チャンネルをロングタッチ →「削除」→「OK」をタップすると、チャンネルリストから削除できます。

⑤ **番組表**
- タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。

⑥ **全画面表示**
- タップすると、視聴画面を表示します。

■ CHリストタブでのキー操作
- ▯（音量キー）で、音量を調節します。

予約タブ

操作画面（予約タブ）

① **タブ**

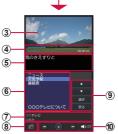
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **予約一覧**

：録画予約（成功した予約を含む）
：視聴予約（成功した予約を含む）
：失敗した録画予約
：失敗した視聴予約

- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 未実行の予約をロングタッチ →「削除」→「ＯＫ」をタップすると、予約を削除できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

TVファイルタブ

操作画面（TVファイルタブ）

TVファイル再生画面

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **TVファイルリスト**
- TVファイルをタップすると、再生します。
- キャプチャした画像をタップすると、画像を表示します。
- TVファイルをロングタッチ→「削除」→「OK」をタップすると、TVファイルを削除できます。

③ **映像**
- 左右にフリックすると、TVファイルを切り替えます。

④ **再生時間、スライダー**
- 映像画面をタップすると表示されます。
- をドラッグしてTVファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

⑤ **字幕**

⑥ **データ放送**

⑦ **チャンネル／番組名**

⑧ **ポップアップTV 画面**
- タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。

⑨ **データ放送操作パネル**
- ▲／▼で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

⑩ **再生操作パネル**
- ⏮／⏭でTVファイルを切り替えます。
- ▶／⏸でTVファイルの再生／一時停止を操作します。
- 🔊07で音量を調節します。

■ TVファイル再生画面でのキー操作

- （電源／画面ロックキー）で、画面をロック／解除します。画面ロック中は が表示されます。
- （音量キー）で、音量を調節します。

■ **ポップアップTV画面での操作**

ポップアップTV画面の操作については、P.271をご覧ください。

TVリンクタブ

操作画面（TVリンクタブ）

① **タブ**

- タップすると、各タブに切り替わります。

② **TVリンク**

- 登録したサイトに接続します（P.282）。

ワンセグを録画する

1 視聴画面で ▭ →「録画」
- 録画中はテレビ映像の左上に ● REC が表示されます。
- 録画を停止するには、▭ →「停止」をタップします。

お知らせ
- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面で ▭ →「TV ファイル」

2 再生する番組をタップ

視聴中の画像をキャプチャする

1 視聴画面で ▭ →「キャプチャ」
- キャプチャした画像は操作画面の「TV ファイル」タブで確認することができます。

ワンセグの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「番組表」→ 予約する番組をタップ
- 画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。
- 番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

3 「予約」→「録画予約」／「視聴予約」

手動で予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

3 ▤ →「マニュアル予約」

4 新規番組予約画面で各項目を入力

5 ☑ をタップ

予約を削除する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

3 削除する予約をロングタッチ

4 「削除」→「OK」

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 ▭ →「エリア情報設定」→ 登録する地域を選択

3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
- チャンネルが検索され、選択した地域にチャンネルリストが登録されます。

4 「OK」

エリア情報を切り替える

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 ▤ →「エリア切替」→ 切り替える地域を選択
- 切り替え先の地域にチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います（P.280）。

エリア情報を削除する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 ▤ →「エリア情報設定」→ 削除する地域をロングタッチ

3 「設定リセット」

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択

- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ

- リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「TVリンク」タブ

3 TVリンクを選択→「OK」

- 登録したサイトに接続します。

TVリンクを削除する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「TVリンク」タブ

3 削除するTVリンクをロングタッチ

4 「削除」→「OK」

ワンセグを設定する

1 視聴画面で [menu] →「設定」

2 項目を設定

項目	説明
字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
フレーム補間	フレーム補間を行うかどうかを設定します。
SoundAlive	オーディオ効果を４種類から選択します。
音声言語	複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
保存先設定	録画やキャプチャしたデータの保存先を設定します。
アンテナで起動	ワンセグ／モバキャスアンテナを伸ばしたときにワンセグの起動確認画面を表示するかどうかを設定します。
TVオフタイマー	自動的にワンセグを終了するまでの時間を設定します。

項目		説明
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。
	画像保存先設定	画像の保存先を設定します。
	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。
	位置情報確認	位置情報確認を行うかどうかを設定します。
	製造番号通知	製造番号の通知を行うかどうかを設定します。
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。
モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。
NOTTV：http://www.nottv.jp/

モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局（NOTTV）との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムや録画のご利用にはmicroSDカードまたはシステムメモリ（本体）の容量が必要です。CLASS4以降のmicroSDカードのご利用をおすすめします（設定でストレージ選択が可能です）。

放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態をよくするには

- ワンセグ／モバキャスアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
- ワンセグ／モバキャスアンテナの使用方法については、「ワンセグ／モバキャスアンテナについて」（P.267）をご参照ください。

モバキャスを視聴する

1 ホーム画面で「NOTTV」

- NOTTVのホーム画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、初期設定を行う必要があります。アプリの利用規約を最下部まで確認して「同意する」をタップすると、自動的に初期設定が行われます。初期設定は通信環境の良いところで実施してください。
- 初期設定が終了すると、ガイダンス画面が表示されます。画面を左右にフリックして内容を確認し、「閉じる」→「閉じる」／「閉じる（今後表示しない）」をタップしてください。ガイダンス画面で「NOTTVのトリセツ」／「NOTTVご利用ガイド」をタップすると、NOTTVのトリセツ（動画）やご利用ガイドを確認できます。
- ドコモminiUIMカードの差し替えによる初期設定の確認画面が表示された場合は、「初期設定する」をタップし、初めて起動したときと同じ操作を行ってください。

2 番組／コンテンツのサムネイルをタップ

- リアルタイム視聴時は、画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 本端末を横にする、または をタップすると表示が切り替わります。 は画面をタップしたときに表示されます（コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります）。
- 「データ」をタップすると、データ放送が表示されます。
- 「ソーシャル」をタップすると、番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
- 「インフォ」をタップすると、番組詳細が表示されます。
- （音量キー）を押すと、音量を調節できます。

- 音声や字幕の設定は、[メニュー] →「設定」→ 音声・字幕からできます。

番組／コンテンツを探す

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で「番組表」
- リアルタイム番組表が表示されます。シフトタイムの番組表を見るには、「シフトタイム」をタップします。
- 現在放送中の番組をタップすると、チャンネルが切り替わります。
- 「全画面」をタップすると、番組表が全画面表示されます。「簡易画面」をタップすると、元の表示に戻ります。

条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で [メニュー] →「検索・ジャンル別」

2 キーワードを入力／ジャンル別で探したいものをタップ

番組／コンテンツの受信予約

シフトタイムの受信予約

1 NOTTVのホーム画面で「番組表」

2 「シフトタイム」
- 今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

3 予約したい番組／コンテンツをタップ
- 番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 「予約する」→「1回のみ予約する」／「シリーズ予約する」

お知らせ

- 番組／コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・システムメモリ（本体）の容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードまたはシステムメモリ（本体）に一時保存された番組／コンテンツはご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的にmicroSDカードまたはシステムメモリ（本体）から削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります（自動予約）。
- 自動予約は設定で解除できます。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動補完）。
- 自動補完は設定で解除できます。

リアルタイムの視聴・録画予約

1 NOTTVのホーム画面で「番組表」

2 予約したい番組をロングタッチ

3 「録画予約する」／「視聴予約する」→「1回のみ予約する」／「シリーズ予約する」

- 放送中の番組を手動で録画することも可能です。
- 「詳細を見る」をタップして番組の詳細画面を表示し､「視聴予約する」／「録画予約する」をタップしても操作できます。

お知らせ

- 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・システムメモリ（本体）の容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できない場合があります。
- microSDカードまたはシステムメモリ（本体）に録画された番組はご利用中の端末でのみ視聴できます。
- 番組によっては録画ができない場合があります。

モバキャスの設定

1 ホーム画面で「NOTTV」→ →「設定」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
音声・字幕	音声切替	音声言語と主音声・副音声について設定します。
	字幕表示切替	字幕を表示するかどうかを設定します。
	バックグラウンド再生	モバキャスを閉じた後もバックグラウンドで再生を継続させるかどうかを設定します。
シフトタイム	自動予約	おすすめのシフトタイムを自動で予約します。
	自動補完	放送で受信できなかったデータを通信で自動的に補完します。
番組表	番組表情報自動取得	番組表／コンテンツリストの情報を取得する時間帯を設定します。
ステータスバー	放送中番組の表示	放送中の番組情報をステータスバーに表示させるかどうかを設定します。

項目		説明
ステータスバー	新着情報の通知	シフトタイム／録画の新着をステータスバーに表示させるかどうかを設定します。
	お知らせ情報の通知	NOTTVからのお知らせをステータスバーに表示させるかどうかを設定します。
ペアレンタルコントロール	視聴年齢制限	年齢に応じた番組／コンテンツの利用制限を設定します。 • 初めて起動したときは、パスワードの設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
	年齢設定	現在設定されている年齢が表示されます。
	パスワード変更	視聴年齢制限のパスワードを変更します。
ソーシャル	Twitter連携解除	Twitterとの連携を解除するかどうかを設定します。
詳細設定		重複録画防止、Cookieやデータ放送表示などの設定を行います。 • 「重複録画防止」ではシリーズ・キーワード予約を行う際に、同じ番組の録画を防止できます。 • 「ストレージ選択」では、シフトタイムや録画の保存場所を変更できます。

カメラ

著作権・肖像権について
本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードや電池パックを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードを取り外す場合はあらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.453）を行って、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも静止画撮影のシャッター音やフォーカス音、動画撮影の開始音や終了音は鳴りますのでご注意ください。

撮影画面の見かた

1 **ホーム画面で ⊞ →「カメラ」**

- 初めて起動したときは、microSDカードが取り付けられていると保存場所の確認画面が表示されます。内容を確認し､「キャンセル」／「OK」をタップしてください。

静止画／動画撮影画面

① **外側カメラと内側カメラの切替**

② **デュアルカメラ**

- タップすると、外側カメラと内側カメラの両方を使用して静止画／動画を撮影できます。
- 「動画のサイズ」が「1920×1080（16：9)」の場合は最大5分、それ以外の場合は最大10分間の動画を撮影できます。

③ **クイック設定**

- タップすると、以下のアイコンメニューが表示されます。

：設定メニューを表示 → P.299

：フラッシュのOFF ／ ON ／自動を切り替え

：スマートスタビリティのON ／ OFFを設定 → P.300

：音声コントロールのON ／ OFFを設定（「音声コントロール」（P.426）がOFFの場合は、音声コントロールの設定を表示）

：動画の録画モードを設定 → P.313

：共有機能を設定 → P.309

④ **保存先（microSDカード）、撮影可能枚数**
- 保存先をmicroSDカードに設定しているときに表示されます。
- 撮影可能枚数は、撮影可能枚数が300枚以下の場合に表示されます。
- 撮影可能枚数は目安です。撮影をしても表示が変わらない場合があります。
- 設定の状況によっては、保存先アイコンの左側に設定をお知らせする各種アイコンが表示されます。

⑤ **現在のモード**
- 設定中のモードが表示されます。

⑥ **バッテリー残量**
- バッテリー残量が30%未満のときには が、充電中のときには が表示されます。

⑦ **フォーカス**

⑧ **サムネイル**
- タップすると、ギャラリーが起動します。

⑨ **効果設定メニュー**
- タップすると、効果のメニューが表示されます。効果はダウンロードすることもできます。

⑩ **シャッター（動画撮影）**

⑪ **シャッター（静止画撮影）**

⑫ **撮影モードメニュー** → P.303

お知らせ

- カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- 撮影モードメニューの「美肌モード」「ベストフォト」「ベストフェイス」は顔検出機能に対応しています。
- 静止画／動画撮影画面で [メニュー] →「クイック設定を編集」をタップすると、クイック設定に表示させるメニューを編集できます。

撮影前の設定をする

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

2 静止画／動画撮影画面で ▭ →「設定」→ 必要な項目を設定

- 項目によっては同時に設定できない場合があります。
- 静止画／動画撮影画面で ⚙ → ⚙ をタップしても、撮影前の設定を行えます。
- 静止画の設定は 📷 タブ、動画の設定は 🎥 タブ、静止画／動画共通の設定は ⚙ タブをタップします。

◻ 📷 タブ

項目	説明
写真サイズ	静止画の撮影サイズを設定します。
連写	静止画を連続して撮影します。 • 連写を「ON」にして設定してシャッターをロングタッチすると、最大で20枚の写真を撮影します。撮影した画像はすべて保存されます。
タップして撮影	画面をタップすることで、静止画を撮影します。

項目	説明
顔検出	被写体の顔を検出して静止画を撮影します。 • 被写体の顔の角度、大きさ、表情、光の当たりかた、アクセサリなどによっては、顔検出が正しく動作しない場合があります。
測光	静止画撮影の測光方法を設定します。
ISO	静止画撮影のISO感度を設定します。
スマートスタビリティ	暗い場所でもフラッシュを使用せずに、明るく鮮明な写真が撮影できるように自動的にカメラを調整するかどうかを設定します。
保存設定	撮影モードを「リッチトーン(HDR)」に設定して撮影するときの画像の保存方法を設定します。

■ 動画 タブ

項目	説明
動画のサイズ	動画の撮影サイズを設定します。
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
音声ズーム	動画撮影時に、ズームした箇所に合わせて録音する音声を調整するかどうかを設定します。

■ 設定 タブ

項目	説明
位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 • GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。→P.339 • 撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、「OFF」に設定してください。
プレビュー表示	撮影後にプレビュー表示を行うかどうかを設定します。

項目	説明
音量キー	（音量キー）を押したときの操作を「ズームキー」／「カメラキー」／「録画キー」から選択します。
タイマー	セルフタイマーを設定します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
露出補正	露出補正を設定します。
補助グリッド	撮影画面に補助グリッドを表示するかどうかを設定します。
フラッシュ	フラッシュをOFF ／ ON ／オートに切り替えます。
音声コントロール	音声コントロールを使用するかどうかを設定します。
ファイル名の自動生成	ファイル名を自動生成するかどうかを設定します。
左右反転して保存	撮影した静止画／動画を左右反転して保存します。 • 内側カメラに切り替えると設定できます。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
リセット	カメラの設定をリセットします。

3 設定が終了したら、ディスプレイの空き部分や をタップ

撮影モードを切り替える

1 ホーム画面で →「カメラ」

2 静止画／動画撮影画面で → 撮影モードを選択

- ／ をタップすると、撮影モードメニューの表示方法を変更できます。
- 撮影モードメニューの表示中に をタップすると、撮影モードが「オート」に設定されます。

項目	説明
オート	色合いや明るさを最適化するように露出を自動調整します。
美肌モード	人物を撮影する場合、肌がより美しく見えるように補正します。
ベストフォト	1回のシャッターで8枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中から保存する画像を選択できます。 • 撮影した画像の保存先は「本体」に切り替わります。 • 撮影後、8枚のサムネイルから保存する画像をロングタッチして を表示 →「保存」／ をタップします。

項目	説明
ベストフェイス	1回のシャッターで5枚の静止画を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。 • 撮影後、検出した被写体をタップ → サムネイルからベストフェイスの画像をロングタッチして を表示 → すべての被写体でこの操作を繰り返す → 「保存」／ をタップします。
サウンド&ショット	録音した音声データを含めた静止画を撮影します。 • 音声データは撮影後の最大9秒間を録音できます。9秒間何も操作をしないか、 をタップすると、録音が停止します。 • 保存された静止画には、ギャラリーで が表示されます。

項目	説明
ドラマ	動いている被写体を多重露出で撮影して、1枚の静止画に合成して保存できます。 • 撮影が終了すると、編集画面が表示されます。「保存」／ 🖫 をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面に表示されるサムネイルを復元／削除することができます。 • カメラを1箇所に固定し、一方向に動いている一つの被写体を対象にして、背景が動いていない所で撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、撮影しにくい場合があります。 • 小さい／大きい被写体、および長い被写体（バス、汽車など）は撮影しにくい場合があります。

項目	説明
アニメーション写真	連続する静止画を撮影し、最大5秒間の動く静止画を作成します。 • 撮影が終了すると、編集画面が表示されます。「保存」／ 保存アイコン をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面で「トリミング」→ ハンドル ／ ハンドル をドラッグ →「完了」／ ✓ をタップすると、トリミング操作ができます。 • 編集画面で「再生順」→ 再生方法を選択すると、静止画の動きを変更できます。 • 編集画面で「フリーズ」／ フリーズアイコン → エリアをドラッグすると、選択したエリアを動かないように編集できます。動かないエリアを修正するには、編集画面で「アニメ」／ アニメアイコン → フリーズで選択したエリアをドラッグします。
ゴルフ	ゴルフのスイングの様子を撮影できます。 • 被写体を中央に収めてからシャッターボタンを押すと、30秒間ゴルフスイングを検出し撮影します。 • 縦画面モードではゴルフモードを使用できません。

項目	説明
リッチトーン（HDR）	HDR（高ダイナミックレンジ）モードで撮影します。
消しゴム	1回のシャッターで5枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中から不要な被写体を削除し、ベストな静止画を保存できます。 • 撮影が終了すると、編集画面が表示されます。「保存」／ をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面で「動く被写体を表示」／ をタップすると、削除された被写体がピンク色で表示され、タップするごとに復元／削除できます。「移動被写体を非表示」／ をタップすると編集画面に戻ります。 • 撮影時は本端末が動かないように固定して撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、被写体の動きが一部分のみ検出されたり、被写体を削除するときにエラーが発生する場合があります。 • 被写体の動きが小さすぎる／大きすぎる場合は、正しく削除できない場合があります。 • 動いている被写体が多い場合は、一部の被写体だけ検出される場合があります。

項目	説明
パノラマ	水平または垂直方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。 • カメラを一方向にゆっくりと動かし、白枠のガイドから青枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。 • 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。
サラウンドショット	端末を上下左右に動かし360°を撮影し、球形のパノラマ写真を撮影します。 • 画面に表示される を参考に360°方向にゆっくり動かします。 (球) が (ガイド)の中央にくるように動かし、 (球) と (ガイド) が青くなるとシャッター音が鳴り、球形の1断面が撮影されます。 • 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。 • 撮影後ギャラリーで をタップすると、撮影したパノラマ写真が再生されます。
スポーツ	動きの速い被写体を撮影するときに使用します。

共有機能を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

2 静止画／動画撮影画面で ⚙ → OFF

3 利用したい項目をタップ

項目	説明
OFF	通常の撮影を行います。
共有ショット	Wi-Fi Direct機能を利用して、他の機器に撮影した静止画を送信します。 • 共有ショット画面が表示された場合は、「NFCで簡単に接続」／「Wi-Fi Direct設定」をタップして共有相手を設定してください。
メンバーに画像共有	電話帳に登録した人物情報（フェイスタグ）と一致する人物が撮影した静止画に含まれているとき、静止画をEメールに添付してその人物宛てに送信します。 • 本機能を利用するには、あらかじめEメールアカウントの設定が必要です。→ P.220
ChatONで画像共有	ChatONのメンバーに撮影した静止画を送信します。

項目	説明
リモートビューファインダー	Wi-Fi Direct機能で接続した他のリモートビューファインダー対応機器で本端末の画面を共有し、他の機器の画面から ／ をタップすることで、本端末のシャッターを遠隔操作することができます。 • 接続した他の機器の画面から ／ をタップすると、静止画／動画の撮影が実行されます。 • リモートビューファインダー画面が表示された場合は、「NFCで簡単に接続」／「Wi-Fi Direct設定」をタップして共有相手を設定してください。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で ⊞ →「カメラ」**

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 **被写体にカメラを向ける**

- ▯（音量キー）を押すか、ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。

3 **◙ をタップ**

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に ◙ をロングタッチすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。ただし、「連写」（P.299）を「ON」に設定している場合、本機能は使用できません。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を撮影する

1 **ホーム画面で ▦ →「カメラ」**

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 **被写体にカメラを向ける → ■**

- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ▯（音量キー）を押すか、ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。
- ◉ をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには ⏸ をタップします。一時停止中に ● をタップすると、撮影を再開できます。

3 **撮影を停止するときは、■**

- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

録画モードを切り替える

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」
2 静止画／動画撮影画面で ⚙ → 🎥
3 利用したい項目をタップ

項目	説明
標準	標準の撮影を行います。
スローモーション	スローモーション再生用として、120fpsで録画します。 • スローモーションに設定するとクイック設定のアイコンが に変更され、右側に が表示されます。 をタップすると、録画速度を選択できます。
ファストモーション	ファストモーション再生用として録画します。 • ファストモーションに設定するとクイック設定のアイコンが に変更され、右側に が表示されます。 をタップすると、録画速度を選択できます。
スムーズモーション	より鮮明にスムーズに再生するために、60fpsで録画します。 • スムーズモーションに設定するとクイック設定のアイコンが に変更されます。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式※
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、AGIF
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXには対応していません。
DivX形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で ⊞ →「ギャラリー」

- アルバムの一覧画面が表示されます。
- ⊕ をタップすると、アルバムを作成できます。
- ◎ をタップするとカメラが起動します。

2 アルバムをタップ

- データの一覧画面が表示されます。

3 データをタップ

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
(DLNAアイコン)	DLNA機器と接続して静止画を表示します。→ P.491
(共有アイコン)	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
(編集アイコン)	静止画データの編集（回転、トリミング、色、効果など）を行います。
(はさみアイコン)	動画データの編集（トリミング）を行います。
(ダウンロードアイコン)※	オンラインストレージのデータを本端末にダウンロードします。
(削除アイコン)	データを削除します。

※ Dropboxなどオンラインストレージのデータを同期する設定が有効な場合のみ表示されます。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ

- 静止画が拡大表示されます。
- 静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップ

2 ▶ → アプリを選択 →「毎回」／「今回のみ」

- 再生が開始されます。
- 「メディアプレイヤー」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「メディアプレイヤーを利用する」（P.322）をご参照ください。
- 「動画」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「動画を再生する」（P.324）をご参照ください。

ギャラリーのメニュー

アルバムの一覧画面／データの一覧画面で [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

■ アルバムの一覧画面

項目	説明
アルバムを選択	アルバムをタップして複数選択し、まとめて操作します。 • 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのアルバムを選択できます。 • [共有] をタップすると、アルバムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。 • [削除] をタップすると、アルバムを削除します。 • [メニュー] をタップすると、スライドショーの開始や設定ができます。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
表示するコンテンツ	ギャラリーに表示するコンテンツの保存先を選択します。
近くのデバイスをスキャン	DLNA機器をスキャンします。→P.492 • Wi-Fiネットワークに接続している場合に表示されます。

項目		説明
設定	Wi-Fi接続時のみ同期	Wi-Fiネットワークの接続時のみコンテンツを同期させるようにするかどうかを設定します。
	タグバディ	気象情報、場所、日付などタグ付けされた情報を画像に重ねて表示するかどうかを設定します。
	フェイスタグ	電話帳に登録した人物情報（フェイスタグ）を表示するかどうかを設定します。 • フェイスタグは静止画のみに対応しています。
	音を自動再生	サウンド＆ショットモードで撮影した静止画を表示するときに音を再生するかどうかを設定します。
ヘルプ		ギャラリーのヘルプを表示します。

お知らせ

- 本端末にオンラインアカウントやクラウドのアカウントを設定している場合は、「設定」をタップするとアカウント名などが表示され、同期の設定などを行うことができます。
- タグバディの情報は、「位置情報タグ」を「ON」に設定してカメラで撮影した画像にのみ表示されます。

■ データの一覧画面

項目	説明
アイテムを選択	データをタップして複数選択し、まとめて操作します。 ・「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのデータを選択できます。 ・ をタップすると、データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。 ・ をタップすると、データを削除します。 ・ をタップすると、スライドショーの開始や設定、コピー、移動、コラージュやストーリーアルバムの作成などの操作、データの詳細の確認などができます。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
コラージュを作成	静止画を選択してコラージュを作成します。
ストーリーアルバムを作成	静止画を選択してストーリーアルバムを作成します。
ビデオクリップを作成	静止画や動画を選択してビデオアルバムを作成します。
アイテムを非表示	静止画や動画を選択してアイテムを非表示にします。

項目	説明
非表示アイテムを表示	非表示にしたアイテムを再表示します。 • 表示したいアイテムをタップ→ [メニュー] →「アイテムを表示」をタップして表示します。
設定	→ P.318

■ データの表示画面

項目	説明
お気に入り	お気に入りに追加できます。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
フォトフレーム※	フォトフレームを設定・編集します。
写真メモ※	静止画の裏面にメモを追加できます。
署名※	静止画に署名を追加できます。
クリップボードにコピー※	静止画をクリップボードにコピーします。
印刷※	対応のプリンターを利用して、静止画を印刷します。→P.490
名前を変更	ファイル名を変更できます。
メンバーに画像共有※	静止画から被写体を検出して、電話帳に登録されている相手の場合はEメールを送信できます。

項目	説明
左に回転※	静止画を反時計回りに90度回転します。
右に回転※	静止画を時計回りに90度回転します。
トリミング※	静止画のトリミングを行います。
気象情報タグを編集※	静止画につけられている気象情報を変更できます。 • 位置情報タグがついている静止画の場合のみ表示されます。
経路を取得※	地図アプリがインストールされている場合は、静止画の撮影場所が検索、表示されます。 • 位置情報タグがついている静止画の場合のみ表示されます。
登録※	静止画を電話帳／連絡先／壁紙に登録できます。
詳細	データの詳細を表示します。
設定	→ P.318

※ 静止画の表示時のみ表示されます。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽や動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式※
音楽	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXとAC3には対応していません。
DivX形式とAC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で ▦ →「メディアプレイヤー」
- 初めて起動したときはメディアプレイヤーの紹介画面が表示されます。「使い方の説明を読む」をタップして、使いかたを確認してください。説明を確認しない場合は、「説明を読まず利用する」をタップします。

2 画面下部のカテゴリを選択
- タップしたカテゴリに応じた結果が表示されます。
- 「dマーケット」→「dミュージックで探す」／「d

ビデオで探す」／「dアニメストアで探す」をタップすると、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。

3 **再生したい音楽または動画をタップ**

- 音楽や動画の再生が開始されます。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
※1／ ※2	データの一覧画面を表示します。
※1／ ※1	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します（自動的に切り替えない／自動的に切り替える）。
／	再生／一時停止します。
／	タップすると巻き戻し／早送りします。
／	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。
※2／ ※2／ ※2	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／その曲をリピート）。
※2／ ※2	シャッフル機能を設定します（シャッフルしない／シャッフルする）。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。

※1　動画再生画面でのみ表示されます。
※2　音楽再生画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 本端末と外部機器をHDMI接続する場合は、メディアプレイヤーのオーディオエフェクト設定内容が適用されません。
- 音楽の一覧画面で をタップすると、音楽を着信音（着うた）やプレイリストに追加することができます。また音楽を削除することもできます。

動画を再生する

本端末やmicroSDカードに保存してある動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式※
MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXには対応していません。
DivX形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で ⊞ →「ビデオ」

- 「パーソナル」タブの動画一覧画面が表示されます。「パーソナル」タブには、本端末／microSDカードに保存されている動画が表示されます。
- 「ダウンロード」タブをタップすると、Samsung Hubのビデオストアからダウンロードした動画一覧画面が表示されます。
- Wi-Fiネットワークに接続中で、DLNA対応機器を検出した場合は、「近くのデバイス」タブが表示されます。タップすると検出されたデバイス一覧画面が表示され、デバイスをタップすると動画一覧画面が表示されます。

2 動画をタップ

- 動画再生画面が表示され、再生が開始されます。
- タブが表示されている場合は、「近くのデバイス」タブ → 接続するデバイスを選択 → 動画をタップすると動画再生画面が表示され、再生が開始されます。
- 画面をタップするとアイコンが表示されます。

項目	説明
[DLNAアイコン]	DLNA機器と接続して動画を再生します。→P.491
[<]／[>]	次のフレーム／前のフレームに移動します。 ※ 再生画面で [メニュー] →「設定」をタップし、「キャプチャ」を「ON」に設定した場合に表示されます。

項目	説明
	動画から静止画をキャプチャします。 キャプチャした画像は、ホーム画面で →「ギャラリー」→「Screenshots」をタップすると確認できます。 ※ 再生画面で →「設定」をタップし、「キャプチャ」を「ON」に設定した場合に表示されます。
／	音量を調節します。
	縦横表示を切り替えます。 ※「画面の自動回転」(P.87)がOFFに設定されている場合に表示されます。
1.0x	動画の再生スピードを調節します。 ※ 再生画面で →「設定」をタップし、「再生スピード」をONに設定した場合に表示されます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／／／	動画の表示サイズを切り替えます。

項目	説明
	再生画面を小さくします。他のアプリを操作しながら動画を再生できます。 • 小さい再生画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。 • 小さい再生画面上で2本の指の間隔を広げる／狭めると、画面サイズを変更できます。 • 小さい再生画面をダブルタップすると、再生画面に戻ります。 • 小さい再生画面をタップ → × をタップすると、再生を終了します。 ※ 本機能は、「ビデオ」で動画を再生する場合のみ動作します。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
	再生画面で を押すとロック画面に切り替わり、画面をタップしても動作しないようにできます。

お知らせ

- 動画再生中は をタップすると「前画面に戻るには、戻るキーをもう一度押してください。」と表示されます。メッセージが表示された状態で をタップすると動画一覧画面に戻ります。

ビデオのメニュー

動画一覧画面／再生画面で [メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

◻ 動画一覧画面

項目	説明
サインイン	Samsung アカウントを設定します。
近くのデバイスをスキャン	DLNA 機器をスキャンします。→P.491 • Wi-Fi ネットワークに接続している場合に表示されます。
並べ替え	一覧表示の順番を変更します。
表示形式	一覧表示の表示方法を変更します。
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth 機能やメールなどで送信します。
削除	動画を削除します。
編集	ビデオエディターを利用して動画を編集します。 • ビデオエディターのダウンロード確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
次の動画を自動再生	すべての動画を自動的に再生するかどうかを設定します。

項目	説明
情報	Samsung Hubの情報を表示します。
設定	保存先の設定、Samsung Hubの情報を確認できます。
ヘルプ	Samsung Hubのヘルプを表示します。

◻ 再生画面

項目	説明
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
チャプタープレビュー	チャプターをサムネイル表示します。
編集	動画のトリミングやビデオエディターでの編集を行います。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスへ音声を出力します。
動画の自動停止	再生を自動で終了する時間を設定します。
設定	再生スピードやSoundAliveなどの設定を行います。
詳細	データの詳細を表示します。

音楽を再生する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式※
MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA

※ AC3には対応していません。
AC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 **ホーム画面で ⊞ →「ミュージック」**

- 初めて起動したときは「曲」タブのデータ一覧画面が表示されます。

2 **画面上部のタブをタップ → 再生したいデータをタップ**

- 「曲」タブ以外の各タブでアルバムやアーティストなどを選択するとデータ一覧画面が表示され、データをタップすると再生が開始されます。
- Wi-Fiネットワークに接続中で、DLNA対応機器を検出した場合は、「近くのデバイス」タブが表示されます。タップすると検出されたデバイス一覧画面が表示され、デバイスをタップするとデータ一覧画面が表示されます。
- 音楽の再生中にデータ一覧画面の左下に表示されるジャケット写真／♫ をタップすると、再生画面が表示され、以下の操作ができます。

種類	説明
	DLNA機器と接続して音楽を再生します。→P.491
／	音量を調節します。 • をタップすると、SoundAliveを設定できます。
／	シャッフル機能を設定します（シャッフルする／シャッフルしない）。
	プレイリストの「お気に入り」に追加します。
／／	リピートモードを設定します（全曲リピート／その曲をリピート／リピートなし）。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データ一覧を表示します。
	データ一覧画面に戻ります。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.515）、スイッチを押すと「ミュージック」が起動して音楽が再生されます。「ミュージック」が起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。また、音量キーで音量を調節できます。
- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。操作する場合は、▭／▯を押してロック画面を表示し、「ミュージック」ウィジェットを利用してください。バックグラウンドで音楽を再生している場合は、通知パネルを開くと、音楽の再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面で ⊞ →「ミュージック」→「プレイリスト」タブ

2 ▭ →「プレイリストを作成」

3 プレイリスト名を入力 →「OK」

4 「曲を追加」

- 楽曲の一覧が表示されます。

5 追加したい楽曲にチェックを付ける →「完了」

- 作成したプレイリストに楽曲が追加されます。

プレイリストを編集する

1 ホーム画面で ⊞ →「ミュージック」→「プレイリスト」タブ

2 編集したいプレイリストをタップ

- プレイリストの内容が表示されます。

3 編集操作を行う

- ＋ をタップ → 追加したい曲を選択 →「完了」をタップすると、プレイリストに楽曲を追加できます。
- ▭ →「タイトルを編集」をタップすると、プレイリスト名を変更できます。
- 楽曲をロングタッチ →「削除」をタップすると、プレイリストから楽曲を削除できます。

ミュージックのメニュー

データ一覧画面／再生画面で [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

■ データ一覧画面

項目	説明
プレイリストに追加	楽曲をプレイリストに追加します。
プレイリストを作成	プレイリストを新規作成します。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスと接続して再生します。
削除	楽曲を削除します。
タイトルを編集	プレイリスト名を編集します。
サムネイル表示／リスト表示	楽曲の表示形式を切り替えます。
検索	楽曲を検索します。
近くのデバイスをスキャン	DLNA機器をスキャンします。→ P.491 • Wi-Fiネットワークに接続している場合に表示されます。

項目	説明
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。 • 「スマートボリューム」をONにした場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。
終了	音楽を終了します。

※ 利用できる機能は、選択したタブの画面によって異なります。

◘ 再生画面

項目	説明
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスと接続して再生します。
Group Playで再生	楽曲をGroup Playで共有します。
プレイリストに追加	楽曲をプレイリストに追加します。
着信音に設定	楽曲を「着信音」「個別着信音」「アラーム音」に設定します。
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。 • 「スマートボリューム」をONにした場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。
詳細	楽曲の詳細情報を表示します。
終了	音楽を終了します。

お知らせ

- 表示される項目は、再生するファイル形式によって異なります。

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi／モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1. ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「位置情報サービス」
2. 「現在地情報へのアクセス」をタップ →「同意する」→「同意する」
3. 検出する方法にチェックを付ける
   - 「位置情報履歴」の [O] をタップすると、検出した位置情報の履歴を保存できます。
   - 「マイプレイス」をタップすると、位置情報が必要なサービスを利用するためにお気に入りの場所（Home、Office、Car）を保存できます。

項目	説明
GPS機能を使用	より正確な位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。
無線ネットワークを使用	Wi-Fiまたはモバイルネットワークで位置情報を特定するかどうかを設定します。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用ＧＰＳとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所･環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国･地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ **受信しにくい場所**

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE／3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Googleマップを開く

1 ホーム画面で ⊞ →「マップ」

- 初めて起動したときは「Googleマップへようこそ」画面が表示されるので、内容を確認し、「同意して続行」をタップします。
- 「現在地の精度を改善」画面が表示された場合は、「有効にする」をタップし、位置情報サービスを設定してください。

2 「検索」欄に地名などを入力

- Y をタップすると、現在地から目的地までの経路を検索できます。
- 👤 をタップすると、ログイン情報が確認できます。

Googleマップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Googleマップの「経路」機能を利用します。

1 ホーム画面で ⊞ →「マップ」

2 Y → 移動方法（ 🚗 ／ 🚆 ／ 🚶 ）のアイコンをタップ

3 「目的地を入力...」欄に地名などを入力

- 出発地を変更する場合は、「現在地」欄をタップして地名などを入力するか、「履歴から」欄か選択して指定します。

4 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランや観光スポットなどを検索できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「マップ」

2 「検索」欄をタップ

3 「周辺のスポット」／「サービス」→ 確認したいカテゴリやアイコンをタップ

- 検索したいカテゴリがない場合は、「検索」欄に検索したいカテゴリや店名などを入力 → 🔍 をタップします。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「時計」

2 画面上部のタブをタップ

- 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」画面で「アラームを作成」

2 時刻、繰り返し設定、アラームの種類、アラーム音、音量、ロケーションアラーム、スヌーズ、事前お知らせ、名前を設定 →「保存」

3 アラームを止めるには、⊗ を表示される円の外側までドラッグ

- スヌーズを設定した場合は、zz を表示される円の外側までドラッグすると設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で ▭ →「削除」→ 削除するアラームにチェックを付ける →「削除」をタップします。アラームをロングタッチ →「削除」をタップしても削除できます。
- 登録したアラームをOFFにするには、（緑色）／（黄色）をタップして（灰色）にします。
- 本端末をマナーモード（サイレント、バイブ）に設定している場合のアラーム音やバイブレーションを設定するには、「アラーム」画面で ▭ →「設定」→ 項目を設定します。
- 「アラーム」画面で ▭ →「音声コントロール」にチェックを付けると、音声コントロールを利用できます（「音声コントロール」（P.426）がOFF の場合は、音声コントロールの設定が表示されます）。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 「世界時計」画面で「都市を追加」

2 登録する都市／国をタップ

都市名／国名で検索する場合

検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力します。

都市／国を時差で並べ替えて検索する場合

[≡] →「タイムゾーン順」をタップします。都市名順に戻すには [≡] →「都市名順」をタップします。

現在地から都市／国を登録する場合

[◈] → 都市／国をタップします。

お知らせ

- 登録した都市／国を削除するには、「世界時計」画面で [≡] →「削除」→ 削除する都市／国にチェックを付ける →「削除」をタップします。都市／国をロングタッチ →「削除」をタップしても削除できます。
- 登録した都市／国にサマータイム設定を変更するには、都市／国をロングタッチ →「サマータイム設定」→ 項目を選択します。「自動」に設定した都市／国でサマータイムを実施している場合、または「1 時間」に設定した場合は、都市名／国名の前に [☼] が表示されます（サマータイムを実施している都市／国でも [☼] が表示されない場合があります）。

ストップウォッチを利用する

1 「ストップウォッチ」画面で「スタート」

- 測定が開始されます。

ラップタイムを計測する場合

「ラップ」をタップします。

2 測定を止めるには「ストップ」

- 測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 「タイマー」画面で時間、分、秒を設定 →「スタート」

- タイマーが開始されます。
- タイマーを一時停止するには「ストップ」、タイマーをリセットするには「リセット」をタップします。
- 一時停止中に「リスタート」をタップすると、タイマーを再開できます。

2 タイムアップ通知音を止めるには、⊗ を表示される円の外側までドラッグ

Sプランナー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「Sプランナー」

2 ＋ をタップ

- Googleカレンダーの同期に関する画面が表示された場合は、内容を確認し、「完了」をタップします。

イベント登録画面

3「イベント登録」または「タスク登録」

4 項目を設定 →「保存」

Sノート

タッチペン SC03または指を使って、ノートを作成したり、絵を描くことができます。撮影した写真または絵をノートに追加したり、録音したデータをノートに保存することもできます。

ノートを作成する

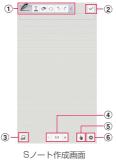
1 ホーム画面で「Sノート」
- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面で「スタート」をタップします。
- 「表紙のスタイルを選択」画面で一覧から使用したい表紙を選択し、「次へ」をタップします。選択した表紙は新規ノート作成時、自動的に設定されます。表紙を複数選択した場合は、選択した表紙がランダムで適用されます。
- 「テンプレートを選択」画面で使用したいテンプレートを選択し、「次へ」をタップします。
- 「アカウントを同期」画面でノートを同期するアカウントをタップします。後で設定する場合は、「後で設定」をタップし、「スタート」をタップします。

2 Sペン専用モード/Sペンと指モード→「OK」

3 Sノート作成後、☑をタップ

4 ファイル名を入力→「OK」

■ 編集画面

Sノート作成画面
（表示例）

① ツールバー

- ：ペンの種類、太さ、色を選択します。
- ：キーパッドを利用してノートを作成します。
- ：消しゴムのサイズを変更したり、ノートを全消去します。
- ：ノートを部分的に選択できます。 をタップした後に再度タップすると、選択する枠の種類を選べます。
  枠で囲む→「変換」→「テキスト」をタップすると、手書き文字をテキストに変換できます。
- ：元に戻します。
- ：やり直します。
- ：ツールバーを隠します。

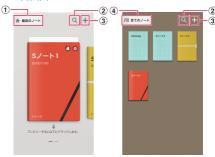
② 現在のノートを保存し、表示画面に戻ります。
- 表示画面で をタップすると、再度編集ができます。

③ 音声メモ、画像、動画、イージーグラフ、イラスト、クリップボードの内容、スクラップブック、マップ、アイデアスケッチを追加します。追加したアイテムを削除する場合は、アイテムをロングタッチ→「削除」をタップします。

④ ／ をタップして、ページを切り替えます。 をタップすると、新しいページを追加できます。

⑤ 指による操作を認識するかどうかを切り替えます。 のときは、指の操作は認識されず、付属のタッチペンによる操作のみ認識されます。

⑥ ページの編集ができます。
ページを追加：ページを追加します。
ページを削除：ページを削除します。
タグを追加／タグを編集：タグを追加／編集できます。
インデックス追加／インデックスを編集：インデックスを追加／編集できます。
テンプレート追加：ページのテンプレートを変更します。
背景：ページの背景を指定します。
グリッドを表示：ページのグリッドを表示します。

■ 一覧画面

「最近のノート」画面（表示例）

「全てのノート」画面（表示例）

① 「全てのノート」画面が表示されます。
② Sノートの名前、Sノート内のテキスト、Sノート内に手書きで入力した文字などを検索できます。（2013年10月現在、手書きで入力した文字の検索は動作しません。今後のソフトウェアアップデートによって日本語、英語に対応する予定です。）
③ Sノートを作成します。
④ 「最近のノート」画面が表示されます。

Sノートのメニュー

■一覧画面

[menu] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新テンプレートを使用	テンプレートを選択してノートを作成します。
削除	選択したノートを削除します。
並べ替え	一覧表示の順番を日付、名前順などに変更します。
表示設定	タグ、時刻、場所を選択してノートの表示形式を変更できます。 • タグを選択した場合は、[icon] をタップすると、タグを削除できます。 • 時刻を選択した場合は、[menu]→「並べ替え」をタップすると昇順／降順で表示順を変更できます。 • 場所を選択した場合は地図上の [icon] をタップすると、場所ごとのノートが表示されます。
リスト表示／サムネイル表示	データの表示形式を切り替えます。

項目		説明
共有		選択したノートをSノートファイルや画像ファイル、PDFファイル、テキストの形式で共有します。
インポート		Sノートファイル／PDFファイルをインポートし、ノートを作成します。
エクスポート		選択したノートを画像ファイル、またはPDFファイルにエクスポートします。
フォルダ作成		新しいフォルダを作成します。
並べ替え		ドラッグして順番を変更します。
コピー		ノートをフォルダなどにコピーします。
移動		ノートをフォルダに移動します。
設定	アカウントを同期	SamsungアカウントまたはEvernoteで同期を行います。
	標準の表紙を変更	ノートを作成するときに、自動的に適用される表紙のスタイルを変更します。
	標準テンプレートを変更	ノートを作成するときに、自動的に適用されるテンプレートのスタイルを変更します。
	ページを追加	ページ追加方法を選択します。

項目		説明
設定	挿入した画像のサイズ	挿入する画像のサイズを設定します。
	位置情報タグ	ノートに位置情報タグをつけるかどうかを設定します。
	ダウンロード	背景画像やアイデアスケッチをダウンロードできます。
	書き込み音	描画するときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	アプリ、タッチ操作	描画するときの、バイブレーションのON ／ OFFを設定します。
ヘルプ		Sノートのヘルプを表示します。

一覧画面でノートやフォルダをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
削除	ノートやフォルダを削除します。
共有	選択したノートをSノートファイルや画像ファイル、PDFファイル、テキストの形式で共有します。
エクスポート	選択したノートを画像ファイル、またはPDFファイルにエクスポートします。

項目	説明
コピー	ノートをフォルダなどにコピーします。
移動	ノートをフォルダに移動します。
名前を変更	ノートやフォルダの名前を変更します。
表紙を編集	ギャラリーなどから表紙を設定できます。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	お気に入りに追加／お気に入りから削除できます。
ロック／ロック解除	パスワードを設定してノートをロックします。
ショートカットを追加	選択したノートのショートカットをホーム画面に追加できます。

■ 編集画面

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
共有	選択したノートをSノートファイルや画像ファイル、PDFファイル、テキストの形式で共有します。
ページを編集	インデックスの追加、ページのコピーや削除、他のノートからのページのコピーなどの編集ができます。

項目	説明
スケッチを記録	● をタップすると ● が点滅します。点滅中に図形などを描画すると、描画の過程がスケッチとしてアニメーション化されます。記録を終了するには ● をタップします。表示画面で をタップするとスケッチを再生できます。
ショートカットを追加	選択したノートのショートカットをホーム画面に作成できます。
ツールを隠す／ツールを表示	ツールを非表示／表示します。3本の指でピンチイン／ピンチアウトしてツールの非表示／表示を切り替えることもできます。
保存	作成中のノートを保存します。
名前を付けて保存	名前を付けて保存します。

お知らせ

- 表示される項目は、画面によって異なります。

スクラップブック

スクラップブッカー、画像の切り抜き、共有機能を使用して、スクラップブックに画像、YouTubeの動画、本端末の音楽や動画などを収集して保存できます。

1 ホーム画面で [アプリ] →「スクラップブック」
- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面で「開始」をタップします。

2 「マイスクラップブック」→「+カテゴリを作成」

3 レイアウトを選択し、カテゴリ名を入力 →「OK」
- カテゴリが作成されます。

スクラップブックのメニュー

■ 一覧画面

カテゴリをタップして [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
アイテムを選択	アイテムをタップして複数選択し、まとめて操作します。 • 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのアイテムを選択できます。 • をタップすると、アイテムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。 • をタップすると、アイテムを削除します。 • をタップすると、エクスポートや移動、コピーができます。
レイアウトを変更	レイアウトを変更します。
名前を変更	カテゴリの名前を変更します。
カテゴリの管理	カテゴリの移動や管理ができます。
インポート	スクラップブックファイルをインポートします。
表示	表示するデータの種類を設定します。
アカウント	Samsungアカウントを設定します。
位置情報タグ	各スクラップ内に位置情報を埋め込むかどうかを設定します。
ヘルプ	スクラップブックのヘルプを表示します。

■ 詳細表示画面
カテゴリを選択してアイテムをタップすると、以下のアイコンが表示されます。

項目	説明
	アイテムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
	アイテムを削除します。
	切り抜き元のリンク先をウェブブラウザで表示します。
	切り抜き元の画像をギャラリーで表示します。
	保存している音楽をサウンドプレーヤー／メディアプレイヤーで再生します。
	保存しているビデオをメディアプレイヤー／動画で再生します。

[menu icon] をタップすると、以下の項目が表示されます。

項目	説明
メモ	手書きのメモを追加します。
移動	指定したカテゴリに移動します。
コピー	指定したカテゴリにコピーします。
編集	スクラップした画像に付属しているテキスト情報の編集やタグの追加をします。

お知らせ

- 他のアプリなどからスクラップブックに登録するには、「共有」などを選択→「スクラップブック」→カテゴリを選択します。
- タグがついているファイルのみを表示するには、スクラップブック画面でカテゴリを選択 →「タグ情報」をタップ → 表示したいタグをタップします。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 ホーム画面で ■ →「ボイスレコーダー」

- 録音画面が表示されます。
- ■をタップすると録音するモードを標準／インタビュー／会話／音声メモから選択できます。

2 ■ をタップ

- 録音が開始されます。
- 録音を一時停止するには ■、続けて録音するには ■ をタップします。
- 録音をキャンセルするには ■ →「OK」をタップします。
- 録音中に ■ をタップするとそれまでに録音した内容が保存されます。
- ■ をタップすると、録音にブックマークを追加できます。ブックマークの位置は再生時に ■ で表示されます。

3 ■ をタップ

- 録音が終了し、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

1 ホーム画面で ▦ →「ボイスレコーダー」

2 ⌄ をタップ

- 録音したデータの一覧画面が表示されます。
- ≡ をタップすると、表示するカテゴリを選択できます。

3 再生したいデータをタップ

- 再生が開始されます。
- 再生を一時停止するには ⏸、続けて再生するには ▶、終了するには ↩ をタップします。
- 音声のトリミングを行う場合は、音声の再生中に ✂ →「OK」→ トリミングする位置までスライダーをドラッグ → ✂ → トリミングしたデータの保存方法を選択 →「OK」をタップします。
- x1.0 をタップすると、再生スピードを変更できます。
- 音量を調節する場合は ▯（音量キー）を押します。
- A B をタップすると、設定したA-Bの間を繰り返し再生できます。
- ▧ をタップすると、無音部分をスキップして再生できます。
- ★ をタップすると録音にブックマークを追加できます。ブックマークの位置は再生時に ▮ で表示されます。

ボイスレコーダーのメニュー

録音画面／一覧画面／再生画面で ≡ をタップすると以下の項目が表示されます。

- 表示される項目は、画面によって異なります。

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="3">共有</td><td>データをWi-Fi Directで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">削除</td><td>データを削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">カテゴリを変更</td><td>設定してあるカテゴリを変更します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ブックマーク※</td><td>設定してあるブックマークを表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">並べ替え</td><td>データの並び順を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">検索</td><td>データをファイル名から検索します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">カテゴリを管理</td><td>データのカテゴリを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">設定</td><td rowspan="3">一般</td><td>保存先</td><td>保存先を選択します。</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>録音の品質を設定します。</td></tr>
<tr><td>録音音量レベル</td><td>録音時の音量を設定します。</td></tr>
</table>

項目			説明
設定	ファイル名	ファイル名の自動生成	ファイル名を自動生成するかどうかを設定します。
		標準ファイル名	標準ファイル名を設定します。
	詳細設定	ノイズキャンセラー	ノイズ除去を利用するかどうかを設定します。
		ロゴ表示	録音画面に画像を表示します。
		位置情報タグ	録音に位置情報を埋め込むかどうかを設定します。
	音声メモ	言語	音声メモの認識する言語を設定します。 • 音声メモを利用するには、録音するモードを「音声メモ」にする必要があります。 • 音声メモの最大録音時間は5分間です。
	再生	スキップの間隔	スキップキー（60s／60s）をタップしたときのスキップ間隔を設定します。
終了			ボイスレコーダーを終了します。

※ ブックマークが設定してある録音の場合のみ表示されます。

電卓

四則演算（+、−、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で ![] →「電卓」

- 本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。
- ![] をタップすると履歴が表示されます。

電卓のメニュー

電卓画面で ![] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
履歴を消去	履歴を消去します。
関数電卓※／簡易電卓※	関数電卓／簡易電卓に切り替えます。
片手操作をON／片手操作をOFF	片手で操作できるサイズに変更します。

※「画面の自動回転」（P.87）がOFFに設定されている場合に表示されます。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」

- 初めて起動したときは利用許諾契約書が表示されるので、内容を確認し、「同意する」をタップします。

2 「バックアップ」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「バックアップ開始」→「開始する」

3 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

4 「トップに戻る」

バックアップファイルを本端末に復元する

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータの復元を行います。

1 ホーム画面で [icon] →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」

2 「復元」→ 復元するデータ種別の「選択」→ 復元するデータにチェックを付ける →「選択」

3 復元方法を選択 →「復元開始」→「開始する」
- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。

4 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」
- 選択したデータが本端末に復元されます。

5 「トップに戻る」

Googleアカウントや本端末に登録されている電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントの電話帳や、Samsungが提供する「連絡先」アプリで本端末に登録した連絡先をdocomoアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で [icon] →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」

2 「電話帳アカウントコピー」→ コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」
- コピーしたデータがdocomoアカウントに保存されます。

3 「OK」

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1 ホーム画面で ▦ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」
2 「定期バックアップ設定」→「スケジュール追加」→「スケジュールをONにする」にチェックを付ける
3 「選択」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「選択」
4 繰り返し種別を選択 → 実行時間／曜日と実行時間／日付と実行時間を設定 →「決定」
5 「設定」→ ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」→「OK」

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で ⊞ →「YouTube」

- YouTubeのトップ画面が表示されます。
- チャンネル追加の紹介画面が表示された場合は、「OK」をタップするとメニューが表示され、画面を左にフリックするとYouTubeのトップ画面が表示されます。再度メニューを表示するには、画面を右にフリックします。

2 再生したい動画をタップ

- 動画が再生されます。
- 画面をタップすると、以下のアイコンが表示されます。
  - ⏸／▶：タップして一時停止／再生開始
  - ●：左右にドラッグして巻き戻し／早送り
  - HD／HQ：タップして高画質再生のON／OFFを設定（横表示のみ）

動画を投稿する

本端末から自分で撮影した動画を投稿できます。

- YouTubeに動画を投稿するには、Googleアカウントまたは YouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 **ホーム画面で ⊞ →「YouTube」**

2 **YouTubeのトップ画面で画面を右にフリック → アカウントをタップ →「アップロード動画」→ ⬆ → アプリを選択 → 動画を選択**

- 動画のアップロード画面が表示されます。
- アップロード方法の選択画面が表示された場合は、「Wi-Fi接続時のみ」／「すべてのネットワーク」→「OK」をタップします。

YouTubeにログインしていない場合

YouTubeのトップ画面で画面を右にフリック →「ログイン」→ アカウントを選択 →「OK」をタップします。アカウントを追加してYouTubeにログインする場合は、アカウントの選択画面で「アカウント追加」→「OK」→ 画面の指示に従って既存のアカウントにログイン／新しいアカウントを設定します。

3 **必要な項目を入力／設定 → ⬆**

- 動画がアップロードされます。

辞典

3か国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。
お買い上げ時は以下の辞書が搭載されています。

- 旺文社英和辞典
- 旺文社和英辞典
- ニューエース韓日辞典
- ニューエース日韓辞典

1 ホーム画面で ⊞ →「辞典」

2 キーワード入力欄に検索する語句を入力

辞書画面

① **現在使用中の辞書**

② **辞書の変更**

　　：辞書の種類を切り替えます。

　　／　：辞書の「日本語-英語」／「英語-日本語」を切り替えます。

　　／　：辞書の「日本語-韓国語」／「韓国語-日本語」を切り替えます。

③ **検索候補一覧**

④ **キーワード入力欄**

⑤ **音声検索**

⑥ **単語と本文**

- 本文をタップするか、画面を左にドラッグすると、検索候補一覧を非表示にすることができます。再び検索候補一覧を表示したい場合、画面を右にドラッグします。

⑦ **特殊機能ツールバー**

：本文の選択部分にマーキングを付けます。
：本文の文字サイズを変更します。
：表示中の単語にメモを追加します。
：表示中の単語をフラッシュカードに登録します。

⑧ **本文の表示内容を切り替え**

辞典のメニュー

辞書画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
検索※	辞書画面に戻ります。
フラッシュカード	登録した単語帳を表示します。
履歴	検索の履歴を表示します。
設定	フォントのカスタマイズができます。
ヘルプ	辞典アプリの使用方法や表記ルール、製品情報の確認ができます。

※ フラッシュカード画面と履歴画面で表示されます。

POLARIS Office

本端末でOffice文書などを表示／編集したり、新規に作成したりできます。
Dropboxのアカウントをお持ちの場合は、ファイルをオンライン上で管理できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

- パスワード付きのファイルは閲覧のみ可能です。
- ファイル形式／バージョンによっては、新規作成できない場合があります。

種類	バージョン		
	作成	編集	閲覧
Microsoft Word	MS Word 2010 (.docx)	MS Word 97-2013 (.doc、.docx)	MS Word 97-2013 (.doc、.docx、.dot、.dotx、rtf)
Microsoft Excel	MS Excel 2010 (.xlsx)	MS Excel 97-2013 (.xls、.xlsx)	MS Excel 97-2013 (.xls、.xlsx、.xlt、.xltx、.csv)
Microsoft Power Point	MS Power Point 2010 (.pptx)	MS Power Point 97-2013 (.ppt、.pptx)	MS Power Point 97-2013 (.ppt、.pptx、.pps、.ppsx、.pot、.potx)

種類	バージョン		
	作成	編集	閲覧
Adobe PDF	–	–	V1.2-V1.7（.pdf）
Hansoft Hangul	–	–	HWP 97-3.0、2002-2010（.hwp）
Text	（.txt）	（.txt）	（.txt、.asc）

ファイルを新規作成する

1 ホーム画面で ▦ →「POLARIS Office 5」
- POLARIS Office画面が表示されます。
- ユーザー登録画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ⊞ → 作成するファイルの種類を選択 → テンプレートを選択
- ファイルの種類を「テキスト」にしたときは、テンプレートの選択画面は表示されません。
- ファイルの種類を「スライド」、テンプレートを「空の文書」にしたときは、スライドレイアウトの選択画面でレイアウトを選択します。

3 ファイルを作成

4 W ／ X ／ P ／ ≡ →「保存」／「名前を付けて保存」→ ファイル名を入力 → 保存先を選択 → 💾

ファイルを表示／編集する

1 **ホーム画面で ⊞ →「POLARIS Office 5」**

- POLARIS Office画面に一覧表示される、最近使用したファイルをタップすると、ファイルを表示できます。

項目	説明
ファイルブラウザ	保存先からファイルを検索します。
フォームタイプ	ファイルの種類で検索します。
お気に入り	お気に入りに追加したファイルから検索します。
画面共有	本端末で表示したファイルの画面を、POLARIS Officeを搭載した他の機器と共有し、ポインターで指示したり、文字などを描いたりすることができます。 • あらかじめ画面を共有する機器を、同じWi-Fiネットワークに接続しておく必要があります。

2 **表示／編集するファイルをタップ**

- Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointの画面で、画面上部の帯を左右にフリックすると編集モードと閲覧モードが切り替えられます。Adobe PDFを編集する場合は を タップします。
- 編集したファイルを保存するには、 ／ ／ ／ ／ →「保存」／「名前を付けて保存」をタップします。

S Health

本端末の各種センサーを利用して、消費カロリーや摂取カロリーの記録、現在の温度・湿度の表示、体重管理を行い、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で ▦ →「S Health」

- ヘルスボード画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面が表示され、「開始」をタップすると利用規約が表示されます。内容を確認して「同意」にチェックを付ける →「次へ」→ 画面の指示に従って操作してください。
- メニューが表示されている場合は、画面を左にフリックするとヘルスボード画面に戻ります。ヘルスボード画面で ☰ をタップすると、メニューが表示されます。

2 確認する項目をタップ

- ヘルスボード画面で ☰ →「快適レベル」をタップすると、温度・湿度を確認できます。

項目	説明
消費カロリー	「ウォーキングメイト」／「エクササイズメイト」で記録された消費カロリーや目標消費カロリーを確認します。
摂取カロリー	「フードトラッカー」で記録された摂取カロリーや目標摂取カロリーを確認します。
📊	結果をチャートで確認します。 • ☰ をタップすると、ヘルスボード画面に戻ります。

お知らせ

- S Healthの詳細については、ヘルスボード画面で［メニュー］→「ヘルプ」をタップしてダウンロードしてご覧ください。
- 「快適レベル」で正確に温度・湿度を測定する場合は、温度（－20～60 ℃）と湿度（10～99%）が安定した室内環境で、本端末を置いて測定してください。本端末の周囲環境が急に変化したときや本端末の温度が高いとき、お客様と本端末の物理的接触があると、測定値が大きく異なる場合や、測定に時間がかかる場合があります。ただし、氷点下になると、湿度の測定はできません。
- 正確な温度・湿度を測定する場合は、別途、温度計や湿度計をご使用ください。
- 目標摂取カロリーは、お客様が入力したプロフィールを元に基礎代謝量（BMR）を計算して表示されます。個人の年齢、身体組成、必要栄養素によって目標摂取カロリーは異なりますので、数値は目安としてご利用ください。

Ｓボイス

電話の発信やＳＭＳの送信、メモの作成など、音声入力で本端末の各種機能を操作できます。

Ｓボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- 本端末に向かってはっきりと話してください。
- 静かな場所でご利用ください。
- 俗語や方言などは避けてください。

Ｓボイスを利用する

1 **ホーム画面で ⊞ →「Ｓボイス」**

- Ｓボイス画面が表示されます。
- ［ホームキー］を２回押しても、Ｓボイスを起動できます。
- Samsung免責条項や利用規約が表示された場合は、内容を確認し、「確認」→「同意する」をタップしてください。
- 「Ｓボイスについて」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作方法を確認してください。

お知らせ

- Ｓボイスの詳細については、Ｓボイス画面で ［メニュー］→「ヘルプ」、Ｓボイスの音声入力の方法については、Ｓボイス画面で ［メニュー］→「設定」→「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

ハンズフリーモードについて

ハンズフリーモードをＯＮにすると、車の運転中は本端末を手で持たずに音声で各種機能を操作できます。また、電話の着信やＳＭＳの受信などの通知があると、通知内容が読み上げられます。

1 Ｓボイス画面で [メニュー] →「ハンズフリーモードをON..」

- ハンズフリーモード用のＳボイス画面が表示されます。
- ボイスウェイクアップの画面が表示された場合は、内容を確認し、「OK」をタップしてください。

お知らせ

- ハンズフリーモードをＯＮにしたままＳボイスを終了すると、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも通知内容が読み上げられます（通知内容によっては読み上げられない場合があります）。ハンズフリーモードをOFFにするには、ハンズフリーモード用のＳボイス画面で [メニュー] →「ハンズフリーモードをOFF..」をタップしてください。

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で [メニューキー] →「本体設定」

2 タブを選択 → メニュー項目を選択して設定を行う

お知らせ

- 検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。

「接続」タブ

ネットワーク接続

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目		説明
Wi-Fi		→ P.382
Bluetooth		→ P.474
テザリング		→ P.390
機内モード		→ P.394
通信制限モード		→ P.394
データ使用量		→ P.395
位置情報サービス		→ P.337
その他ネットワーク	モバイルネットワーク	モバイルデータやデータローミング、アクセスポイント(APN)、ネットワークモード、ネットワークオペレーターを設定します。
	VPN	→ P.398
	NFC／おサイフケータイ 設定	→ P.400

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」をタップし、[メニュー] →「詳細設定」→「ネットワーク自動切り替え」のチェックを付けた状態でWi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「一般」タブ →「ドコモのサービス／クラウド」→「ドコモアプリWi-Fi利用設定」から設定ができます。
- Wi-Fi機能をONにしなくても位置情報の検出を行うことができます。ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」をタップし ▭ →「詳細設定」→「スキャンを常時許可」のチェックを付けます。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 **ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」**

2 **▭ をタップ**

- 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 **接続したいWi-Fiネットワークをタップ →「接続」**

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

WPSを利用して接続する場合

「WPS利用可能」と表示されているWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で ▭ →「WPSプッシュボタン」／「WPS PINエントリ」→ アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fiネットワークの一覧画面で [メニュー] →「詳細設定」→「並べ替え」をタップして「RSSI」を選択すると、利用可能なWi-Fiネットワークが受信信号強度（RSSI）が強い順に表示されます。

■ Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 [メニュー] →「詳細設定」

3 「ネットワーク通知」にチェックを付ける

■ Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ →「切断」

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」→ ▭ →「詳細設定」をタップすると確認できます。また、現在接続している無線LANアクセスポイントのIPアドレスも確認できます。

1 **ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」**

2 **○ →「Wi-Fiネットワークを追加」**

3 **ネットワークSSIDを入力 → セキュリティ（認証方法）を設定**

- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2/FT PSK」「802.1x EAP」です。

4 **パスワードを入力 →「接続」**

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■ Passpoint対応のアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ⊟ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 ⊟ →「詳細設定」

3 「Passpoint」の ◎ をタップ

- 「Passpoint」をタップすると、Passpoint対応のアクセスポイントをスキャンできます。

■ Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 ホーム画面で ⊟ →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 ⊟ →「詳細設定」

3 「スリープ中のWi-Fi接続」→ スリープ設定を選択

お知らせ

- スリープ設定を「電源接続時のみON」または「常にOFF（データ使用量が増加）」に設定した場合、本機能の設定によりWi-Fiが無効になると自動的にモバイルネットワークに切り替わるため、パケット通信料が高額になる場合があります。モバイルネットワークに切り替えない場合は、「常にON」に設定してください。

■ インターネットサービス確認を設定する
接続したWi-Fiネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 [メニュー] →「詳細設定」

3 「ネットワーク自動切り替え」にチェックを付ける

■ Wi-Fiタイマーを設定する
Wi-Fiネットワークへの自動接続／切断を設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 [メニュー] →「詳細設定」

3 「Wi-Fiタイマー」

4 「開始時刻」／「終了時刻」にチェックを付ける

- 自動接続を設定する場合は「開始時刻」に、自動切断を設定する場合は「終了時刻」にチェックを付けます。

5 開始時刻／終了時刻を設定 →「完了」

■静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 [設定] をタップ

3 接続するWi-Fiネットワークをタップ →「拡張オプションを表示」にチェックを付ける

4 「IP設定」欄をタップ →「静的」

5 必要な項目を設定

- 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
  - IPアドレス
  - ゲートウェイ
  - ネットワークプレフィックス長
  - DNS 1 ／ DNS 2

6 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 [アイコン] →「Wi-Fi Direct」

3 検索されたデバイス名をタップ

- 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに [アイコン] が表示されます。
- 「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。

複数のデバイスと接続する場合

「複数接続」→ 接続するデバイスにチェックを付ける →「完了」をタップします。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」→「Wi-Fi Direct」

2 「接続終了」→「OK」

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台の機器を同時接続できます。また、Wi-FiテザリングとUSBテザリングを同時にご利用の場合は、合計11台を同時接続できます。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 ◯ をタップ

3 注意事項の詳細を確認 →「OK」→「OK」

■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 [ボタン] をタップ

3 注意事項の詳細を確認 →「OK」→「OK」

4「設定」

5「ネットワークSSID」欄をタップ → ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「AndroidHotspotXXXX」が設定されています。

6「セキュリティ」

- 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

7「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力

- 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

8「保存」

お知らせ

- お買い上げの状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- 「設定」→「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiアクセスポイント画面の「他の端末からの接続方法」に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。

■USBテザリングを設定する
本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC03で接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  ＜パソコンから＞
  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 **本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブル SC03のUSB 3.0 Micro-Bプラグを差し込む**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC03で接続する」（P.482）をご参照ください。

2 **パソコンのUSBコネクタに、USB接続ケーブル SC03のUSB 3.0 Standard-Aプラグを差し込む**

3 **ホーム画面で → 「本体設定」→「接続」タブ →「テザリング」**

4 **「USBテザリング」→ 注意事項の詳細を確認 →「OK」**

お知らせ

- USBテザリング中はmicroSDカードをパソコンに接続できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Vista
  - Windows 7
  - Windows 8

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「機内モード」→「OK」

お知らせ

- [電源キー]（電源／画面ロックキー）を1秒以上押して表示される端末オプション画面で「機内モード」→「OK」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」をONにするとWi-FiやBluetooth機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

通信制限モード

すべてのアプリでネットワーク接続を無効にします。電話とSMSの受信のみ可能になります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「通信制限モード」→「OK」

お知らせ

- 通知パネルからも通信制限モードのON/OFFの設定ができます（P.111）。
- 「通信制限モード」をONにするとWi-Fi接続をすることができません。

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

1 ホーム画面で ［メニュー］ →「本体設定」→「接続」タブ →「データ使用量」

- データ使用量画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- 「モバイルデータ」にチェックを付けると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータを制限」にチェックを付けているときのみ設定できます。
- データ使用量画面で ［メニュー］ →「Wi-Fi使用状況」にチェックを付けると、Wi-Fi利用時のデータ使用量が表示されます。

バックグラウンドデータを制限する場合

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。
データ使用量画面で ［メニュー］ →「バックグラウンド制限」にチェックを付ける →「OK」をタップします。

データの自動同期をOFFにする場合

設定したアカウントが自動的に同期をしないように設定できます。
データ使用量画面で ［メニュー］ →「データを自動同期」のチェックを外す →「OK」をタップします。

モバイルホットスポットの利用を制限する場合

バックグラウンドアプリが、特定のWi-Fiネットワークを利用できないように設定できます。
データ使用量画面で [MENU] →「モバイルホットスポット」→ 利用を制限するWi-Fiネットワークにチェックを付けます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

■利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で [MENU] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で [MENU] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「+」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力**

- 「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 **[メニュー]→「保存」**

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で[メニュー]→「本体設定」→「接続」タブ→「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」**

2 **[メニュー]→「初期値にリセット」**

spモード

spモードはNTT ドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

■ VPNを追加する

1 **ホーム画面で [≡] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「VPN」**

- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

2 **[+] をタップ**

VPNを編集する場合

編集するVPNをロングタッチ →「ネットワークを編集」→ 各項目を編集 →「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNをロングタッチ →「ネットワークを削除」をタップします。

3 **ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定**

4 **「保存」**

■ VPNに接続する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「VPN」

2 接続したいVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 →「接続」

- ステータスバーに [鍵アイコン] が表示されます。

■ VPNを切断する

1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ

2 「切断」

NFC ／おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、Reader／Writer、P2P機能を利用してコンテンツやファイルなどの送受信の許可／拒否を設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「NFC ／おサイフケータイ 設定」

2 項目を設定

項目	説明
NFC ／おサイフケータイ ロック	NFC ／おサイフケータイ機能をロックします。
Reader/Writer, P2P	本端末をNFCモジュールが内蔵された機器またはReader ／Writer、P2P機能を搭載した端末に近づけたとき、データ交換を許可するかどうかを設定します。 → P.480
Android Beam	P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツの送受信を許可するかどうかを設定します。 ・「Reader/Writer, P2P」をONにすると設定できます。
S Beam	S Beam対応端末との間でP2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、静止画や動画、ドキュメントなどのファイルの送受信を許可するかどうかを設定します。

接続と共有

他の機器との接続／共有の設定をします。

項目	説明
近くのデバイス	→ P.492
Screen Mirroring	対応機器※と本端末の画面を共有します。 ・HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）機能をサポートしない対応機器とは接続できない場合があります。 ・ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。 ・特定の周波数帯の Wi-Fi ネットワークを使用する場合、対応機器を検索できない場合があります。

※ 2013年10月現在、日本国内で本機能を利用できる機器はありません。

「デバイス」タブ

サウンドと画面表示

項目		説明
サウンド	音量	→ P.405
	バイブの強度設定	バイブレーションの強度を設定します。
	着信音	→ P.406
	バイブ	→ P.406
	通知音	→ P.406
	着信時にバイブ	着信中やSMSなどの通知時のバイブレーションのON／OFFを設定します。
	ダイヤルキーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
	タッチ操作音	や、メニュー項目をタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
	画面ロック音	画面ロック／ロック解除時の音のON／OFFを設定します。
	GPS通知	GPS通知時の音のON／OFFを設定します。

項目		説明
サウンド	タッチ操作バイブ	≡ や ↩ などをタップしたときのバイブレーションのON／OFF を設定します。
	ペン挿入／取り外し音	タッチペンを挿入／取り外した時の音を設定します。
	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
	Adapt Sound	イヤホンから聞こえる通話や音楽再生の音質を最適化します。 • 「ミュージック」で音楽再生中に音量を14以上にすると、最適化は自動的に解除されます。音量を13以下に下げると、再度最適化されます。
ディスプレイ	明るさ	→P.408
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間の約6秒前に画面が少し暗くなってお知らせします。
	タッチキーライト消灯時間	タッチキーライトの消灯時間を設定します。
	画面モード	画面のコントラストを設定します。

項目		説明
ディスプレイ	読書モード	画面を暗くして、目に負担がかからないようにするようにするアプリを設定します。 • をタップすると、使用するアプリを追加できます。
	画面トーンの自動調整	表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、バッテリーの消耗を抑えるかどうかを設定します。
	スクリーンセーバー	→ P.409
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	バッテリー残量を表示	バッテリー残量（%）をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
	画面キャプチャ後に編集	画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）したあとに、編集画面を表示するかどうかを設定します。
マルチウィンドウ	マルチウィンドウ表示で開く	マイファイルやビデオからファイルを開くか、Eメールやメッセージの添付ファイルを開くと、自動的にマルチウィンドウでコンテンツを表示するかどうかを設定します。→ P.116

項目	説明
LEDインジケーター	→ P.410

各種音量を調節する

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「デバイス」タブ →「サウンド」→「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
音楽、動画、ゲーム、およびその他のメディア	音楽などの再生音量を調節します。
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
通知	通知（P.111）があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS通知のON／OFF音の音量を調節します。

2 各音量の ● を左右にドラッグ →「OK」

■ 音量キーで着信音量を調節する

1 ▯（音量キー）を押す

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 着信音／通知音を設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「サウンド」→「着信音」／「通知音」

2 設定したい電話着信音／通知音をタップ →「OK」

- 「サイレント」を選択すると、電話着信音／通知音は鳴りません。
- 「着信音」を選択した場合、「追加」をタップすると、着信音を検索して追加できます。

■ バイブレーションを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「サウンド」→「バイブ」→ 設定したいパターンを選択 →「OK」

- 「バイブの強度設定」（P.402）でバイブレーションの強弱調節ができます。
- 「作成」をタップすると、自分でパターンを作成できます。

お知らせ

- マナーモードが設定されていないときに「着信時にバイブ」にチェックを付けると、着信音やSMSなどの通知時に着信音／通知音とバイブレーションが鳴動します。「着信時にバイブ」（P.191）のチェックを外すと、着信音／通知音のみ鳴ります。

電話から鳴る音を消す

マナーモード（サイレント、バイブ）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ▯（電源／画面ロックキー）を１秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

2 「サイレント」／「バイブ」

- 「サイレント」に設定すると、ステータスバーに ▧ が表示されます。
- 「バイブ」に設定すると、ステータスバーに ▧ が表示されます。

お知らせ

- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中に「音量」の「着信音」（P.405）を変更すると、マナーモード（サイレント、バイブ）が解除されます。

ディスプレイの明るさを調整する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ディスプレイ」→「明るさ」→「明るさの自動調整」のチェックを外す

2 「明るさレベル」の ⚪ を左右にドラッグ →「OK」

お知らせ

- 本端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのON／OFF、種類、有効にするタイミングを設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ディスプレイ」→「スクリーンセーバー」

2 [O] → 注意事項を確認 →「OK」

3 「Flipboard」／「カラー」／「フォトテーブル」／「フォトフレーム」

- 「Flipboard」を選択した場合は、[設定] をタップし、新しいアイテムを自動でダウンロードするタイミングを設定してください。
- 「フォトテーブル」／「フォトフレーム」を選択した場合は、[設定] をタップし、表示する画像が保存されているフォルダにチェックを付ける → [戻る] をタップしてください。

4 「今すぐ開始」／「開始時を選択」

- 「今すぐ開始」をタップすると、スクリーンセーバーをプレビュー表示で確認できます。
- 「開始時を選択」をタップすると、スクリーンセーバーを有効にするタイミング（「ドック接続時」／「充電時」／「全て」）を設定できます。

LEDインジケーターを設定する

画面の表示が消えている状態の通知ＬＥＤに関する設定をします。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「LEDインジケーター」

2 項目を設定

項目	説明
充電中	本端末を充電しているときに通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
バッテリー残量不足	電池残量が少なくなったときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
通知	不在着信、未確認のメッセージやアプリイベントがあるときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
録音	ボイスレコーダーなどで録音している間、通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。 ・「通知」にチェックを付けると設定できます。

個人設定

項目		説明
ロック画面※	画面ロック	→P.420
	マルチウィジェット	ロック画面の画面上部を左右にフリックしてウィジェットを表示させるかどうかを設定します。
	時計ウィジェットオプション	ロック画面に表示する時計ウィジェットを設定します。
	ショートカット	ロック画面にショートカットを表示させるかどうかを設定します。 • ショートカットの変更／削除は、画面の指示に従って操作してください。
	パーソナルメッセージ	ロック画面にパーソナルメッセージを表示するかどうかを設定します。
	オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を入力します。
	ロック解除エフェクト	ロック解除時のエフェクトを設定します。

項目		説明
ロック画面※	インクエフェクト	ロック解除エフェクトで「波紋」を選択したときのインクエフェクト効果を設定します。
	ロック画面でウェイクアップ	画面ロック方法がスワイプ／タッチの場合に、ウェイクアップコマンド（音声）でロック解除できるようにするかどうかを設定します。
	ロック画面でアクションメモ	ロック画面でペンボタンを押しながらダブルタップしたときにアクションメモを起動するかどうかを設定します。
	ヘルプ	ロック画面にヘルプテキストを表示するかどうかを設定します。
	顔認識性能を改善	明るさの違う場所や眼鏡をかけたときなど、さまざまな状態で顔を撮影し顔認識の精度を改善します。
	自動的にロック	画面の表示が消えてから画面ロックがかかるまでの時間を設定します。

項目		説明
ロック画面※	電源キーですぐにロック	（電源／画面ロックキー）を押すとすぐに画面ロックがかかるように設定します。
	署名を表示	画面ロック解除時に署名の筆跡を表示するかどうかを設定します。
	精度レベル	署名の精度のレベルを設定します。
	パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
壁紙		→ P.422
フォント		画面のフォントと文字サイズを設定します。
通知パネル		明るさ調整：通知パネルで画面の明るさを調整できるようにするかどうかを設定します。 クイック設定ボタンを設定：通知パネルに表示されるクイック設定ボタンを選択したり、その並び順を変更することができます。

項目		説明
ユーザー補助	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間の約6秒前に画面が少し暗くなってお知らせします。
	自動的にロック	画面の表示が消えてから画面ロックがかかるまでの時間を設定します。 • 「画面ロック」（P.62）を「スワイプ／タッチ」「なし」以外に設定している場合に表示されます。
	パスワードの音声出力	TalkBackを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
	通話応答／終了	を押したり音声コマンドで電話に出たり、（電源／画面ロックキー）を押して通話を終了するかどうかを設定します。

項目		説明
ユーザー補助	イージータッチモード	着信に応答／拒否、アラームの停止／スヌーズなどの動作を、ドラッグの代わりにタッチ操作で行うようにするかどうかを設定します。
	ショートカットを表示	▯（電源／画面ロックキー）を1秒以上押して表示される端末オプション画面にユーザー補助ショートカットを表示するかどうかを設定します。
	ユーザー補助を管理	エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存します。 更新：保存済みファイルをインポートし、ユーザー補助設定を更新します。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。 Android Beam：ユーザー補助設定ファイルをNFCで送信します。

項目		説明
ユーザー補助	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	拡大	画面の拡大操作を設定します。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
	通知リマインダー	メッセージの未読通知があるときにビープ音を鳴らすかどうかとその通知間隔を設定します。
	ユーザー補助ショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるようにするかどうかを設定します。 • （電源／画面ロックキー）を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けるとユーザー補助機能を利用できるようになります。

項目		説明
ユーザー補助	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	サウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレイヤーで音楽を聴くときのサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	全ての音をOFF	受話音声を含む、すべての音をOFFに設定します。
	フラッシュ通知	通知情報があるときにライトを点滅して知らせるかどうかを設定します。
	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。
	長押しの調整	タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。

項目		説明
ユーザー補助	入力操作制御	モーションや画面タイムアウトを有効／無効にしたり、タッチ操作ができる範囲を設定します。 • 本機能を有効にして動作を設定するには、（音量キーの下側）と を押し、画面の指示に従って操作してください。 • 「マルチウィンドウ」（P.116）がONの場合は、本機能を有効にできません。 • 本機能を有効にすると、「画面の自動回転」（P.404）が自動的にOFFになります。
通話		→ P.185
ブロックモード		→ P.423

※ 表示される項目は、画面ロックの設定によって異なります。また、「ホーム切替」の設定によっては、設定を変更できない場合や、変更が反映されない場合があります。

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリをダウンロードして設定することもできます。
- 「TalkBack」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「TalkBack」を初めてONにしたときは、タッチガイド機能もONにするかどうかの確認画面が表示されます。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。
- ホーム画面がdocomo LIVE UXのときに、「TalkBack」が正常に動作しないことがあります。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力したり、顔認証などをしなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ロック画面」→「画面ロック」

2 画面ロックの解除方法を「スワイプ／タッチ」、「フェイスアンロック」、「署名」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」、「なし」から選択 → 画面の指示に従って入力

- 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ロック画面」→「画面ロック」→ 設定した解除方法を入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。
  解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。なお、Googleアカウントを設定していると「パターンを忘れた場合」が表示され、タップしてGoogleアカウントにサインインすると画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、パソコンからFind my mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find my mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.440
- フェイスアンロックを設定するときは、本端末を顔の正面で持って、画面に表示される枠の中に顔が入るようにしてください。

壁紙

ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で [メニューキー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「壁紙」

2 項目を設定

項目	説明
ホーム画面	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙」から選択します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を「ギャラリー」「壁紙」「旅行の壁紙」から選択します。
ホーム画面とロック画面	ホーム画面とロック画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙」から選択します。

ブロックモード

着信、通知、アラームとタイマー、LEDインジケーターを無効に設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「デバイス」タブ →「ブロックモード」

2 [O] をタップ

3 項目を設定

項目		説明
機能	着信をブロック	設定した時刻の間、着信を無効にします。 • 「許可した連絡先」で設定した相手からは着信します。
	通知を無効化	設定した時刻の間、通知音やバイブレーションが鳴動しないようにします。
	アラームとタイマーを無効化	設定した時刻の間、アラーム音やバイブレーションは鳴動せず、アラームやタイマーの画面のみ表示されます。
	LEDインジケーターをOFF	設定した時刻の間、LEDの点灯を無効にします。

項目		説明
時刻設定	常にON	常にブロックモードを設定するかどうかを設定します。
	開始	ブロックモードを設定する開始時刻を設定します。
	終了	ブロックモードを設定する終了時刻を設定します。
許可した連絡先	許可した連絡先	着信・通知を許可する連絡先を選択します。「カスタム」を選択すると、「許可した連絡先リスト」を設定できます。
	許可した連絡先リスト	許可した連絡先を確認／削除したり、連絡先を追加できます。

「コントロール」タブ

音声と入力方法

項目		説明
言語と文字入力	言語	使用する言語を設定します。
	標準	入力方法を設定します。
	ドコモ文字編集	→ P.101
	Samsung日本語キーパッド	→ P.97
	Google音声入力	→ P.101
	言語	手書き検索の言語を設定します。
	音声検索	音声検索時に使用する言語などを設定します。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

項目		説明
音声コントロール	着信	音声で電話に応答できるようにするかどうかを設定します。 • 音声コマンドで応答すると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
	アラーム	音声でアラームの停止やスヌーズの設定ができるようにするかどうかを設定します。 • 「時計」アプリのアラームで音声コントロールをONに設定した場合に、本機能を利用できます。
	カメラ	音声で写真を撮影できるようにするかどうかを設定します。 • 「カメラ」アプリで音声コントロールをONに設定した場合に、本機能を利用できます。→ P.302
	音楽	音声で音楽の再生や一時停止などができるようにするかどうかを設定します。 • 「ミュージック」アプリで「音声コントロール」をONに設定した場合に、本機能を利用できます。
ハンズフリーモード	音声着信	音声着信時に相手の情報を音声で読み上げるかどうかを設定します。

項目		説明
ハンズフリーモード	コール受信	画面の上で手を左右に振って着信に応答するかどうかを設定します。
	メッセージ	メッセージの受信時に相手の情報を音声で読み上げるかどうかを設定します。
	アラーム	アラームの鳴動中に、アラーム情報を音声で読み上げるかどうかを設定します。
	予定	Sプランナーに登録した予定の通知時刻に、予定のタイトルを音声で読み上げるかどうかを設定します。
Sペン	ペン検出を無効にする	バッテリーの消耗を抑えるため、タッチペンが挿入されているときはタッチペン検出を無効にするかを設定します。
	Sペンキーパー	ディスプレイがOFFのときにタッチペンが取り外された状態で一定時間経過すると、音やバイブとポップアップで警告するかどうかを設定します。 • 最初の警告が鳴った後もそのまま放置した場合、ディスプレイをONにするまで、警告音がさらに2回鳴ります。タッチペンを装着して再度取り外すまでは警告はされません。

項目		説明
Sペン	ポインター	タッチペンを画面に近づけたときに、Sプレビューポインターを表示するかどうかを設定します。
	ダイレクトペン入力	タッチペンを画面の入力フィールドに近づけたときに、入力フィールドに手書きパッドを表示するかどうかを設定します。 • 「テキスト候補」にチェックをつけると、ダイレクトペン入力で入力した後にテキスト候補を表示できます。
	ペン取り外しオプション	タッチペンを取り外したときにアクションメモとエアコマンドのどちらを表示させるかを設定します。
	ペン挿入／取り外し音	タッチペンを挿入／端末から取り外したときの音を設定します。
片手操作	全ての画面で使用	画面全体を片手操作用の大きさにするかどうかを設定します。 • 右手操作用にするには、画面の右端（左手操作用は左端）を中心方向にスワイプし、素早く画面の右端（左手操作用は左端）にフリックします。 • 一部のアプリでは動作しません。

項目		説明
片手操作	キーパッドと通話ボタン	片手操作用のダイヤルキーパッドと通話ボタンを有効にします。 • Samsungが提供する「ダイヤル」アプリでのみ有効になります。
	電卓	片手操作用のSamsung電卓キーパッドを有効にします。
	ロック解除パターン	片手操作用にロック解除パターンの大きさを調節します。
	片手操作について	片手操作の説明を確認できます。

モーションコントロール

項目	説明
Sジェスチャー	→ P.76

項目		説明
Sプレビュー	Sプレビューモード	Sプレビューを使用するときに、ペンのSプレビュー、指のSプレビューのどちらを使用するか、また自動的に検出して切り替えるかどうかを設定します。
	Sプレビューのペンオプション	使用するペンのSプレビューを設定します。→P.81
	Sプレビューの指オプション	使用する指のSプレビューを設定します。→P.83
エアコマンド		画面にタッチペンを近づけてボタンを押したときに、エアコマンドを表示するかどうかを設定します。
モーション		→ P.76
手のひらモーション		→ P.78
スマートスクリーン		→ P.432

項目	説明
高感度タッチ操作	手袋をはめた状態でタッチ操作ができるようにタッチ操作感度を高めるかどうかを設定します。 • 皮の手袋を利用すると、タッチ操作の認識率を高めることができます。他の素材の手袋を利用した場合は、一部の機能が円滑に動作しない場合があります。 • 本機能をONにして初めての操作を行う際は、最初のタッチ操作でディスプレイを長めにタップすると、以降の操作の認識率を高めることができます。 • 本機能をON にして 、手袋をはめずにタッチ操作を行うと、意図しない操作が実行される場合があります。

スマートスクリーン

お客様の操作状態を検出して、画面のタイムアウトを無効にしたり、画面を自動的にスクロールさせたりすることができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「コントロール」タブ →「スマートスクリーン」

2 項目を設定

項目	説明
スマートステイ	画面を見ていることを本端末が検出すると、画面のタイムアウトが無効になるように設定します。
スマートローテーション	顔の向きに合わせて画面を自動回転させるかどうかを設定します。 ・「画面の自動回転」（P.87）がONの場合に設定できます。
スマートポーズ※	顔の向きを検出して、画面を見ていないと判断されたときに動画を自動的に一時停止させるかどうかを設定します。

※Samsungが提供する動画アプリでのみ作動します。

項目	説明
スマートスクロール	目を検出して、首または本端末を傾けることで画面を自動的にスクロールさせるかどうかを設定します。 ・「スマートスクロール」をタップすると、スクロール手段やスクロールスピード、ビジュアルフィードバック表示（目の検出中／検出完了時に画面中央に目のアイコンを表示）を設定できます。 ・暗い場所やライトの直下になる場所で使用する場合、または本端末を動かしたりゆらしたりしている場合は、本機能が正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- 本機能動作中は、ステータスバーに 👁 が点滅します。

「一般」タブ

項目		説明
ドコモのサービス／クラウド	ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
	アプリケーション管理	定期アップデート確認などを設定します。
	docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiや自宅のWi-Fiをかんたん、便利に利用するための設定を行います。
	ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
	ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
	オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能を設定します。

項目		説明
ドコモのサービス／クラウド	データ量確認	データ通信量集計間隔、計測の開始・停止などを設定します。
	SDカードバックアップ	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。 → P.365
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
ホーム切替	docomo LIVE UX	ホーム画面をdocomo LIVE UXに設定します。
	TouchWiz標準モード	ホーム画面をTouchWiz標準モードに設定します。
	TouchWizかんたんモード	ホーム画面をTouchWizかんたんモードに設定します。

お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

アカウントとバックアップ

項目		説明
アカウント		→ P.438
Samsungクラウド		Samsungクラウドサービスのアカウント設定やメモリ使用状況の確認、同期設定などができます。
バックアップとリセット	データのバックアップ	Googleアプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元します。

項目		説明
バックアップとリセット	工場出荷状態に初期化	本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 • microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」（P.467）を行います。 • microSDカードに保存されているデータを暗号化している場合は、暗号化を解除してから（P.446）、本端末の初期化を行ってください。暗号化したデータが使用できなくなります。

アカウント

1 **ホーム画面で ≡ →「本体設定」→「一般」タブ →「アカウント」**

項目	説明
docomo	あらかじめdocomoアカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.438

アカウントを設定する

1 **ホーム画面で ≡ →「本体設定」→「一般」タブ →「アカウント」→「アカウント追加」**

2 **追加したいアカウントの種類をタップ**

3 **画面の指示に従って設定**

- Facebookなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で ☰ →「本体設定」→「一般」タブ →「アカウント」→ アカウントの種類をタップ → 変更するアカウントをタップ → 同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で ☰ →「本体設定」→「一般」タブ →「アカウント」→ アカウントの種類をタップ → 同期するアカウントをタップ →「すぐに同期」をタップします。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、SIM変更アラートを設定できるようになります。また、Find my mobile（端末リモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とSamsungアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

- Samsungアカウントは、ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「一般」タブ →「アカウント」→「アカウント追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- Find my mobile（端末リモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://findmymobile.samsung.com/login.do

お知らせ

- Samsungアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、Find my mobile（端末リモート追跡）で新しいパスワードを登録できます。
  ① ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「端末リモート追跡Webページに移動」→ アプリを選択
  - ブラウザでFind my mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスしても設定することができます。

  ②「ログイン」→「Eメールまたはパスワードを取得してください」
  ③ 画面の指示に従ってパスワードを変更

Facebookなどのアカウントについて

Facebook、Googleなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2007（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- Facebookアカウントの取得方法については、http://www.facebook.com/ をご覧ください。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→「一般」タブ→「アカウント」→アカウントの種類をタップ

2 削除したいアカウントをタップ→「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」（P.437）を実行してください。

端末管理

項目		説明
日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。お買い上げ時は自動的に補正されるように設定されています。
	日付設定※1	日付を設定します。 • 日付を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います
	時刻設定※1	時刻を設定します。 • 時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。
	自動タイムゾーン	自動でタイムゾーンを設定します。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。 • タイムゾーンを手動で設定するには、「自動タイムゾーン」のチェックを外してから設定を行います。
	24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。

項目		説明
日付と時刻	日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。
安全サポート		→ P.450
アクセサリ	ドック音	ドックから本端末を着脱する際に音を鳴らすかどうかを設定します。
	オーディオ出力モード	本端末をドックに接続したときにドックに接続した外部スピーカーを使用するかどうかを設定します。
	デスクホーム画面	本端末をドックに接続したときにデスクホーム画面を表示するかどうかを設定します。
	自動ロック解除	画面ロック方法がスワイプ／タッチの場合に、本端末にS View Cover（市販品）を取り付けてドックに接続したとき、カバーを開いて画面ロックを解除できるようにするかどうかを設定します。
	Sビューウィンドウカラー	S View Cover（市販品）を本端末に装着したときに表示させる画面の背景色を設定します。
	カバーに表示する情報を選択	S View Cover（市販品）を本端末に装着したときに画面に表示させる項目を設定します。

項目		説明
アクセサリ	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
アプリケーション管理		本端末のアプリを管理します。画面上部のタブをタップすると、「ダウンロード」／「外部SDカード」／「実行中」／「全て」／「無効にしたアプリ」を切り替えることができます。 ・「全て」タブでは、インストールされているアプリを管理できます。また、アプリを無効化して、アプリ画面に表示させないようにできます。→ P.451
バッテリー		電池使用量データや電池残量などを表示します。
省電力モード		→ P.452
ストレージ		→ P.453

項目		説明
セキュリティ	端末を暗号化※2	本端末内のデータ（アプリ、ファイルなど）を暗号化します。暗号化を行うと、本端末の電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。 • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「端末を復号」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
	外部SDカードを暗号化※2	microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「外部SDカードを暗号化」→ 解除したい項目のチェックを外し、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
セキュリティ	リモートコントロール	データの削除、追跡ができます。詳細については、Find my mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.440
	SIM変更アラート	ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに他の携帯電話にSMSを送信します。→ P.460
	端末リモート追跡Webページに移動	Find my mobile（端末リモート追跡）のホームページを表示します。
	再有効化ロック	本端末をリセットした後に他のSamsungアカウントで登録できないようにするかどうかを設定します。 • Samsungアカウントの登録が必要です。 • 本機能を有効にすると、工場出荷状態に初期化を行う前にSamsungアカウントの入力が必要です。
	SIMカードロックを設定	→ P.458
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
セキュリティ	デバイス管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
	提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリ以外のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
	アプリを確認	有害と思われるアプリをインストールする前に、インストールを許可しない、または警告を表示するようにするかどうかを設定します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	信頼できる認証情報	信頼された証明書を表示します。
	ストレージからインストール※3	システムメモリ（本体）から証明書のインストールを行います。
	証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを削除します。 • VPNの登録内容などが削除されます。
端末情報	ソフトウェア更新	→ P.544
	ステータス	電池残量や電話番号などを表示します。

項目		説明
端末情報	法定情報	オープンソースライセンス:オープンソースの使用許諾条件を確認します。 Google利用規約:Googleの利用規約を確認します。 Samsung規約:エンドユーザーライセンス契約を確認します。
	デバイス名称	本端末の名称を確認／変更します。
	認証情報	本端末のWi-Fiの認証情報を表示します。
	モデル番号	型番を確認します。
	Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認します。
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

※1　Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。
※2　画面ロック（P.420）を「パスワード」に設定すると、本機能を利用できます。「パスワード」は英数字を含む6～16桁の文字で設定してください。
※3　インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

安全サポート

本端末では、安全サポートをONに設定しておくと、▯（音量キー）の上側と下側を同時に３秒間押し続けることで、登録した相手に緊急事態をＳＭＳで知らせることができます。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「一般」タブ →「安全サポート」

2 ◯ → 内容を確認→すべての項目にチェックを付ける →「OK」

- 緊急連絡先画面が表示された場合は、「ＯＫ」をタップし、画面の指示に従って緊急連絡先を登録してください。

3 項目を設定

項目	説明
緊急ブザー	安全サポートを使用したときに緊急ブザーをならすかどうかを設定します。また、緊急ブザーの音を設定します。
緊急メッセージを編集	緊急メッセージを編集します。
メッセージの送信間隔	緊急メッセージを送信する間隔を設定します。
緊急連絡先	緊急メッセージを送信する相手を設定します。 ・最大で４件の緊急連絡先を登録できます。

お知らせ

- 緊急事態を知らせると、ステータスバーに が表示されます。緊急事態を解除するには、通知パネルで「緊急事態を通知」→「閉じる」をタップします。

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「アプリケーション管理」→「全て」タブ

2 無効化するアプリをタップ →「無効」→「OK」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で →「本体設定」→「一般」タブ →「アプリケーション管理」→「無効にしたアプリ」タブ → 有効化するアプリをタップ →「有効」をタップします。

省電力モード

省電力モードに関する設定をします。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「一般」タブ →「省電力モード」

2 [ボタン] をタップ

3 項目を設定

項目		説明
省電力モード設定	CPUの省電力	CPUの最大パフォーマンスを制限します。
	画面の省電力	画面を暗く設定します。
	タッチ操作バイブをOFF	画面タップ時のバイブレーションをOFFにしてバッテリーの消耗を抑えます。
省電力のヒント	省電力について	電池パックの消費を抑えるための方法を表示します。

ストレージ

microSDカードや本端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

1 ホーム画面で [≡] →「本体設定」→「一般」タブ →「ストレージ」

2 項目を確認／設定

項目		説明
システムメモリ（本体）	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。 合計容量の下に、アプリや画像など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
外部SDカード	合計容量※	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量※	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除※／外部SDカードのマウント	microSDカードのマウントを解除／microSDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化※	→ P.467

※microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

お知らせ

- 本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN ／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN ／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なおｄメニューからは、ｄメニュー →「お客様サポート」※ →「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、P.578をご覧ください。

■PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力→「OK」→新しいPINコードを入力→「OK」→再度新しいPINコードを入力→「OK」をタップします。
- 機内モード設定中はPINコード入力画面が表示されず、機内モードをOFFにしたときにPINコード入力画面が表示されます。機内モード設定中はドコモminiUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるときにPINコード入力画面は表示されません。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力 →「OK」**

- 「SIMカードをロック」にチェックが付きます。

PINコードを変更する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力 →「OK」**

- 「SIMカードをロック」にチェックが付きます。

2 **「SIM PINを変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力**

リモート機能を有効にする

遠隔で本端末のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

1 Googleアカウントの設定を行う

2 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。

3 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「リモートコントロール」※

- Samsungアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 →「確認」をタップします。
- 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

4 パソコンでFind my mobile（端末リモート追跡）のホームページを開く

- Find my mobile（端末リモート追跡）のホームページについては、「Samsungアカウントについて」をご参照ください。→ P.440

5 Samsungアカウントでログイン後、画面に従って設定を行う

※ Googleアカウント、Samsungアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順4から実施してください。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに、本端末固有の情報が指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 ホーム画面で → 「本体設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIM変更アラート」

2 Samsungアカウントを設定

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- Samsungアカウントを設定済みで、Samsungアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 →「確認」をタップします。

3 をタップ

4 「アラートメッセージ」→ SMSに表示されるメッセージを入力 →「OK」

5 「作成」→ SMSの送信先電話番号を入力 →「OK」

- 先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
- 日本の国番号は「81」です。
- 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先から送信先を選択できます。

6 「保存」

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ステータス」

- 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Documents	ドキュメントファイルが保存されます。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。

項目	説明
Notifications	Google+で使われるお知らせ用ファイルが保存されます。また、通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像データが保存されます。
Playlists	追加したプレイリストデータが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Ringtones	着信音やアラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。

お知らせ

- 「Alarms」／「Notifications」／「Ringtones」フォルダに保存したデータを削除したとき、アラーム音や通知音、着信音に設定している場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

microSD（外部ストレージ）

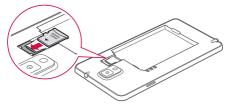
本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードおよび64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2013年10月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
  対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大CLASS 10です。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け

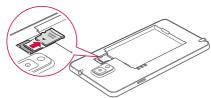
- microSDカードの取り付けは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください。→ P.54、P.56

1 microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の向きにmicroSDカードスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

- microSDカードスロットはドコモminiUIMカードスロットの上部にあります。

2 電池パックとリアカバーを取り付ける（P.55）

microSDカードの取り外し

- microSDカードの取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください。→ P.54、P.56
- microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」(P.453)を行ってください。

1 microSDカードを指で押さえながらスライドさせて矢印の向きにまっすぐ引き出す

2 電池パックとリアカバーを取り付ける(P.55)

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「一般」タブ →「ストレージ」**

2 **「外部SDカードを初期化」→「外部SDカードを初期化」→「全て削除」**

- パスワードの確認画面が表示された場合は、画面ロックの解除パスワードを入力し、「続行」→「全て削除」をタップします。

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「マイファイル」を利用して、本端末やmicroSDカードやDropbox上に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で ▦ →「マイファイル」
- 各フォルダのショートカット一覧画面が表示されます。お買い上げ時は、「全て」「画像」「動画」「音楽」「ドキュメント」「ダウンロード済みアプリ」「Dropbox」「最近使用したファイル」のショートカットが登録されています。ショートカットは追加できます（P.469）。

2 利用したいフォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。
- 利用したいショートカットがない場合やmicroSDカードに保存されているファイルを利用する場合は、「全て」→「Device storage」（本端末）／「SD memory card」（microSDカード）→ 利用したいフォルダをタップします。
- フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、以下の項目が表示されます。

項目	説明
(共有アイコン)	ファイルをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。

項目	説明
🗑	フォルダ／ファイルを削除します。

3 利用したいファイルをタップ
- ファイルが表示／再生されます。

ショートカットを作成する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 📁 をタップ→「ショートカットを追加」→「OK」

3 登録したいフォルダを選択→「完了」

ショートカットの名前を変更する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 作成したショートカットをロングタッチ→「名前を変更」→ 名前を入力 →「OK」

ショートカットを削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 作成したショートカットをロングタッチ→「削除」→「OK」

フォルダを作成する

- フォルダの作成は、「全て」のショートカットと作成したショートカットでのみ行えます。

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 ▭ →「フォルダ作成」→ フォルダ名を入力 →「OK」

ファイルやフォルダの名前を変更する

- フォルダの名前の変更は、「全て」のショートカットと作成したショートカットでのみ行えます。

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → ▭ →「名前を変更」→ 名前を入力 →「OK」

ファイルやフォルダを削除する

- フォルダの削除は、「全て」のショートカットと作成したショートカットでのみ行えます。

1 ホーム画面で ▦ →「マイファイル」

2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → 🗑 →「OK」

ファイルやフォルダを移動／コピーする

1 ホーム画面で ▦ →「マイファイル」

2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → ▭ →「移動」／「コピー」

4 移動先のフォルダを表示 →「ここに移動」／「ここに貼付」

マイファイルのメニュー

ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で ≡ をタップすると以下の項目が表示されます。

ショートカット一覧画面

項目		説明
ショートカットを削除※		ショートカットを削除します。 • お買い上げ時に登録されているショートカットは削除できません。
FTPを追加		FTPの設定を行います。
近くのデバイスをスキャン		DLNA機器をスキャンします。→ P.491 • Wi-Fi ネットワークに接続している場合のみ利用できます。
設定	隠しファイルを表示	隠しファイルを表示するかどうかを設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子を表示するかどうかを設定します。

※ 追加したショートカットがある場合のみ表示されます。

◻ フォルダ／ファイル一覧画面

項目	説明
アイテムを選択※1	フォルダ／ファイルを選択します。
フォルダ作成※2	フォルダを新規に作成します。
表示	一覧の表示方法を設定します。
並べ替え※3	一覧の表示順を変更します。
ショートカットを追加※2	ショートカットを追加します。
設定	→ P.472

※1 フォルダ／ファイルがないフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。
※2 お買い上げ時に登録されているショートカット内のフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。
※3 「最近使用したファイル」のフォルダ／ファイル一覧画面では表示されません。

データ検索

1 **ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で 🔍 をタップ**

2 **検索条件を選択し、ファイル名や拡張子などを入力 → 🔍**

- 検索されたファイルが一覧表示されます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P.547）をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「Bluetooth」

2 [○] をタップ

3 [メニュー] をタップ

4 「端末の公開時間」→ 項目を選択

- 設定した公開時間内で、本端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
- 「タイムアウトなし」を選択した場合、本端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「接続」タブ →「Bluetooth」

2 ◯ をタップ

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップ →「OK」をタップします。

ペアリングを解除する

1 ホーム画面で [≡] →「本体設定」→「接続」タブ →「Bluetooth」

2 ペアリングを解除したいデバイスの [⚙] →「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」
- ステータスバーに ⬇ が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「Bluetooth共有：受信完了」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

NFC通信

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能(R/W)や機器間通信機能（P2P）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したり、NFCモジュールを搭載した他の機器とデータの送受信ができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、P.260をご覧ください。

NFCのReader ／ Writer, P2PをONにする

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送受信するには、Reader ／ Writer, P2P機能をONにする必要があります。

- 「Android Beam」をONにすると、P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。
- 「S Beam」をONにすると、S Beam対応端末との間でP2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、静止画や動画、ドキュメントなどのファイルを送受信できるようになります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「NFC ／ おサイフケータイ 設定」

2 「Reader/Writer, P2P」の ○ をタップ
- Android Beamを利用する場合は、「Android Beam」の ○ をタップします。
- S Beamを利用する場合は、「S Beam」の ○ をタップします。

データを送受信する

1 本端末／相手機器で送信するコンテンツを表示

2 本端末と相手機器の マークを近づける
- ソフトウェア利用許諾契約書が表示された場合は、画面の指示に従ってICタグ・バーコードリーダーの利用開始操作を行ってください。

3 本端末の画面をタップ／相手機器からコンテンツの送信操作を行う
- コンテンツが送信／受信されます。
- アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択してください。

お知らせ

- 本端末と相手機器から同時にコンテンツの送信操作を行うと、送信が正しく動作しない場合があります。
- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

外部機器接続

パソコンとの接続

USB接続ケーブル SC03で接続する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC03で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」(P.483)とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識(P.484)させたりできます。

1 本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブル SC03のUSB3.0 Micro-Bプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続

- USB3.0 Micro-Bプラグは、SAMSUNGの印刷面を上にして水平に差し込みます。

お知らせ

- USB接続ケーブル SC03のUSB 3.0 Standard-Aプラグはパソコンの USBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSB接続ケーブル SC03を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7、Windows 8です。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。
  詳細については、Samsungのホームページをご覧ください。
  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブルSC03で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC03で接続する」（P.482）をご参照ください。

2 **パソコンで「Samsung Kies」を起動**

- Samsung Kiesの使いかたについては、ヘルプメニューの「Kiesチュートリアル」をご覧ください。

メディアデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC03で接続すると、本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルSC03で接続

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC03で接続する」（P.482）をご参照ください。

2 通知パネルを開く →「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認

- 「カメラとして接続」と表示されている場合は、「カメラとして接続」→「メディアデバイス（MTP）」にチェックを付けます。

3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

カメラデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC03で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- カメラ（PTP）モードは、MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブルSC03で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC03で接続する」（P.482）をご参照ください。

2 **通知パネルを開く →「メディアデバイスとして接続」→「カメラ（PTP)」にチェックを付ける**

3 **パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送**

Samsung Link

Samsung Linkでは、オンラインストレージや他のデバイスとファイルを共有することができます。

- Samsung Linkを利用するには、Samsungアカウントが必要です。
- デバイスによっては一部のファイルを再生できない場合があります。

Samsung Linkを設定する

1 **ホーム画面で ▦ →「Samsung Link」**

- Samsungアカウントを設定していない場合は「サインイン」をタップしてSamsungアカウントにサインインしてください。

2 **▭ →「設定」→ 項目を設定**

項目	説明
登録済みストレージ	オンラインストレージを管理します。
保存先	Samsung Linkでダウンロードしたコンテンツの保存先を設定します。
自動アップロード	本端末で撮影した静止画や動画をオンラインストレージや他のデバイスに自動的にアップロードする機能の設定を行います。
動画の画質を最適化	デバイスに最適な品質で動画を再生するかどうかを設定します。

項目	説明
パスワードロック	Samsung Linkを起動したときに、Samsungアカウントのパスワードを入力しないと使用できないように設定します。
マイアカウント	サインインしたSamsungアカウントのプロフィール確認やパスワードの変更、利用規約やヘルプの確認ができます。
このサービスについて	Samsung Linkのバージョンやライセンス情報を表示します。

本端末のファイルを他の機器にアップロードする

1 ホーム画面で [アイコン] →「Samsung Link」→ 画面を右にフリック

- デバイス＆ストレージ画面が表示されます。

2「登録済みデバイス」から本端末をタップ

3 ファイルの種類のタブをタップ → [アイコン] → アップロードするファイルにチェックを付ける

4 [アイコン] → アップロード先をタップ

- アップロードを開始します。
- アップロードを中止する場合は、通知パネルを開き、「ファイルを転送中 ...」→ [アイコン] をタップします。

オンラインストレージや他の機器に保存されているファイルを本端末で再生する

1 ホーム画面で ▦ →「Samsung Link」→ 画面を右にフリック

- デバイス＆ストレージ画面が表示されます。

2 「登録済みストレージ」または「登録済みデバイス」から、ファイルを再生するストレージまたはデバイスをタップ

- ストレージやデバイスが表示されない場合は、▭ →「更新」をタップして再度検索します。

3 本端末でファイルの再生操作を行う

お知らせ

- ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fi ネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。

プリンターで印刷する

1 印刷可能なアプリの画面で ▭ →「印刷」

- 印刷確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
- 初回印刷時はプリンターの選択画面が表示されます。使用するプリンターを選択し、手順3へ進んでください。

2 ⚙ をタップ

- プリンターの設定画面が表示されます。

3 各項目を設定 → 画面上部の ＜ 🖶 をタップ

- 印刷プレビュー画面に戻ります。

4 🖶 をタップ

- 印刷をキャンセルするには、☒ をタップします。

お知らせ

- プリンターの種類によって、設定画面に表示される項目は異なります。

DLNA機器との接続

Wi-Fi機能を利用して他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器から本端末のメディアファイルを共有して再生できます。

- 本機能を利用する場合は、あらかじめ本端末とアクセスする機器を、同じWi-Fiネットワークに接続してください。
- 本機能は、すべてのDLNA対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本機能は、DLNA対応機器に保存されたすべてのメディアファイルの再生を保証するものではありません。

近くのデバイスを設定する

1 ホーム画面で → 「本体設定」→「接続」タブ →「近くのデバイス」

2 項目を設定

項目		説明
デバイス名称		本端末のデバイス名称が表示されます。
詳細設定	共有コンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
	許可デバイスリスト	本端末にアクセス可能な機器リストを表示します。
	禁止デバイスリスト	本端末にアクセス不可の機器リストを表示します。
	ダウンロード先	他の機器から本端末にアップロードしたメディアファイルの保存先を設定します。
	他デバイスからの転送	メディアファイルをアップロードしたときの本端末の動作を設定します。

お知らせ

- 許可デバイスリスト／禁止デバイスリストに追加されているデバイスを削除するには、「許可デバイスリスト」／「禁止デバイスリスト」→ 削除するデバイスにチェックを付ける →「削除」をタップします。

本端末にアクセスするDLNA機器を登録する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「近くのデバイス」

2 [ボタン] をタップ

- 注意画面が表示された場合は、内容を確認し、「OK」をタップします。
- 他の機器からのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。
- ステータスバーに [アイコン] が表示されます。

3 アクセスする機器から本端末への接続操作を行う

- アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。

4「OK」

- アクセスした機器と接続され、許可デバイスリスト（P.492）に機器が追加されます。
- 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。禁止デバイスリスト（P.492）に機器が追加されます。

5 アクセスした機器から再生の操作を行う

Group Play

Group Playを搭載した他の機器と接続して、音楽や写真、ドキュメント、ゲームを共有して表示／再生／プレイできます。Group Playを利用するには、本端末でグループを作成するか、他の機器で作成したグループに参加する必要があります。

1 ホーム画面で ⊞ →「Group Play」
- Group Playのトップ画面が表示されます。
- 免責条項が表示された場合は、内容を確認して「同意する」をタップします。

お知らせ

- Group Playの詳細については、Group Playの画面で ▭ →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。
- Group Playを利用中は、インターネットに接続できません。

グループを作成する

1 Group Playのトップ画面で「グループを作成」

2 グループパスワードを入力→「OK」

- グループパスワードは1～6桁の数字で設定してください。
- Group Playのトップ画面で「グループパスワードを設定」のチェックを外すと、グループパスワードの設定画面は表示されません。手順3へ進んでください。
- Wi-Fiテザリング画面が表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップします。

3 項目を選択

項目	説明
音楽を共有	共有する音楽を選択します。2台以上の機器を接続してサラウンドサウンドを楽しむことができます。
画像を共有	共有する画像を選択します。
動画を共有	共有する動画を選択します。
ドキュメントを共有	共有するドキュメントを選択します。
ゲームその他をプレイ	共有するゲームを選択します。

4 共有するコンテンツにチェックを付ける → 「完了」

- 画像の場合は、共有する画像にチェックを付ける → ☑ をタップします。
- ゲームの場合は、プレイするゲームをタップします。
- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。

項目	説明
	描画モードに切り替えて、写真やドキュメントにメモなどを描いて共有します。
	コラージュモードに切り替えて、共有している複数の写真を重ねて表示します。
／	共有する写真やドキュメントを追加します。
／	1つの動画を共有して再生する個別表示と、1つの動画を分割して複数の画面で再生する分割表示を切り替えます。
	Group Playの参加者を確認します。
	共有している音楽のサラウンドサウンドを設定します。
	音楽の再生画面に切り替えます。

グループに参加する

1 Group Playのトップ画面で「グループに参加」

- グループパスワードの入力画面が表示された場合は、グループを作成した端末で設定したグループパスワードを入力します。
- 参加できるグループが複数ある場合は、参加するグループ（モバイルＡＰ）をタップする必要があります。「スキャン」をタップすると、グループの検索結果を更新できます。

MHL接続でテレビに表示

本端末とHDMI端子付きテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きテレビを接続するにはHDMI端子（TypeA）に対応したHDMIケーブル（市販品）とHDMI変換ケーブル SC03（別売）が必要です。また、MHLに対応したテレビとはMHLケーブル（市販品）を使用することで接続できます。
- すべてのHDMI対応機器との動作を保証するものではありません。

1 **HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続**

- HDMI変換ケーブルの接続方法についてはHDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 **テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続**

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 **本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続**

- テレビ表示中にHDMI変換ケーブルが抜けると、一定時間接続待機状態になります。

お知らせ

- HDCP非対応テレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによってはコンテンツプロバイダーから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から、外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状況に影響が出る場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz ／ GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークをご利用ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください（P.511）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ03」または「ACアダプタ04」をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料､パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」（P.186）を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」（P.188）の設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■ディスプレイの表示について

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
R ／ R	国際ローミング中（電波状態弱／強）
G ／ G	GPRS使用可能／通信中
3G ／ 3G	3G（パケット）使用可能／通信中
H ／ H	HSDPA使用可能／通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.443）

■お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 **ホーム画面で 📞 →「ダイヤル」**

2 **＋（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 **📞 →「<国名>へ発信」／「そのまま発信」**

- 上記の<国名>には、「国際ダイヤルアシスト」の「国番号」で設定した国名が表示されます。例えば、「日本（JPN）」（+81）の場合には「日本（JPN）へ発信」と表示されます。

4 **通話が終了したら「通話を終了」**

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話アイコン］→「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

3 ［発信アイコン］をタップ

4 通話が終了したら「通話を終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」（P.195）が動作しない可能性があります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

海外で本端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1. ホーム画面で ☰ →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」
2. 使用するネットワークモードをタップ

項目	説明
LTE／3G／GSM（自動）	LTEネットワーク、3Gネットワーク、GSM／GPRSネットワークを自動で選択して使用します。
LTE／3G	LTEネットワークまたは3Gネットワークを使用します。
GSMのみ	GSM／GPRSネットワークのみを使用します。

お知らせ

- 海外では、LTEネットワークは検出されません。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」**

- 検索された通信事業者名のリストが表示されます。
- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」（P.509）の設定により、表示される通信事業者は異なります。

2 **接続する通信事業者名をタップ**

お知らせ

- ネットワーク状況や電波状態などによっては、検索結果が表示されない場合があります。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、本端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。ただし、FOMAネットワークエリア内に移動した場合は、接続する通信事業者を手動で設定していても自動的にFOMAネットワークに接続されます。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定することをおすすめします。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。

2「自動選択」

- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。

データローミングを設定する

1 ホーム画面で →「本体設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」

2「データローミング」にチェックを付ける

3「OK」

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください（P.509）。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください（P.511）。

付録／索引

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売のオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック SC10
- リアカバー SC11
- タッチペン SC03
- SM-V700セット
- ACアダプタ SC04
- HDMI変換ケーブル SC03
- USB接続ケーブル SC03
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 03※1
- 骨伝導レシーバマイク 02※1
- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01／02
- ACアダプタ 03／04
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01

- DCアダプタ 03
- ドライブネットクレイドル 02
- L-03E※2
- SmartTV dstick 01

※1　本端末とBluetooth通信で接続できます。
※2　本端末への給電を行うチャージャー機能の対応となります。

お知らせ

- 本端末と外部機器を接続する場合は、HDMIケーブル（市販品）に必ずHDMI変換ケーブル SC03を接続してからご使用ください。

試供品

- 試供品は無料修理保証の対象外です。
- 試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

マイク付ステレオヘッドセット

ご使用方法

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

- ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
  - 音楽の再生／一時停止
  - 電話を受ける／終了する
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- マイク付ステレオヘッドセットのコードが本人や周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。

- 使い終わったら、接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW（1.13V）
最大出力	95 +/－3dB
サイズ	長さ 約1260mm
質量	約13.2g

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.544）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

◻ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない（本端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.54 • 電池切れになっていませんか。 → P.57
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に（電源／画面ロックキー）を7秒以上押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電

症状	チェック項目
充電ができない 通知LEDが点灯しない、または点滅する	・電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.54 ・アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 ・アダプタ、付属のUSB接続ケーブル SC03と本端末が正しくセットされていますか。 ・付属のUSB接続ケーブル SC03をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症状	チェック項目
タッチスクリーンをタップしても動作しない	・画面ロックが設定されていませんか。（電源／画面ロックキー）／ を押して画面ロックを解除してください。 → P.62、P.420
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	・本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 ・保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。 ・ディスプレイの表面に傷が付いたり、破損したりしている場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
ドコモminiUIMカードが認識されない	・ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.52
時計がずれる	・長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。 → P.443

症状	チェック項目
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から（電源／画面ロックキー）を2秒以上押し、docomoのロゴが消えたあと、（音量キーの下側）を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

症状	チェック項目
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• 本端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。 → P.142
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」（P.437）を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.451

◻ 通話

症状	チェック項目
電話発信キーをタップしても発信できない	• ドコモminiUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→P.52 • 機内モードを設定していませんか。 → P.394
着信音が鳴らない	• マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していませんか。 → P.407 • 「着信音」を「サイレント」にしていませんか。 → P.406 • 「音量」の「着信音」の音量を0にしていませんか。 → P.405 • 「自動着信拒否モード」を「全ての着信」または「自動着信拒否番号」に設定していませんか。 → P.188 • 機内モードに設定していませんか。 → P.394 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。 →P.185 • 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→ P.183

症状	チェック項目
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを取り付け直してください。 → P.52、P.56、P.61 ・電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・「自動着信拒否モード」を設定していませんか。→ P.188 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ネットワークに接続できない	・電波の弱い場所で使用していませんか。 ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。 → P.61

画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	• 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。 → P.403 • ディスプレイの明るさを調整していませんか。 → P.408 • 省電力モードを設定していませんか。 → P.452 • 「画面トーンの自動調整」にチェックが付いていませんか。チェックが付いている場合は表示されている画像によって画面のトーンが調整されます。 → P.404 • 電池残量が少なくなっていませんか。 → P.60

音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。 → P.175、P.178

◘ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	• 「Eメールを同期」のチェックを外していませんか。チェックを付けてください。 → P.224 • 「同期スケジュール」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。 → P.225
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	• 「Eメール受信サイズ」を確認してください。 → P.225

◘ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。 → P.300 • スマートスタビリティ、動画手振れ補正をONにして撮影してください。 → P.300、P.301
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	• 電池残量を確認してください。 → P.445 • メモリの空き容量を確認してください。 → P.453 • （電源／画面ロックキー）を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、「再起動」をタップして本端末を再起動してください。

◘ ワンセグ

症状	チェック項目
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • エリア情報設定をしていますか。 → P.280

□ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、NFC ／おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC ／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.261 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.259

海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	■ アンテナマークが表示されている場合 • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 ■ 圏外が表示されている場合 • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください。→ P.509 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。→ P.511 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.61

症状	チェック項目
海外でデータ通信ができない	• データローミング設定をONにしてください。 → P.511
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	• 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。 → P.187
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

◘ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。 → P.465
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合は「マイファイル」に が表示されます。
端末をパソコンに接続しても動作しない	• Windows XPをお使いの場合は、Windows XP Service Pack 3以上にしてください。 • Samsung KiesまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。

◻ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

◘ 地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「オートGPS」の「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.60、P.434 • 「オートGPS」の「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→ P.434

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。／XXXX（XXXX）は停止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがONです。通話するために、機内モードをOFFにしますか？	ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをOFFにしてから再度操作してください。	P.52 P.394
しばらくお待ちください(音声サービス)／しばらくお待ちください(データサービス)	通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
空き容量低下 不要なデータやアプリを削除してください。	システムメモリ（本体）の空き容量が低下したときに表示されます。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどのデータを削除して、空き容量を確保してください。	P.163 P.453
ソフトウェアの更新に失敗しました。ネットワークまたはサーバーでエラーが発生しました。後ほどお試しいただくか、PC Kiesを使用してお試しください。	サーバーとの通信に失敗しました。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、「Samsung Kies」を使ってお試しください。	P.483
同期に失敗しました	異なる機能の同期が同時に実行されたときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.439

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
起動できません	カメラの起動に失敗したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。	P.61、P.296
ビルトインアプリを無効にすると、他のアプリでエラーが発生する原因になります。	アプリを無効化すると、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。「OK」をタップして無効化し、他のアプリが正しく動作しなくなった場合は、アプリを有効化してください。	P.451
ユーザーメモリ（本体）が破損しました。再初期化が必要です。	システムメモリ（本体）が損傷した可能性があるときに表示されます。「工場出荷状態に初期化」を実行すると問題が改善する場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。	P.437

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
問題が発生したためアプリケーションブラウザ(process.com.android.browser)が予期せず中止しました	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.241
セキュリティ証明書に問題があります	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が本端末にないか、本端末に保存されている証明書と一致しない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。または、問題がないと判断される場合は、そのままウェブページへ接続してください。	P.448

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)へ電話

- 本端末からスマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で → 「遠隔サポート」→「このスマートフォンから発信する」→「ダイヤル」／「電話」をタップする。

2 ホーム画面で → 「遠隔サポート」

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」→「同意する」をタップする

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービスをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後４年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口、外側カメラ、バイブレータ部分（電源／画面ロックキー付近）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」(P.483)を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れ)によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する(P.142)
  - 本端末を充電(P.57)し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。

- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェア更新を行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末だけで更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→「一般」タブ→「端末情報」→「ソフトウェア更新」

2 「更新」
- 初めて起動したときは利用規約やプライバシー規約が表示されるので、内容をよく読み、「上記規約の全てに同意する」にチェックを付けて「確認」をタップします。
- Wi-Fi接続時のみファイルのダウンロードを許可する場合は、「Wi-Fi接続時」にチェックを付けます。

3 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。延期した場合でも、以下の操作でインストールを実行できます。
  - ホーム画面で ☰ →「本体設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」
  - 通知パネルを開く →「ソフトウェア更新」
  - 「ソフトウェア更新予約」にチェックを付ける →「後で」/「インストール」→ 再通知の時間を選択/インストールする時間を設定 →「インストール」を選択した場合は「OK」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

本体

品名		SC-01F
サイズ		高さ：約151mm、幅：約79mm、厚さ：約8.3mm（最厚部：約9.8mm）
質量		約172g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 32GB※1 RAM 3GB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約470時間
	LTE	静止時（自動）：約410時間
	GSM	静止時（自動）：約380時間
連続通話時間	FOMA／3G	約1000分
	GSM	約860分
充電時間	ACアダプタ04（別売）	約150分
	ACアダプタ03（別売）	約210分
	DCアダプタ03（別売）	約260分
画面部分	種類	有機EL（Full HD Super AMOLED）
	サイズ	約5.7 inch

画面部分	発色数	16,777,216色
	解像度（ピクセル数）	横1080ピクセル× 縦1920ピクセル Full HD
撮像素子	種類	外側：裏面照射型CMOS 内側：CMOS
	サイズ	外側：1/3.0 inch 内側：1/6.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約1320万画素 内側：約210万画素
記録画素数（最大時）		外側：約1260万画素 内側：約207万画素
デジタルズーム		最大約4.0倍（40段階）
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間約3720分 （バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約5580分 （バックグラウンド再生対応）
ワンセグ連続視聴時間		約430分
モバキャス連続視聴時間		約340分
表示言語		日本語／英語／韓国語
入力言語（文字入力・音声入力）		文字入力：日本語／英語／韓国語 音声入力：Google音声入力による
ヘッドホン接続端子	種類	3.5 φイヤホンジャック
	極数	4極

無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac※2※3準拠（IEEE802.11n周波数帯：2.4GHz／5GHz）
Bluetooth機能	対応バージョン※4	Bluetooth標準規格 Ver. 4.0
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※5	約10m以内
	対応プロファイル※6	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Serial Port Profile（SPP） Phone Book Access Profile（PBAP） Human Interface Device Profile（HID） Personal Area Networking Porfile（PAN）※7 SIM Access Profile（SAP） Message Access Profile（MAP）

※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。

※2　IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品は各メーカーのホームページでご確認ください。
※3　IEEE802.11acは5GHzのみ対応しています。
※4　本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※5　通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※6　Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※7　PAN User（PANU）機能のみをサポートします。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

◻ 電池パック

品名	電池パック SC10
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	3200mAh

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-01F（本体）※	microSDカード（1GB）
VGA（640×480）	最大約250,000枚	最大約11,000枚

ファイルサイズが90KBの場合の撮影枚数です。
※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-01F（本体）※	microSDカード（1GB）
320×240	最大約3200分（1件あたり最大約60分）	最大約140分（1件あたり最大約60分）

※ お買い上げ時の録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話の比吸収率（SAR）

この機種［SC-01F］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.230W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固

定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ Location欄で「JAPAN」→ Language欄で「Japanese」→ Phone Model欄で「SC-01F」→「Go」→ search resultsの欄のリンクをクリック

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.19 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.12 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC01F.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.152 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following
Product : GSM WCDMA BT/WiFi Mobile Phone
Model(s) : SC-01F

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 + A12 : 2011	
SAR	EN 50360 : 2001 / A1 : 2012 EN 62479 : 2010 EN 62311 : 2008	EN 62209 - 1 : 2006 EN 62209 - 2 : 2010
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)	EN 301 489-3 V1.4.1 (08-2002) EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 301 908-2 V5.2.1 (07-2011) EN 300 328 V1.8.1 (06-2012) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 302 291-1 V1.1.1 (07-2005)	EN 301 908-1 V5.2.1 (05-2011) EN 301 908-13 V5.2.1 (05-2011) EN 301 893 V1.7.1 (06-2012) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way, Fareham, Hampshire, PO15 5RL, UK ※
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK

2013.08.29	Joong-Hoon Choi / Lab. Manager
(Place and date of issue)	(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「iモード」「iチャネル」「iアプリ」「デコメール®」「iコンシェル」「マチキャラ」「声の宅配便」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「ビジネスmopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「spモードメール」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「トルカ」「dマーケット」「dメニュー」「かざしてリンク」「フォトコレクション」「しゃべってコンシェル」「スマートフォンあんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」「dマーケット」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「iD」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「Xi」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbi の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google カレンダー」、「Google マップ」、「ハングアウト」、「Google+」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- 「Facebook」は、Facebook,Inc.の商標または登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- HP は、Hewlett-Packard Development Company L.P.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8（Windows 8、Pro、Enterprise）の略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー→「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」〔パケット通信料無料〕
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- ■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
- ■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

! カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.186）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.406）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（サイレント、バイブ）（P.407）
キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.185）、転送でんわサービス（P.185）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-01Fからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00 ～ 午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■サムスン電子ジャパン株式会社
072-830-6075
受付時間 午前9:00～午後5:00（土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く）
●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

'13.10（1.1版）